

平成 29 年(2017 年)  
全 国 災 害 時 気 象 概 況

平成 30 年 3 月

気 象 庁



# 目次

1 平成29年(2017年)の気象災害 .....	1
1-1 気象の特徴 .....	1
1-2 主な気象災害 .....	2
資料1-2-1 主な気象災害に対応する気象資料 .....	21
資料1-2-2 平成29年(2017年)に発生した主な竜巻等の突風 .....	29
資料1-2-3 平成29年(2017年)激甚災害指定状況一覧表 .....	30
2 平成29年(2017年) 台風の概要 .....	32
2-1 平成29年(2017年)に発生した台風 .....	32
資料2-1-1 台風発生数一覧表 .....	33
資料2-1-2 日本への台風上陸数一覧表 .....	34
資料2-1-3 日本への台風接近数一覧表 .....	35
資料2-1-4 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表 .....	36
資料2-1-5 平成29年(2017年)に発生した台風の一覧表 .....	37
2-2 平成29年(2017年)に日本に影響した主な台風 .....	38
資料2-2-1 平成29年(2017年)に日本に影響した台風の概要表 .....	40
資料2-2-2 平成29年(2017年)に発生した台風の経路図 .....	41
3 平成29年(2017年)の天気概況 .....	45

---

本資料は、人的被害や社会活動に大きな影響のあった主な気象災害の概況や台風などについて、気象庁予報部において取りまとめたものである。



# 1 平成 29 年(2017 年)の気象災害

## 1-1 気象の特徴

梅雨の時期は、「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」など記録的な大雨が発生

梅雨前線の活動が活発となった時期があり、「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」など記録的な大雨となった所があった。新潟県や秋田県などでも大雨となった日があった。

8 月に北・東日本太平洋側で不順な天候

8 月はオホーツク海高気圧が出現し、北・東日本太平洋側には冷たく湿った空気が流れ込んだため、曇りや雨の日が続く不順な天候となった。

10 月は北～西日本では顕著な多雨・寡照

10 月は、秋雨前線や台風の影響を受けやすかったため、北～西日本では月降水量がかなり多く、月間日照時間がかなり少なかった。西日本の月降水量は、記録的に多かった。

沖縄・奄美は夏から秋にかけて顕著な高温が持続

沖縄・奄美では、夏は太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多く、秋には南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温のかなり高い状態が続いた。8 月、9 月は、2 か月続けて記録的な高温となった。

## 1-2 主な気象災害

ここでは、平成 29 年(2017 年)に発生し、人的被害や社会活動に大きな影響があった主な気象災害の概況について、おおむね発生日順に災害番号(括弧内番号)を付けて記述する。また、災害番号に続けて、災害期日:地域、( )内に災害の種類、< > 内に気圧配置等の気象状況を記す。災害の種別(大雨、大雪、暴風、突風、高波等)の一覧表は表 1.1 に示す。

被害の具体的な数値は、内閣府、総務省消防庁、国土交通省の資料及び、地方気象台等が国や都道府県の防災機関等から入手し、気象庁観測部計画課情報管理室がとりまとめた資料による。また、地方気象台等が行った突風の被害状況等調査報告等も参考にした。

表 1.1 災害の種類別の番号一覧表

災害名	災害番号
大雨(豪雨を含む)	(5)、(7)*、(9)*、(10)、(11)、(12)、(13)*、(16)*、(17)
大雪	(1)、(2)、(3)、(4)*
暴風(暴風雪を含む)	(1)、(3)、(5)、(7)*、(8)、(9)*、(11)、(13)*、(16)*、(17)
突風(竜巻を含む)	(6)、(7)*、(9)*、(13)*、(14)、(15)
高波	(1)、(5)、(7)*、(9)*、(11)、(13)*、(16)*、(17)
その他	(4)*

\*を付した災害については、資料 1-2-1「主な気象災害に対応する気象資料」に天気図等を掲載している。

(1)1月10日～1月17日:西日本から北日本(大雪、暴風雪、高波) <低気圧、冬型>

1月10日から17日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置が継続した。また、この間、複数の低気圧が北日本を通過した。このため、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降り、北陸地方から北日本にかけて大雪となった。特に、13日から16日にかけては、上空に強い寒気が流入し、西日本から東海地方にかけての太平洋側の平地でも積雪となったところがあった。また、北日本を中心に非常に強い風を観測したところがあり、西日本から北日本にかけての日本海側では大しけとなった。

この影響で、除雪作業中の事故等により、死者4名の人的被害が発生したほか、道路の通行止めや鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。また、公共施設や農地等への被害が発生し、停電や電話の不通、水道凍結などライフラインへの被害が発生した。(被害の状況は、気象庁及び、平成29年1月17日の内閣府とりまとめによる)

[主な日降雪量]

1月10日	山形県大蔵村肘折(ヒジオリ)	30 cm	青森県青森市酸ヶ湯(スカ1)	38 cm
	北海道中頓別町中頓別(ナカトンベツ)	32 cm		
1月11日	新潟県十日町市十日町(トオカマチ)	58 cm	福島県只見町只見(タミ)	42 cm
	山形県大蔵村肘折(ヒジオリ)	66 cm	宮城県栗原市駒ノ湯(コマノ)	30 cm
	岩手県一関市祭時(マツルヘ)	36 cm	青森県青森市酸ヶ湯(スカ1)	52 cm
1月12日	岐阜県白川村白川(シラカ)	44 cm	新潟県阿賀町津川(ツガリ)	44 cm
	長野県白馬村白馬(ハクバ)	30 cm	福島県南会津町南郷(ナンゴウ)	73 cm
	山形県大蔵村肘折(ヒジオリ)	47 cm		
1月13日	兵庫県香美町兔和野高原(ウノコウゲン)	37 cm	岐阜県郡上市長滝(ナガタ)	48 cm
	長野県野沢温泉村野沢温泉(ノザワオンセン)	51 cm	福井県大野市九頭竜(クスリユウ)	48 cm
	富山県富山市猪谷(イノタニ)	38 cm	新潟県津南町津南(ツナン)	69 cm
	群馬県みなかみ町藤原(フジワラ)	32 cm	福島県南会津町南郷(ナンゴウ)	34 cm
	山形県大蔵村肘折(ヒジオリ)	38 cm	秋田県湯沢市湯沢(ユザワ)	34 cm
1月14日	鳥取県智頭町智頭(チズ)	30 cm	島根県奥出雲町横田(ヨコタ)	30 cm
	広島県庄原市高野(タカノ)	33 cm	岡山県新見市千屋(チヤ)	39 cm
	兵庫県朝来市和田山(ワタヤマ)	39 cm	京都府南丹市美山(ミヤマ)	47 cm
	滋賀県高島市今津(イマツ)	41 cm	岐阜県関ヶ原町関ヶ原(セキガハラ)	35 cm
	長野県飯山市飯山(イハヤマ)	57 cm	福井県小浜市小浜(オハマ)	40 cm
	富山県富山市猪谷(イノタニ)	51 cm	新潟県湯沢町湯沢(ユザワ)	62 cm
	群馬県みなかみ町みなかみ	49 cm	福島県只見町只見(タミ)	41 cm
1月15日	広島県北広島町八幡(ヤウタ)	31 cm	岐阜県飛騨市河合(カワイ)	39 cm
	群馬県草津町草津(クサツ)	39 cm	福島県檜枝岐村檜枝岐(ヒノエタ)	32 cm
	山形県長井市長井(ナガイ)	31 cm	青森県青森市酸ヶ湯(スカ1)	35 cm
	北海道中頓別町中頓別(ナカトンベツ)	31 cm		
1月16日	群馬県みなかみ町藤原(フジワラ)	36 cm	福島県檜枝岐村檜枝岐(ヒノエタ)	42 cm
1月17日	長野県野沢温泉村野沢温泉(ノザワオンセン)	25 cm	長野県信濃町信濃町(シノマチ)	25 cm

[主な最大風速]

1月10日	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	20.0 m/s	西北西	[07:02]
1月11日	秋田県八峰町八森(ハチモリ)	21.2 m/s	西北西	[22:55]
	山形県酒田市飛鳥(トビシマ)	21.1 m/s	西北西	[06:43]
	東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	20.5 m/s	西	[19:43]

1月12日	秋田県八峰町八森(ハチモリ)	22.0	m/s	西北西	[05:08]
	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	21.7	m/s	西	[11:36]
	山形県酒田市飛鳥(ヒシマ)	20.5	m/s	西北西	[09:50]
1月13日	東京都神津島村神津島(コヅシマ)	17.2	m/s	西北西	[13:28]
1月14日	鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	20.8	m/s	西	[12:33]
1月15日	鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	19.3	m/s	北北西	[09:44]
1月16日	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	25.1	m/s	北北東	[07:47]
1月17日	新潟県佐渡市弾崎(ハジキザキ)	19.3	m/s	北北西	[01:41]

### (2)1月22日～1月25日:西日本から北日本(大雪)<低気圧、冬型、前線>

1月22日から23日にかけて、前線を伴った低気圧が日本海から千島の東に進み、25日にかけて、日本付近は冬型の気圧配置となった。このため、山陰から北海道にかけて雪となり、鳥取県大山町大山では日降雪量が95センチとなるなど、西日本や東北地方で大雪となった。

この影響で、除雪作業中の事故等により、死者4名の人的被害が発生したほか、鳥取県で車両の立ち往生が発生するなど、道路の通行止めや鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。また、農地等への被害が発生したほか、停電や電話の不通等、ライフラインへの被害が発生した。(被害の状況は、気象庁及び、平成29年2月2日の内閣府とりまとめによる)

#### [主な日降雪量]

1月22日	広島県庄原市高野(タカ)	38	cm	山形県大蔵村肘折(ヒジオリ)	42	cm
	北海道広尾町広尾(ヒロオ)	33	cm	北海道土幌町ぬかびら源泉郷	33	cm
	北海道夕張市夕張(ユハリ)	33	cm			
1月23日	鳥取県大山町大山(ダイセン)	95	cm	島根県奥出雲町横田(ヨコタ)	43	cm
	広島県庄原市高野(タカ)	41	cm	岡山県真庭市上長田(かながた)	59	cm
	兵庫県香美町兔和野高原(ウノコウゲン)	67	cm	京都府舞鶴市舞鶴(マイヅル)	37	cm
	滋賀県高島市今津(イマヅ)	59	cm	岐阜県飛騨市河合(カワイ)	35	cm
	長野県野沢温泉村野沢温泉(ノザリオンセン)	34	cm	福井県小浜市小浜(オハマ)	36	cm
	富山県富山市猪谷(イノタニ)	31	cm	新潟県津南町津南(ツナン)	39	cm
	福島県南会津町南郷(ナンゴウ)	59	cm	山形県米沢市米沢(ヨネザリ)	32	cm
	秋田県湯沢市湯の岱(ユノタイ)	49	cm	北海道厚岸町太田(オオタ)	35	cm
	北海道遠軽町遠軽(エンガル)	35	cm			
1月24日	鳥取県大山町大山(ダイセン)	42	cm	滋賀県彦根市彦根(ヒコネ)	30	cm
	長野県飯山市飯山(イヤマ)	37	cm	新潟県湯沢町湯沢(ユザリ)	32	cm
	群馬県みなかみ町みなかみ	34	cm	山形県大蔵村肘折(ヒジオリ)	30	cm
	山形県小国町小国(オクニ)	30	cm	秋田県北秋田市阿仁合(アニアイ)	30	cm
	青森県青森市酸ヶ湯(スカ)	33	cm			
1月25日	群馬県みなかみ町藤原(フジワラ)	30	cm			

### (3)2月9日～2月14日:西日本から東北地方(大雪、暴風雪)<低気圧、冬型>

2月9日から10日にかけて、低気圧が発達しながら本州南岸から日本の東に進み、14日にかけて日本付近は冬型の気圧配置となった。このため、山陰から北日本にかけて雪となり、日降雪量が兵庫県香美町兔和野高原で98センチとなるなど、中国地方や近畿地方、北陸地方で大雪となった。また、北陸地方や北日本では非常に強い風を観測したところがあった。

この影響で、除雪作業中の事故等により、死者5名の人的被害が発生したほか、道路の通行止めや鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。また、農地等への被害が発生したほか、停電や電話の不通等、ライフラインへの被害が発生した。(被害の状況は、気象庁及び、平成29年2月15日の内閣府とりまとめによる)

[主な日降雪量]

2月9日	島根県飯南町赤名(アカ)	30 cm	広島県庄原市高野(タカ)	31 cm
2月10日	鳥取県鳥取市鳥取(トトリ)	65 cm	島根県飯南町赤名(アカ)	37 cm
	広島県庄原市高野(タカ)	52 cm	岡山県真庭市上長田(かながた)	46 cm
	兵庫県香美町兔野高原(ウノコゲン)	98 cm	京都府京丹後市峰山(ミネヤマ)	48 cm
	滋賀県高島市今津(イマヅ)	41 cm	岐阜県白川村白川(シラカ)	42 cm
	長野県小谷村小谷(オトリ)	38 cm	福井県小浜市小浜(オハマ)	81 cm
	石川県加賀市加賀菅谷(カガサガタニ)	30 cm		
2月11日	鳥取県大山町大山(ダイセン)	48 cm	岡山県真庭市上長田(かながた)	32 cm
	滋賀県長浜市柳ヶ瀬(ヤナガセ)	61 cm	岐阜県関ヶ原町関ヶ原(せきがはら)	43 cm
	福井県敦賀市敦賀(ツルガ)	42 cm	富山県富山市猪谷(イノタニ)	31 cm
	新潟県魚沼市守門(スモン)	39 cm	群馬県みなかみ町藤原(フジワラ)	32 cm
	福島県金山町金山(カネヤマ)	47 cm	山形県米沢市米沢(ヨネザリ)	30 cm
	秋田県仙北市角館(かノダテ)	37 cm		
2月12日	広島県北広島町大朝(オオアサ)	31 cm	群馬県みなかみ町藤原(フジワラ)	38 cm
	福島県檜枝岐村桧枝岐(ヒノエマタ)	35 cm	青森県平川市碓ヶ関(イカリガセキ)	34 cm
2月13日	新潟県十日町市十日町(トオカマチ)	31 cm		
2月14日	新潟県十日町市十日町(トオカマチ)	22 cm		

[主な最大風速]

2月9日	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	21.6 m/s	北西	[16:48]
2月10日	新潟県佐渡市相川(アイカリ)	21.6 m/s	北北西	[02:52]
2月11日	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	23.4 m/s	西南西	[14:15]
2月12日	東京都神津島村神津島(コヅシマ)	19.2 m/s	西北西	[00:31]
2月14日	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	15.2 m/s	北西	[14:26]

(4)\*3月27日:東日本から北日本(大雪、その他)<低気圧、冬型>

3月27日は、東海道沖に発生した寒気を伴った低気圧が関東の東海上へ進んだ。この影響で、東日本から北日本で雪や雨となり、関東地方から東北地方の山沿いを中心に降雪量が多くなった。

栃木県那須町では27日8時30分頃、雪崩が発生し、死者8名、重軽傷者40名の人的被害が発生した。(被害の状況は、平成29年3月30日の総務省消防庁とりまとめによる)

[主な日降雪量]

3月27日	福島県天栄村湯本(ユト)	36 cm	栃木県那須町那須高原(ナスクゲン)	35 cm
-------	--------------	-------	-------------------	-------

(5)4月17日~4月19日:西日本から北日本(大雨、暴風、高波)<低気圧、前線>

4月17日から19日にかけて、低気圧が発達しながら日本海を北東へ進み、この低気圧からのびる前線が日本付近を通過した。この影響で、高知県の多いところで日降水量が200ミリを超えるなど、西日本から東日本、北海道で日降水量100ミリを超える大雨となった。また、最大風速が高知県室戸市室戸岬で29.8メートル、山形県酒田市飛島で27.6メートルとなるなど、西日本から北日本で暴風となり、北日本太平洋側では大しけとなっ

た。

この影響で、西日本から北日本にかけて住家の損壊や農地等への被害、道路の通行止めや鉄道の運休、船舶・航空機の欠航などの交通障害、停電等が発生した。(被害の状況は、気象庁調べ)

[主な日降水量]

4月17日	宮崎県えびの市えびの	111.0 mm	熊本県五木村五木(イツキ)	102.0 mm
	佐賀県伊万里市伊万里(イマリ)	136.0 mm	長崎県松浦市松浦(マツウラ)	161.5 mm
	福岡県北九州市空港北町(クウコウキタマチ)	115.5 mm	大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	127.0 mm
	山口県周南市和田(ワダ)	158.0 mm	高知県馬路村魚梁瀬(イサセ)	286.5 mm
	愛媛県西条市成就社(シヨウジユシヤ)	112.5 mm	徳島県海陽町海陽(カイヨウ)	155.0 mm
	広島県広島市三入(ミイリ)	132.5 mm	和歌山県古座川町西川(ニシカワ)	102.0 mm
	兵庫県朝来市生野(イクノ)	136.0 mm	岐阜県斐川町揖斐川(イヒガワ)	165.5 mm
	愛知県新城市作手(ツクテ)	104.5 mm	静岡県浜松市春野(ハルノ)	102.0 mm
4月18日	和歌山県田辺市護摩壇山(ゴマダソサン)	116.0 mm	静岡県伊豆市天城山(アマキサン)	163.0 mm
	神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	104.5 mm	東京都大島町大島(オオシマ)	118.0 mm
	北海道登別市カルルス	135.0 mm		
4月19日	山形県真室川町差首鍋(サスナヘ)	55.5 mm		

[主な最大風速]

4月17日	高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	29.8 m/s	南南西	[23:17]
	和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	25.1 m/s	南	[22:50]
	兵庫県神戸市神戸空港(コウベクウコウ)	20.7 m/s	南	[23:11]
	大阪府田尻町関空島(カンクウジマ)	23.0 m/s	南	[23:09]
4月18日	高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	29.2 m/s	南西	[00:07]
	和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	22.6 m/s	南南東	[00:10]
	大阪府田尻町関空島(カンクウジマ)	20.0 m/s	南南東	[00:14]
	新潟県佐渡市両津(リョウツ)	23.7 m/s	西南西	[10:02]
	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	21.7 m/s	南南西	[06:51]
	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	24.5 m/s	西南西	[11:33]
	青森県青森市青森大谷(アオモリオオタニ)	20.5 m/s	南南西	[14:21]
	北海道えりも町えりも岬	21.8 m/s	北東	[14:51]
4月19日	新潟県佐渡市両津(リョウツ)	23.9 m/s	西南西	[11:49]
	福島県白河市白河(シラカワ)	21.4 m/s	西北西	[19:35]
	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	27.6 m/s	西南西	[12:22]
	宮城県名取市名取(ナトリ)	20.1 m/s	西	[13:17]

(6)4月29日:東海地方(突風)<大気不安定>

4月29日は、上空の寒気を伴う気圧の谷が日本付近を通過し、近畿地方から北日本では雨となったところがあった。東海地方では大気の状態が不安定となり、三重県津市ではガストフロントと見られる突風が発生し、負傷者2名の人的被害が発生したほか、三重県四日市市でも突風が発生し、負傷者1名の人的被害が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

4月29日	岐阜県関ヶ原町関ヶ原(セキガハラ)	10.0 mm		
-------	-------------------	---------	--	--

(7) \*6月7日～7月27日:全国(大雨、暴風、高波、突風) <梅雨前線、台風第3号>

平成29年6月7日から7月27日の期間中、日本付近に停滞した梅雨前線や台風等の影響で、各地で大雨となった。

6月19日頃から21日頃にかけては梅雨前線を低気圧が東に進み、近畿地方の多いところで日降水量が400ミリを超えるなど、西日本を中心に大雨となった。また、6月30日頃から7月6日頃にかけて、梅雨前線の活動が活発となり、台風第3号が日本に上陸し、これらの影響で九州から東北地方で大雨・暴風となった。特に7月5日から6日にかけては活動の活発な梅雨前線が停滞した影響等で、線状降水帯が形成・維持された。このため、猛烈な雨が同じ場所で降り続き、期間中の最大1時間降水量が福岡県朝倉市朝倉で129.5ミリに達し、降り始めからの降水量は、福岡県朝倉市朝倉で586.0ミリ、大分県日田市日田で402.5ミリとなり、中国地方でも300ミリを超えるなど、西日本で記録的な大雨となった。気象庁では、九州北部地方で発生したこの豪雨について「平成29年7月九州北部豪雨」と命名した。その後7月22日頃から23日頃にかけては、梅雨前線が北陸地方から東北地方に停滞し、東北地方の多いところで日降水量が200ミリを超えるなど大雨となった。このほか、7月16日に埼玉県でガストフロントと見られる突風が発生した。

これらの大雨等の影響で、土砂災害や河川の氾濫、浸水害等が発生し、甚大な被害となった。特に6月30日頃からの梅雨前線による大雨や台風第3号による大雨等では、九州北部地方を中心に、赤谷川等の中小河川の氾濫のほか、土砂災害や浸水害等が相次いで発生し、死者42名、行方不明者2名の人的被害が生じた。また、7月22日頃からの梅雨前線による大雨では、東北地方を中心に河川の氾濫や浸水害等が発生し、雄物川やその支川等が氾濫した秋田県等で住家浸水等の被害が発生した。(被害の状況は、平成30年1月17日及び平成29年8月9日の内閣府とりまとめによる)

6月7日から6月10日まで

7日は、梅雨前線が九州付近に北上し、その後9日にかけて南西諸島付近に南下した。その後10日にかけて梅雨前線は奄美地方付近に北上し、前線を低気圧が東へ進んだ。これらの影響で全国的に雨となり、九州北部地方では多いところで日降水量が100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

6月7日	長崎県五島市福江(フキ)	121.5 mm
6月8日	北海道浦河町中杵臼(ナカキヌ)	69.0 mm
6月9日	群馬県沼田市沼田(ヌマタ)	32.0 mm
6月10日	北海道豊浦町大岸(オオシ)	54.0 mm

6月11日から6月14日まで

11日は、梅雨前線が九州南部付近に北上した。その後、梅雨前線は12日から14日にかけて南西諸島付近に南下して停滞した。この間、梅雨前線上に複数の低気圧が発生して東へ進んだ。これらの影響で、全国的に雨となり、沖縄地方の多いところで日降水量200ミリを超え、奄美地方や九州南部でも多いところで日降水量100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

6月11日	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	108.0 mm		
6月12日	沖縄県読谷村読谷(ヨミタン)	94.0 mm		
6月13日	鹿児島県与論町与論島(ヨロンジマ)	114.5 mm	沖縄県名護市名護(ナゴ)	126.5 mm
6月14日	沖縄県名護市名護(ナゴ)	231.5 mm	沖縄県東村東(ヒガシ)	231.5 mm
	鹿児島県与論町与論島(ヨロンジマ)	168.5 mm		

6月15日から6月18日まで

15日から18日にかけて、梅雨前線は南西諸島付近に停滞し、先島諸島付近に発生した低気圧が前線上を北東へ進んだ。また、日本海北部の低気圧が三陸沖へ進んだ。これらの影響で、沖縄地方や関東地方、北日本では雨となった。

[主な日降水量]

6月15日	沖縄県石垣市盛山(モイヤマ)	37.0 mm
6月16日	沖縄県南城市糸数(イトガシ)	37.0 mm
6月17日	沖縄県渡嘉敷村渡嘉敷(トカシキ)	88.5 mm
6月18日	千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	82.0 mm

6月19日から6月21日まで

19日から20日にかけて、梅雨前線は九州南部付近に北上した。21日は、四国付近に低気圧が発生して前線を北東へ進み、三陸沖に達した。また、山陰沖に低気圧が発生し、秋田沖に進んだ。これらの影響で、近畿地方では多いところで日降水量400ミリを超える大雨となり、九州南部や東海地方でも日降水量300ミリを超えたところがあった。また、沖縄・奄美から東日本の太平洋側を中心に、各地で日降水量100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

6月19日	沖縄県南城市糸数(イトガシ)	245.0 mm		
6月20日	鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ)	321.5 mm	宮崎県日南市深瀬(フカセ)	229.0 mm
	高知県土佐清水市三崎(ミサキ)	169.5 mm	大分県佐伯市蒲江(カマエ)	105.0 mm
6月21日	和歌山県古座川町西川(ニシカワ)	423.5 mm	静岡県伊豆市天城山(アマキサン)	326.0 mm
	三重県熊野市熊野新鹿(クマノアツシカ)	274.5 mm	奈良県下北山村下北山(シモキタヤマ)	190.5 mm
	高知県馬路村魚梁瀬(イサセ)	178.5 mm	愛知県新城市作手(ツクデ)	175.0 mm
	徳島県那賀町木頭(キトウ)	151.0 mm	兵庫県洲本市洲本(スモト)	138.5 mm
	神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	137.5 mm	山梨県山中湖村山中(ヤマナカ)	134.0 mm
	滋賀県大津市南小松(ナミコマツ)	106.0 mm	長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	105.0 mm
	京都府京都市京都(キョウト)	104.5 mm	茨城県北茨城市北茨城(キタイバシキ)	100.5 mm

6月22日から6月25日まで

22日は三陸沖の低気圧が北東へ進み、その後、梅雨前線は九州南部から関東の東に停滞した。これらの影響で西日本から東日本の太平洋側を中心に、多いところで日降水量100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

6月22日	鹿児島県南種子町上中(カシカ)	140.5 mm		
6月23日	鹿児島県南種子町上中(カシカ)	186.0 mm		
6月24日	鹿児島県薩摩川内市八重山(ヤエヤマ)	122.5 mm	宮崎県えびの市えびの	107.0 mm
6月25日	高知県土佐清水市清水(シミズ)	179.0 mm	和歌山県串本町潮岬(シオミサキ)	168.0 mm
	熊本県芦北町田浦(タウラ)	146.0 mm	東京都利島村利島(トシマ)	108.0 mm
	宮崎県西米良村西米良(ニシメラ)	100.5 mm		

6月26日から6月28日まで

26日から28日にかけて、梅雨前線が九州南部から関東の東に停滞したため、ほぼ全国的に雨となり、九州南部では多いところで日降水量100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

6月26日	鹿児島県十島村小宝島(コダカラジマ)	57.5 mm
6月27日	鹿児島県屋久島町尾之間(オノアゲ)	147.0 mm
6月28日	東京都八丈町八丈島(ハチジョウジマ)	71.0 mm

6月29日から6月30日まで

29日から30日にかけて、南西諸島を北上した熱帯低気圧や、対馬海峡から関東の東に停滞した梅雨前線の影響で、長崎県壱岐市芦辺ではこの期間の降水量が434.0ミリとなり、最大1時間降水量や最大24時間降水量等が観測史上1位の値を更新する大雨となった。また、九州北部地方や中国地方では多いところで日降水量100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

6月29日	長崎県壱岐市芦辺(アシハ)	249.0 mm	福岡県福岡市小呂島(オノシマ)	112.0 mm
6月30日	広島県廿日市市廿日市津田(ハツカイチツ)	113.0 mm	長崎県壱岐市芦辺(アシハ)	185.0 mm
	広島県廿日市市廿日市津田(ハツカイチツ)	113.0 mm		

7月1日から7月4日まで

1日から4日にかけて、梅雨前線は北陸地方から東北地方に停滞した。また、台風第3号が4日8時頃長崎県長崎市付近に上陸し、愛媛県や和歌山県に再上陸した。梅雨前線や台風の影響で、この期間中の降水量が、北陸地方や甲信地方では多いところで300ミリを超えるなど、九州南部から東北地方の各地で日降水量100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

7月1日	高知県香美市大栃(オドチ)	244.5 mm	新潟県糸魚川市糸魚川(イトイガリ)	226.0 mm
	富山県黒部市宇奈月(ウツキ)	205.5 mm	石川県七尾市七尾(ナナオ)	166.5 mm
	長野県小谷村小谷(オチ)	155.5 mm	徳島県那賀町木頭(キウ)	150.5 mm
	岐阜県下呂市宮地(ミヤジ)	101.0 mm		
7月2日	新潟県阿賀町室谷(ムロヤ)	125.5 mm		
7月3日	新潟県長岡市小国(オコニ)	156.5 mm	福島県只見町只見(タミ)	121.0 mm
	山形県酒田市上草津(カクサツ)	102.5 mm		
7月4日	長野県松本市上高地(カクウチ)	169.0 mm	茨城県常総市常総(ジョウソウ)	167.0 mm
	宮崎県えびの市えびの	162.0 mm	熊本県阿蘇市阿蘇乙姫(アソトヒメ)	157.5 mm
	石川県白山市白山白峰(ハクサンシラミネ)	129.0 mm	福井県大野市大野(オノ)	138.0 mm
	高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	131.0 mm	岐阜県白川村白川(シラカワ)	144.5 mm
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンセンダケ)	118.5 mm	新潟県魚沼市守門(スモン)	113.5 mm
	鹿児島県さつま町紫尾山(シビサン)	108.0 mm		

[主な最大風速]

7月1日	和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	17.9 m/s	南	[07:07]
7月2日	沖縄県石垣市盛山(モリヤマ)	16.1 m/s	東北東	[24:00]
7月3日	沖縄県石垣市盛山(モリヤマ)	23.5 m/s	南	[01:50]
7月4日	高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	38.4 m/s	南西	[14:51]
	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	29.1 m/s	南南西	[22:24]
	長崎県長崎市野母崎(ノモザキ)	27.2 m/s	南東	[07:24]
	熊本県宇城市三角(ミスミ)	23.1 m/s	南西	[09:02]

大分県佐伯市蒲江(カマエ)	22.8 m/s	南	[11:19]
和歌山県串本町潮岬(シオミサキ)	20.9 m/s	西南西	[17:30]

#### 7月5日から7月6日まで

5日は、台風第3号が東へ進み、9時に日本の東で温帯低気圧となった。また、6日にかけて、対馬海峡から本州南岸に梅雨前線が停滞し、前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響で、九州北部地方の多いところで500ミリ、中国地方でも300ミリを超える日降水量を観測するなど、西日本で記録的な大雨となった。

##### [主な日降水量]

7月5日	福岡県朝倉市朝倉(アサクラ)	516.0 mm	大分県日田市日田(ヒタ)	336.0 mm
	島根県浜田市波佐(ハサ)	320.0 mm	広島県北広島町八幡(ヤワタ)	237.5 mm
	熊本県南小国町南小国(ミナミオクニ)	223.0 mm	山口県山口市徳佐(トクサ)	102.5 mm
	岡山県笠岡市笠岡(カサオカ)	101.0 mm	鹿児島県十島村平島(タイラジマ)	100.0 mm
7月6日	長崎県壱岐市芦辺(アシヘ)	362.5 mm	佐賀県白石町白石(シロイシ)	310.5 mm
	福岡県柳川市柳川(ヤガリ)	247.5 mm	熊本県玉名市岱明(タイメイ)	219.0 mm
	鹿児島県伊佐市大口(オオクチ)	150.0 mm	宮崎県えびの市加久藤(カクト)	147.0 mm
	大分県竹田市竹田(タタ)	113.5 mm		

#### 7月7日

7日は、朝鮮半島から日本の南に停滞した梅雨前線の影響で、西日本では雨となり、九州北部地方では多いところで日降水量が200ミリを超える大雨となった。

##### [主な日降水量]

7月7日	福岡県北九州市八幡(ヤハタ)	203.5 mm	熊本県山都町山都(ヤマト)	122.5 mm
------	----------------	----------	---------------	----------

#### 7月8日から7月9日まで

8日から9日にかけて、朝鮮半島から西日本にのびる梅雨前線の影響で、西日本では雨となり、九州南部では多いところで日降水量が200ミリを超える大雨となったほか、中国地方や四国地方でも日降水量が多いところで100ミリを超える大雨となった。

##### [主な日降水量]

7月8日	鹿児島県鹿屋市吉ヶ別府(ヨシガベツフ)	230.0 mm		
7月9日	島根県飯南町赤名(アカナ)	144.5 mm	徳島県上勝町福原旭(フクハラアサヒ)	109.5 mm

#### 7月10日から7月11日まで

10日から11日にかけて、梅雨前線が北上して対馬海峡から北海道にかけてのびたため、西日本から北日本の日本海側では雨となった。

##### [主な日降水量]

7月10日	愛知県豊田市小原(オハラ)	63.5 mm		
7月11日	長野県麻績村聖高原(ヒジリコウゲン)	65.0 mm		

#### 7月12日から7月14日まで

12日は、梅雨前線は九州北部地方付近から北海道にかけてのび、その後、14日にかけて東北地方付近に停滞した。この影響で全国的に雨となり、この期間中の降水量が、岐阜県の多いところで200ミリを超えるなど、

東海地方では多いところで日降水量 100 ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

7月12日	茨城県常陸大宮市常陸大宮(ヒチオオミヤ)	68.5 mm	栃木県佐野市佐野(サノ)	68.5 mm
7月13日	静岡県静岡市静岡(シズカ)	123.5 mm		
7月14日	岐阜県美濃加茂市美濃加茂(ミノカモ)	128.5 mm		

7月15日

15日は、日本の南に中心を持つ高気圧に覆われて全国的に晴れたが、湿った空気の影響で全国的に所々で雨となった。

[主な日降水量]

7月15日	宮崎県美郷町神門(ミカド)	43.5 mm
-------	---------------	---------

7月16日から7月18日まで

16日は、梅雨前線が東へ進み、朝鮮半島から東北地方に停滞した。その後、18日にかけて、前線上に低気圧が発生して東へ進み、梅雨前線は南下し、朝鮮半島から西日本にかけてのびた。この影響で、北陸地方や東北地方では多いところで日降水量 200 ミリを超える大雨となった。また、大気の状態が不安定となったため、16日に埼玉県上尾市及び桶川市でガストフロントと見られる突風が発生した。

[主な日降水量]

7月16日	秋田県北秋田市阿仁合(アニアイ)	160.5 mm		
7月17日	岩手県洋野町種市(タネイチ)	112.5 mm		
7月18日	福島県只見町只見(タミ)	251.0 mm	新潟県加茂市宮寄上(ミヤヨリカミ)	219.0 mm
	熊本県八代市八代(ヤツロ)	104.0 mm		

7月19日から7月21日まで

19日から20日にかけては、梅雨前線はサハリン付近に停滞した。その後21日にかけて、前線上を低気圧が北東へ進み、梅雨前線は北海道付近まで南下した。前線や四国沖の低気圧の影響で西日本を中心に雨となり、九州南部では多いところで日降水量 100 ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

7月19日	鹿児島県鹿児島市喜入(キイル)	110.5 mm
7月20日	福岡県久留米市久留米(クルマ)	62.5 mm
7月21日	栃木県那須町那須高原(ナスノケン)	88.0 mm

7月22日から7月26日まで

22日から24日にかけては、梅雨前線は北陸地方から東北地方に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ。この間、複数の低気圧が前線上を東へ進んだ。これらの影響で、この期間中の降水量が秋田県の多いところで 300 ミリを超え、北陸地方や東北地方の各地で 200 ミリを超える大雨となった。また、九州北部地方から関東甲信地方にかけて、各地で日降水量 100 ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

7月22日	秋田県横手市横手(ヨコテ)	262.0 mm	青森県平川市温川(ヌルカ)	142.0 mm
	熊本県湯前町湯前横谷(ユノマエヨコタニ)	100.5 mm	岩手県西和賀町湯田(ユダ)	116.0 mm
7月23日	秋田県仙北市鎧畑(ヨロイハタ)	228.5 mm	岩手県雫石町葛根田(カクソウダ)	205.0 mm
	新潟県佐渡市秋津(アキツ)	134.0 mm	山形県酒田市上草津(カクサツ)	119.0 mm

7月24日	鳥取県鳥取市鹿野(シカノ)	171.5 mm	新潟県阿賀町津川(ツガリ)	144.5 mm
	山形県小国町小国(オグニ)	117.5 mm		
7月25日	富山県富山市富山(トヤマ)	148.0 mm	栃木県大田原市大田原(オオタワラ)	136.5 mm
	島根県松江市鹿島(カシマ)	136.0 mm	兵庫県豊岡市豊岡(トヨオカ)	115.5 mm
	鳥取県境港市境(サカイ)	108.5 mm	石川県金沢市医王山(イオウゼン)	103.0 mm
7月26日	長野県南木曾町南木曾(ナギリ)	127.0 mm	群馬県桐生市桐生(キリュウ)	109.5 mm
	宮崎県えびの市えびの	103.5 mm		

7月27日

27日は、四国地方から関東地方にのびる梅雨前線が東へ進み、前線に向かって湿った空気が流入した。この影響で、西日本から関東地方では雨となり、東海地方では日降水量が多いところで100ミリを超える大雨となった。

[主な日降水量]

7月27日	三重県尾鷲市尾鷲(オレ)	144.0 mm
-------	--------------	----------

(8)7月28日～7月30日:沖縄地方(暴風)＜台風第9号、台風第10号＞

7月26日3時にフィリピンの東海上で発生した台風第9号は西北西に進み、29日に沖縄地方に接近し、台湾に上陸した。その後台風は、30日9時に華南に上陸し、同日21時に熱帯低気圧となった。また、29日3時に南シナ海で発生した台風第10号は北東へ進み、30日に台湾に上陸し、沖縄地方に接近した。その後台風は、31日15時に華南で熱帯低気圧となった。これらの影響で沖縄地方では雨となり、沖縄県与那国町与那国島で36.6メートルの最大風速を観測するなど、沖縄地方で暴風となった。

このため、沖縄地方で停電や船舶・航空機の欠航等の被害が発生した。(被害の状況は、気象庁調べ)

[主な最大風速]

7月28日	沖縄県石垣市盛山(モリヤマ)	11.5 m/s	東	[22:17]
7月29日	沖縄県与那国町与那国島(ヨナグニジマ)	36.6 m/s	南東	[18:17]
7月30日	沖縄県与那国町所野(トコノ)	14.6 m/s	南南東	[00:02]

(9)\*8月3日～8月9日:全国(大雨、暴風、高波、突風)＜台風第5号＞

7月20日21時に南鳥島の北東で発生した台風第5号は、反時計回りに進んだ後、進路を南西に変え、その後、徐々に進路を北西に変えた。台風は、8月5日に屋久島の西海上でほとんど停滞した後、進路を北東に変え、6日2時過ぎに屋久島を通過し、同日9時半頃に種子島を通過した。台風は7日10時前に室戸岬を通過し、同日15時過ぎに和歌山県北部に上陸して、その後も北東に進み、8日には日本海に達した。台風は8日21時に日本海で温帯低気圧となり、その後、9日21時に消滅した。

この影響で、奄美地方では、多いところで日降水量が500ミリを超えたほか、西日本から東日本でも広い範囲で日降水量が200ミリを超える大雨となった。また、奄美地方から東海地方にかけて、太平洋側を中心に風速20メートル以上の非常に強い風を観測するなど暴風となり、海は太平洋側で大しけとなった。さらに、台風の接近に伴って大気の状態が不安定となったため、7日に、愛知県で日本版改良藤田スケールでJEF2の強さの竜巻が発生した。

この影響で、死者2名の人的被害が発生したほか、西日本を中心に土砂災害や浸水害等が発生し、住家の損壊や浸水、公共施設や農地等への被害が発生した。また、道路の通行止め、鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害、停電、電話の不通等のライフラインへの被害が発生した。(被害の状況は、気象庁及び、平成29年8月10日の内閣府とりまとめによる)

[主な日降水量]

8月3日	三重県尾鷲市尾鷲(オセ)	98.0	mm		
8月4日	鹿児島県喜界町喜界島(キカイジマ)	160.5	mm	宮崎県美郷町神門(ミカド)	104.5 mm
8月5日	鹿児島県奄美市名瀬(ナセ)	509.0	mm	宮崎県えびの市えびの	192.5 mm
	大分県佐伯市宇目(ウメ)	111.5	mm		
8月6日	宮崎県日南市深瀬(フカセ)	243.5	mm	高知県津野町船戸(フナト)	209.5 mm
	鹿児島県肝付町内之浦(ウチノウラ)	184.5	mm	群馬県草津町草津(クサツ)	150.5 mm
	大分県佐伯市宇目(ウメ)	116.0	mm		
8月7日	三重県大台町宮川(ミヤガリ)	328.5	mm	徳島県上勝町福原旭(フクハラアサヒ)	315.5 mm
	鳥取県鳥取市鹿野(シカノ)	314.5	mm	和歌山県田辺市龍神(リュウジン)	289.0 mm
	静岡県静岡市井川(イカ)	278.5	mm	山梨県大月市大月(オオツキ)	261.0 mm
	滋賀県高島市朽木平良(クツキヘラ)	258.0	mm	奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	254.5 mm
	岐阜県関ヶ原町関ヶ原(セキガハラ)	254.5	mm	高知県馬路村魚梁瀬(イサセ)	246.5 mm
	神奈川県山北町丹沢湖(タンザウミ)	222.0	mm	愛媛県四国中央市富郷(トホ)	199.5 mm
	兵庫県南あわじ市南淡(ナンタン)	173.0	mm	群馬県高崎市榛名山(ハルナサン)	170.5 mm
	香川県東かがわ市引田(ヒケタ)	165.5	mm	愛知県豊田市阿蔵(アソウ)	160.5 mm
	岡山県鏡野町恩原(オンハラ)	160.0	mm	京都府福知山市坂浦(サカウラ)	117.5 mm
	大阪府河内長野市河内長野(カチナガノ)	112.0	mm	福井県小浜市小浜(オハマ)	111.5 mm
8月8日	石川県白山市白山河内(ハクサンカワチ)	254.5	mm	富山県上市町上市(カチ)	192.0 mm
	福井県福井市美山(ミヤマ)	178.5	mm	滋賀県長浜市柳ヶ瀬(ヤナガセ)	173.5 mm
	栃木県日光市奥日光(オクニッコウ)	172.5	mm	岩手県大槌町新町(シンチョウ)	160.5 mm
	宮城県仙台市泉ヶ岳(イズミガタケ)	141.5	mm	長野県南木曾町南木曾(ナギノ)	141.0 mm
	岐阜県高山市栢尾(トチオ)	103.5	mm		
8月9日	富山県黒部市宇奈月(ウツキ)	86.5	mm		

[主な最大風速]

8月3日	鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ)	15.3	m/s	北北東	[02:34]
8月4日	鹿児島県喜界町喜界島(キカイジマ)	26.5	m/s	西	[19:33]
8月5日	鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ)	25.4	m/s	東南東	[13:35]
8月6日	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	26.5	m/s	西北西	[12:43]
	高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	20.7	m/s	東	[23:51]
8月7日	高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	35.2	m/s	西	[11:12]
	徳島県阿南市蒲生田(カモダ)	22.8	m/s	東	[12:29]
	愛知県常滑市セントレア	22.7	m/s	南東	[19:34]
8月8日	静岡県熱海市網代(アジロ)	18.1	m/s	西南西	[10:40]
8月9日	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	17.0	m/s	北東	[07:36]

(10)8月11日～8月19日:西日本から東日本(大雨)<気圧の谷、低気圧>

8月11日から19日にかけて、複数の低気圧が連続して日本付近を通過し、大気的不安定な状態が継続した。このため、全国的に雨となり、西日本から東日本にかけて大雨となったところがあった。

この影響で、西日本から東日本にかけて土砂災害や浸水害等が発生し、住家浸水や農地等への被害が発生したほか、道路の通行止めや鉄道の運休などの交通障害、停電等が発生した。また、東京都では落雷による人的被害が発生した。(被害の状況は、気象庁調べ)

[主な日降水量]

8月11日	長野県長野市鬼無里(キナ)	132.5 mm		
8月12日	富山県富山市猪谷(イノタニ)	83.5 mm		
8月13日	群馬県桐生市黒保根(カホ)	102.0 mm		
8月14日	長崎県長崎市長浦岳(ナガラダケ)	151.0 mm		
8月15日	熊本県甲佐町甲佐(カサ)	184.0 mm	長崎県南島原市口之津(クチノツ)	134.0 mm
	広島県庄原市高野(タカノ)	117.5 mm	栃木県足利市足利(アシカガ)	107.0 mm
	島根県飯南町赤名(アカナ)	102.0 mm		
8月16日	福岡県福岡市小呂島(オロシマ)	194.0 mm		
8月17日	高知県香美市繁藤(シゲトウ)	121.0 mm		
8月18日	岐阜県多治見市多治見(タジミ)	153.5 mm	兵庫県丹波市柏原(カイハラ)	132.5 mm
	新潟県魚沼市小出(コイデ)	129.0 mm		
8月19日	石川県輪島市舳倉島(ヘグラジマ)	103.0 mm		

(11)8月30日～9月2日:東日本(大雨、暴風、高波)＜台風第15号＞

8月28日15時にマリアナ諸島の東海上で発生した台風第15号は、徐々に進路を西へ変えた後、小笠原諸島の周辺で2回、反時計回りに進んだ。その後、台風は進路を北東に変え、日本の東を北上した後、3日21時に千島の東で温帯低気圧となった。

この影響で東日本を中心に雨となった。台風が接近した小笠原諸島では大雨や暴風となり、海は猛烈なしけとなった。

[主な日降水量]

8月30日	神奈川県山北町丹沢湖(タマガワ)	108.0 mm	東京都小笠原村父島(チヂマ)	102.5 mm
8月31日	東京都小笠原村母島(ハハジマ)	152.0 mm		
9月1日	東京都小笠原村母島(ハハジマ)	149.5 mm		
9月2日	東京都大島町大島(オシマ)	33.5 mm	埼玉県熊谷市熊谷(クマガヤ)	33.5 mm

[主な最大風速]

8月30日	東京都小笠原村父島(チヂマ)	19.6 m/s	南東	[21:31]
8月31日	東京都小笠原村父島(チヂマ)	27.0 m/s	南南西	[20:36]
	東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	20.2 m/s	北東	[12:50]
9月1日	東京都小笠原村父島(チヂマ)	27.0 m/s	南南西	[04:47]
9月2日	千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	19.1 m/s	北	[17:11]

(12)9月3日～9月4日:沖縄・奄美から西日本(大雨)＜湿った空気＞

9月3日から4日にかけては、日本海に中心を持つ高気圧の縁辺を回る湿った空気が流入した影響で、沖縄・奄美から九州を中心に雨となり、奄美地方の多いところで日降水量が400ミリを超える大雨となった。

この影響で、沖縄地方や奄美地方を中心に住家の浸水や停電等の被害が発生した。(被害の状況は、気象庁調べ)

[主な日降水量]

9月3日	鹿児島県喜界町喜界島(キカイジマ)	86.0 mm
9月4日	鹿児島県喜界町喜界島(キカイジマ)	454.5 mm

(13)\*9月13日～9月19日:全国(大雨、暴風、高波、突風) <台風第18号、前線>

9月9日21時にグアム島の北西で発生した台風第18号は北西に進み、13日から14日にかけて宮古島付近を北上した。その後、台風は東シナ海で進路を北東に変え、17日11時半頃に鹿児島県薩摩半島を通過し、同日12時頃、鹿児島県垂水市付近に上陸した後、同日16時半頃に高知県西部に再上陸し、更に同日22時頃に兵庫県明石市付近に再上陸した。台風はその後日本海に抜け、18日3時に佐渡島付近で温帯低気圧となった。

台風第18号及び台風から変わった温帯低気圧、日本付近に停滞した前線の影響で全国的に大雨となり、降り始めからの降水量が、宮城県宮崎市田野では618.5ミリを観測するなど、沖縄・奄美や西日本で500ミリを超える大雨となった。また、最大風速は高知県室戸市室戸岬で39.1メートル、沖縄県宮古島市下地で38.8メートルとなるなど、沖縄・奄美や西日本では風速30メートルを超える猛烈な風を観測したところがあり、沖縄地方から北海道地方に至る広い範囲で風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。沖縄・奄美から北日本太平洋側では大しけとなり、沖縄・奄美から西日本太平洋側では猛烈なしけとなったところがあった。さらに、台風の接近に伴って大気の状態が不安定となったため、17日に宮城県で竜巻と見られる突風が発生した。

この影響で、大分県をはじめ西日本を中心に河川の氾濫や浸水害、土砂災害等が発生し、死者5名の人的被害が発生した。住家の浸水や公共施設、農地等への被害があったほか、停電や電話の不通、水道などライフラインへの被害が発生した。さらに、道路の通行止めや鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。(被害の情報は、気象庁及び、平成29年9月22日の内閣府とりまとめによる)

[主な日降水量]

9月13日	沖縄県宮古島市城辺(グスクヘ)	494.0 mm	鹿児島県十島村小宝島(コガカラジマ)	116.0 mm
9月14日	沖縄県多良間村仲筋(ケカシ)	111.5 mm	鹿児島県中種子町中種子(ナカネ)	107.0 mm
9月15日	宮城県日南市油津(アブラツ)	166.0 mm	鹿児島県肝付町内之浦(ウチウラ)	131.5 mm
9月16日	宮城県宮崎市田野(タノ)	328.0 mm	和歌山県新宮市新宮(シングウ)	156.0 mm
	三重県尾鷲市尾鷲(オキセ)	125.5 mm		
9月17日	高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	457.5 mm	大分県臼杵市臼杵(ウスキ)	379.0 mm
	宮城県美郷町神門(ミカド)	372.5 mm	愛媛県西条市成就社(シヨウジユシヤ)	354.5 mm
	鳥取県鳥取市鹿野(シカ)	287.0 mm	三重県尾鷲市尾鷲(オキセ)	231.0 mm
	東京都青ヶ島村青ヶ島(アオガシマ)	228.5 mm	鹿児島県薩摩川内市中甕(ナカウシ)	226.5 mm
	徳島県上勝町福原旭(フハラアサヒ)	203.5 mm	岡山県瀬戸内市虫明(ムシアゲ)	181.5 mm
	香川県小豆島町内海(ウチミ)	175.0 mm	京都府宮津市宮津(ミヤツ)	173.5 mm
	兵庫県新温泉町温泉(オホセン)	170.0 mm	熊本県湯前町湯前横谷(ユマエヨコタニ)	167.0 mm
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウゼンダケ)	145.5 mm	島根県安来市伯太(ハクタイ)	141.5 mm
	山口県周防大島町安下庄(アゲノショウ)	140.0 mm	福島県福島市鷲倉(ウシクラ)	137.0 mm
	広島県庄原市道後山(ドウゴヤマ)	123.5 mm	滋賀県高島市朽木平良(クツキヘラ)	123.5 mm
	奈良県下北山村下北山(シモキタヤマ)	112.0 mm	和歌山県田辺市本宮(ホングウ)	107.5 mm
	茨城県北茨城市花園(ハナゾノ)	107.0 mm	神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	104.5 mm
	栃木県日光市奥日光(オクニッコウ)	101.5 mm	福岡県添田町英彦山(ヒコサン)	100.0 mm
9月18日	北海道登別市カルルス	297.5 mm	岩手県大槌町新町(シンチョウ)	199.0 mm
9月19日	北海道浦臼町浦臼(ウラウス)	77.5 mm		

[主な最大風速]

9月13日	沖縄県宮古島市下地(シモジ)	38.8 m/s	西北西	[18:43]
9月14日	沖縄県宮古島市下地(シモジ)	31.4 m/s	西南西	[00:06]
9月15日	沖縄県久米島町北原(キタハラ)	17.9 m/s	南	[00:01]

9月16日	鹿児島県奄美市笠利(カサリ)	21.3	m/s	南南西	[22:31]
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	20.5	m/s	東北東	[14:16]
	熊本県南阿蘇村阿蘇山(アソサン)	20.1	m/s	東北東	[17:21]
9月17日	高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	39.1	m/s	南南西	[18:53]
	和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	35.2	m/s	南南東	[20:39]
	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	30.6	m/s	西南西	[12:32]
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	24.7	m/s	北北東	[12:45]
	愛知県常滑市セントレア	24.5	m/s	南東	[21:47]
	三重県津市津(ツ)	22.7	m/s	東南東	[20:23]
	鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	22.3	m/s	北	[21:47]
	大阪府田尻町関空島(カンクウジマ)	22.1	m/s	南	[21:29]
	徳島県阿南市蒲生田(カモダ)	21.5	m/s	東南東	[17:46]
	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	21.4	m/s	南	[24:00]
	宮崎県宮崎市赤江(アカエ)	21.3	m/s	南東	[11:43]
	兵庫県神戸市神戸空港(コウヘ`クウコウ)	20.5	m/s	南	[21:54]
	大分県国東市武蔵(ムサシ)	20.1	m/s	北	[14:45]
9月18日	青森県八戸市八戸(ハチノハ)	28.9	m/s	南西	[12:09]
	北海道えりも町えりも岬(エリモミサキ)	26.6	m/s	西南西	[15:45]
	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	26.2	m/s	南南西	[01:57]
	新潟県佐渡市両津(リョウツ)	25.2	m/s	西	[05:00]
	山形県酒田市飛鳥(トビシマ)	24.9	m/s	西	[06:58]
	愛知県常滑市セントレア	20.6	m/s	西南西	[01:09]
	千葉県勝浦市勝浦(カツラ)	20.3	m/s	南南西	[03:41]
	秋田県にかほ市にかほ	20.3	m/s	南西	[07:06]
	静岡県南伊豆町石廊崎(イロウサキ)	20.1	m/s	南南西	[01:12]
9月19日	北海道稚内市宗谷岬(ソウヤミサキ)	23.4	m/s	西	[00:17]

#### (14)9月20日:東北地方(突風)<低気圧>

9月20日は、日本海北部を東へ進んだ低気圧の影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨となった。東北地方では大気の状態が不安定となり、秋田県横手市では日本版改良藤田スケールで JEF2 の強さのダウンバーストと見られる突風が発生し、住屋半壊4棟の被害が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

9月20日 山形県酒田市上草津(かクサツ) 50.5 mm

#### (15)9月23日:北海道地方(突風)<気圧の谷>

9月23日は、気圧の谷や本州南岸を東へ進んだ低気圧の影響で、近畿地方から北日本では雨となった。北海道地方では大気の状態が不安定となり、北海道奥尻町で突風が発生し、住家半壊1棟の被害が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

[主な日降水量]

9月23日 北海道登別市カルルス 51.5 mm

(16) \*10月20日～10月23日:全国(大雨、暴風、高波) <台風第21号、前線>

10月16日3時にカロリン諸島近海で発生した台風第21号は、21日から22日にかけて日本の南を北上し、その後、四国沖を北東に進んだ。台風は、23日3時頃に静岡県掛川市付近に上陸した後、関東地方を北東へ進み、23日9時に日本の東で温帯低気圧となった。

台風第21号及び台風から変わった温帯低気圧、日本付近に停滞した前線の影響により、西日本から東日本、東北地方の広い範囲で大雨となった。特に近畿地方や東海地方で、降り始めからの降水量が500ミリを超え、和歌山県新宮市新宮では48時間の降水量が888.5ミリを観測し、観測史上1位の値を更新するなど、記録的な大雨となった。また、最大風速は東京都三宅村三宅坪田で35.5メートル、新潟県佐渡市弾崎で31.9メートル(いずれも観測史上1位の値)となるなど、西日本や東日本、北海道地方で風速30メートル以上の猛烈な風を観測したところがあり、沖縄地方から北海道地方に至る広い範囲で風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。海は全国的に大しけとなり、近畿地方から東北地方太平洋側では猛烈なしけとなったところがあった。

この影響で、西日本から東北地方の広い範囲で河川の氾濫や浸水害、土砂災害等が発生し、死者8名の人的被害が発生した。また、公共施設や農地等への被害、停電や電話の不通、水道やガスなどライフラインへの被害が発生したほか、道路の通行止めや鉄道の運休、航空機・船舶の欠航等の交通障害が発生した。(被害の情報は、気象庁及び、平成29年11月6日の内閣府とりまとめによる)

[主な日降水量]

10月20日	鹿児島県十島村宝島(タカジマ)	68.0 mm		
10月21日	和歌山県新宮市新宮(シングウ)	356.5 mm	三重県尾鷲市尾鷲(オウセ)	208.0 mm
	鹿児島県喜界町喜界島(キカイジマ)	168.0 mm	徳島県上勝町福原旭(フクラアサヒ)	157.0 mm
	奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	116.0 mm	高知県佐川町佐川(サカウ)	103.5 mm
10月22日	三重県尾鷲市尾鷲(オウセ)	586.5 mm	和歌山県新宮市新宮(シングウ)	532.0 mm
	奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	428.0 mm	東京都大島町大島(オオシマ)	319.0 mm
	徳島県上勝町福原旭(フクラアサヒ)	317.0 mm	岐阜県関ケ原町関ケ原(セキガハラ)	305.5 mm
	大阪府熊取町熊取(クマトリ)	281.5 mm	京都府綾部市睦寄(ムツヨリ)	280.0 mm
	静岡県伊豆市天城山(アマキサン)	274.5 mm	愛知県常滑市セントレア	251.0 mm
	兵庫県南あわじ市南淡(ナンドン)	243.5 mm	福井県おおい町大飯(オオイ)	240.0 mm
	千葉県大多喜町大多喜(オオタキ)	231.5 mm	滋賀県米原市米原(マイハラ)	227.0 mm
	山梨県富士河口湖町河口湖(カワグチコ)	204.5 mm	徳島県美馬市竜王山(リュウオウサン)	216.5 mm
	愛媛県四国中央市富郷(トミサト)	201.0 mm	鳥取県鳥取市鹿野(シカノ)	196.5 mm
	岡山県鏡野町恩原(オンハラ)	192.5 mm	神奈川県相模原市相模湖(サガミコ)	187.0 mm
	石川県金沢市医王山(イオウセン)	184.0 mm	高知県土佐清水市清水(シミズ)	178.0 mm
	島根県奥出雲町横田(ヨコタ)	164.0 mm	広島県庄原市道後山(ドウゴヤマ)	151.0 mm
	埼玉県飯能市飯能(ハンノウ)	150.0 mm	茨城県鹿嶋市鹿嶋(カシマ)	149.5 mm
	長野県阿智村浪合(ナミアイ)	136.5 mm	富山県南砺市五箇山(ゴカヤマ)	131.0 mm
	福島県福島市鷲倉(ウシクラ)	122.5 mm	大分県宇佐市院内(インナイ)	119.5 mm
	鹿児島県中種子町中種子(ナカナネ)	119.5 mm	群馬県神流町神流(カンナ)	117.0 mm
	宮城県仙台市泉ヶ岳(イズミガタケ)	111.5 mm	宮城県丸森町筆甫(ヒツボ)	111.5 mm
	栃木県那須町那須高原(ナスコゲン)	110.0 mm	新潟県糸魚川市能生(ノウ)	100.5 mm
10月23日	富山県黒部市宇奈月(ウナヅキ)	229.5 mm	新潟県糸魚川市平岩(ヒライワ)	177.0 mm
	石川県白山市白山河内(ハクサンカワチ)	156.5 mm	静岡県静岡市鍵穴(カギアナ)	167.0 mm
	宮城県名取市名取(ナトリ)	156.0 mm	東京都八王子市八王子(ハチオウジ)	152.5 mm

山梨県富士河口湖町河口湖(カワグチコ)	145.5 mm	栃木県日光市土呂部(トロブ)	139.5 mm
埼玉県熊谷市熊谷(クマガヤ)	138.5 mm	滋賀県高島市朽木平良(クツキハラ)	138.0 mm
長野県小谷村小谷(オチ)	132.0 mm	福島県新地町新地(シチ)	131.5 mm
神奈川県相模原市相模原中央 (サガミハラチュウオウ)	127.0 mm	岩手県久慈市下戸鎖(シモトケリ)	118.0 mm
京都府綾部市睦寄(ムツヨリ)	114.5 mm		

[主な最大風速]

10月20日	沖縄県宮古島市下地(シモジ)	18.6 m/s	北北東	[19:58]
10月21日	鹿児島県奄美市笠利(カサリ)	22.4 m/s	北北東	[23:46]
	沖縄県宮古島市下地(シモジ)	20.8 m/s	北北西	[18:01]
10月22日	岡山県奈義町奈義(ナギ)	31.2 m/s	北北東	[23:08]
	兵庫県神戸市神戸(コウベ)	28.6 m/s	北北西	[23:37]
	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	25.7 m/s	南	[24:00]
	鹿児島県奄美市笠利(カサリ)	25.3 m/s	北北東	[02:20]
	沖縄県北大東村北大東(キダイトウ)	23.7 m/s	北北西	[07:38]
	大阪府豊中市豊中(トヨナカ)	23.4 m/s	北北西	[22:26]
	長崎県新上五島町頭ヶ島(カシガシマ)	23.0 m/s	北北東	[16:11]
	高知県南国市後免(ゴメン)	22.8 m/s	北	[22:54]
	宮城県女川町江ノ島(エノシマ)	22.7 m/s	北北東	[23:26]
	石川県輪島市輪島(ワジマ)	22.4 m/s	北北東	[23:36]
	宮崎県宮崎市赤江(アカエ)	21.8 m/s	北北東	[14:20]
	京都府舞鶴市舞鶴(マイヅル)	21.6 m/s	北	[21:46]
	福井県坂井市春江(ハルエ)	21.5 m/s	北北東	[22:18]
	静岡県南伊豆町石廊崎(イロウザキ)	21.4 m/s	東北東	[23:38]
	富山県富山市富山(トヤマ)	20.0 m/s	北北東	[21:58]
10月23日	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	35.5 m/s	南南西	[02:54]
	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	32.7 m/s	北北東	[11:25]
	新潟県佐渡市弾崎(ハジキサキ)	31.9 m/s	北北西	[06:54]
	兵庫県神戸市神戸(コウベ)	30.7 m/s	北北西	[00:57]
	岡山県奈義町奈義(ナギ)	29.3 m/s	北北東	[00:18]
	千葉県勝浦市勝浦(カツラ)	27.2 m/s	南南西	[06:17]
	石川県輪島市輪島(ワジマ)	26.1 m/s	北	[02:17]
	宮城県石巻市石巻(イシノマキ)	25.4 m/s	北東	[03:11]
	愛知県常滑市セントレア	24.4 m/s	北西	[03:18]
	大阪府豊中市豊中(トヨナカ)	23.7 m/s	北北西	[01:13]
	静岡県南伊豆町石廊崎(イロウザキ)	23.3 m/s	西南西	[04:31]
	福井県坂井市春江(ハルエ)	23.1 m/s	北	[01:47]
	京都府舞鶴市舞鶴(マイヅル)	22.3 m/s	北	[02:59]
	鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	21.7 m/s	北	[01:18]
	和歌山県かつらぎ町かつらぎ	20.9 m/s	北	[01:09]
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンセンダケ)	20.8 m/s	北	[00:47]
	高知県南国市後免(ゴメン)	20.7 m/s	北	[00:09]

(17)10月27日～10月30日:全国(大雨、暴風、高波)＜台風第22号、前線＞

10月24日21時にマリアナ諸島の西海上で発生した台風第22号は北西に進み、その後、進路を北に変えた。台風はその後、進路を北東に変え、28日14時前に沖縄県沖縄本島付近を通過した後、29日21時に千葉県南東沖で温帯低気圧となり、30日3時に消滅した。

台風第22号や本州付近に北上した前線の影響で、西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に大雨となり、九州では日降水量が300ミリを超える大雨となったところがあった。また、沖縄地方から北海道地方に至る広い範囲で風速20メートル以上の非常に強い風を観測した。沖縄・奄美から東日本太平洋側で大しけとなり、沖縄・奄美や西日本太平洋側では猛烈なしけとなったところがあった。

この影響で、西日本を中心に浸水害や土砂災害等が発生したほか、公共施設や農地等への被害が発生した。また、停電や電話の不通などライフラインへの被害が発生し、道路の通行止めや鉄道の運休、船舶の欠航等の交通障害が発生した。(被害の状況は、気象庁及び、平成29年11月6日の内閣府とりまとめによる)

[主な日降水量]

10月27日	鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ)	67.0 mm		
10月28日	宮崎県宮崎市赤江(アカエ)	391.0 mm	沖縄県那覇市安次嶺(アシミネ)	159.0 mm
	鹿児島県十島村中之島(ナカノシマ)	171.0 mm		
10月29日	静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	256.5 mm	高知県四万十市中村(ナカムラ)	253.5 mm
	東京都大島町大島(オオシマ)	230.0 mm	宮崎県日南市油津(アブラツ)	199.0 mm
	鹿児島県錦江町田代(タシロ)	184.0 mm	千葉県大多喜町大多喜(オオタキ)	163.5 mm
	山梨県山中湖村山中(ヤマナカ)	147.0 mm	神奈川県三浦市三浦(ミウラ)	134.0 mm
	和歌山県新宮市新宮(シングウ)	131.5 mm	三重県御浜町御浜(ミハマ)	131.5 mm
	愛媛県新居浜市新居浜(ニイハマ)	117.0 mm	愛知県田原市伊良湖(イラコ)	102.0 mm
	茨城県つくば市つくば	100.0 mm		
10月30日	山形県飯豊町中津川(ナカツガワ)	77.0 mm		

[主な最大風速]

10月27日	沖縄県与那国町所野(トコロ)	17.6 m/s	北	[23:21]
10月28日	鹿児島県奄美市笠利(カサリ)	32.3 m/s	南東	[19:08]
	沖縄県うるま市宮城島(ミヤギジマ)	29.0 m/s	西	[14:21]
	沖縄県南城市糸数(イトス)	29.0 m/s	東北東	[08:04]
	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンセンダケ)	27.6 m/s	東北東	[22:30]
10月29日	長崎県雲仙市雲仙岳(ウンセンダケ)	30.3 m/s	北東	[05:05]
	東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	28.8 m/s	南南西	[18:46]
	宮崎県宮崎市赤江(アカエ)	26.1 m/s	北北東	[06:36]
	鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	24.7 m/s	北	[06:39]
	鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ)	24.7 m/s	東南東	[00:56]
	和歌山県串本町潮岬(シオミサキ)	22.3 m/s	西	[17:04]
	愛知県常滑市セントレア	20.6 m/s	北西	[19:35]
	高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	20.5 m/s	東北東	[09:49]
	新潟県佐渡市相川(アイカワ)	20.0 m/s	北北西	[23:41]
10月30日	山形県酒田市飛島(ヒシマ)	24.3 m/s	西北西	[00:53]
	秋田県八峰町八森(ハチモリ)	22.8 m/s	西北西	[07:38]
	北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	22.6 m/s	西北西	[17:04]
	愛知県常滑市セントレア	20.8 m/s	北西	[07:20]

千葉県銚子市銚子(予報)

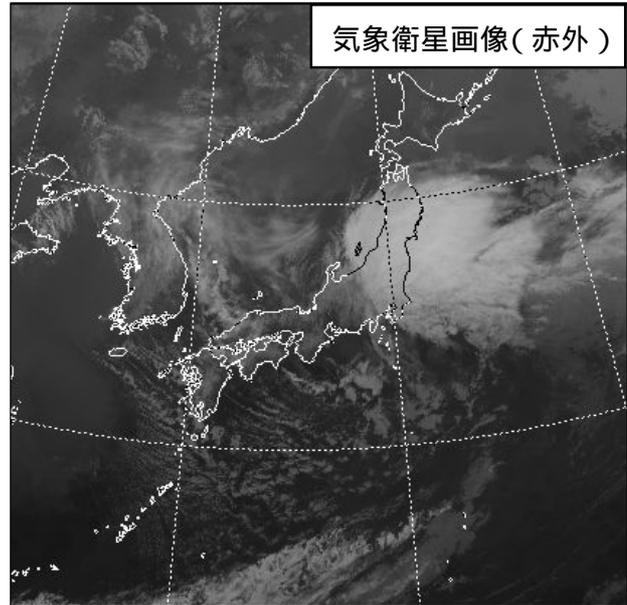
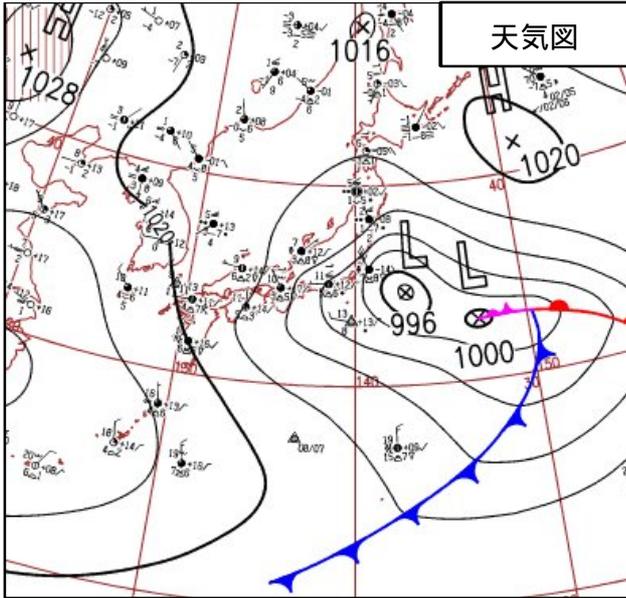
20.8 m/s

北西

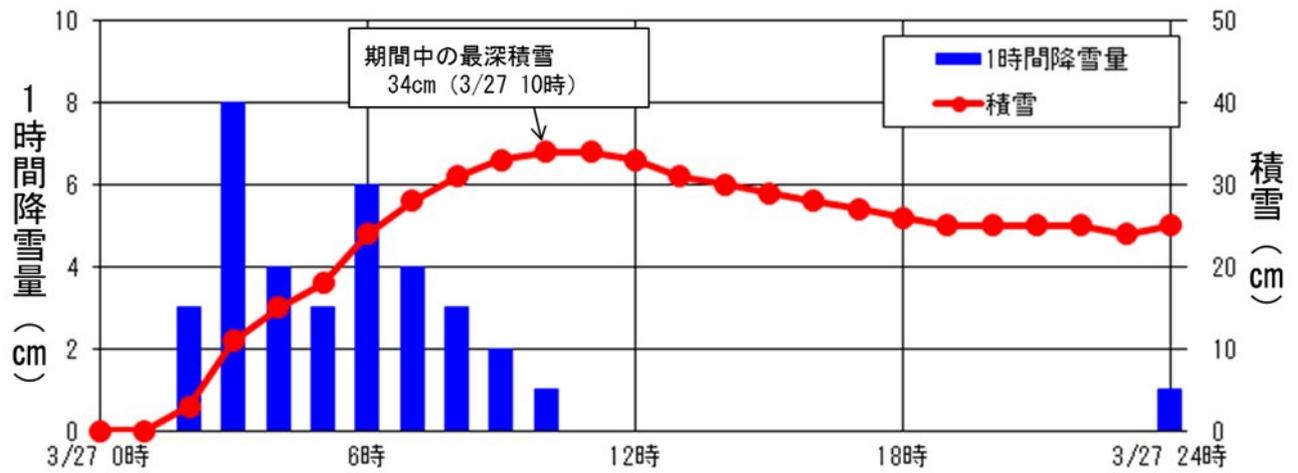
[12:34]

災害番号 ( 4 )

栃木県那須町で雪崩が発生した頃 ( 3月27日9時 ) の状況

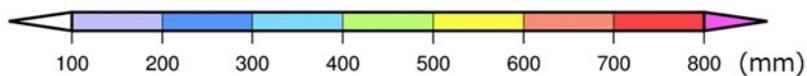
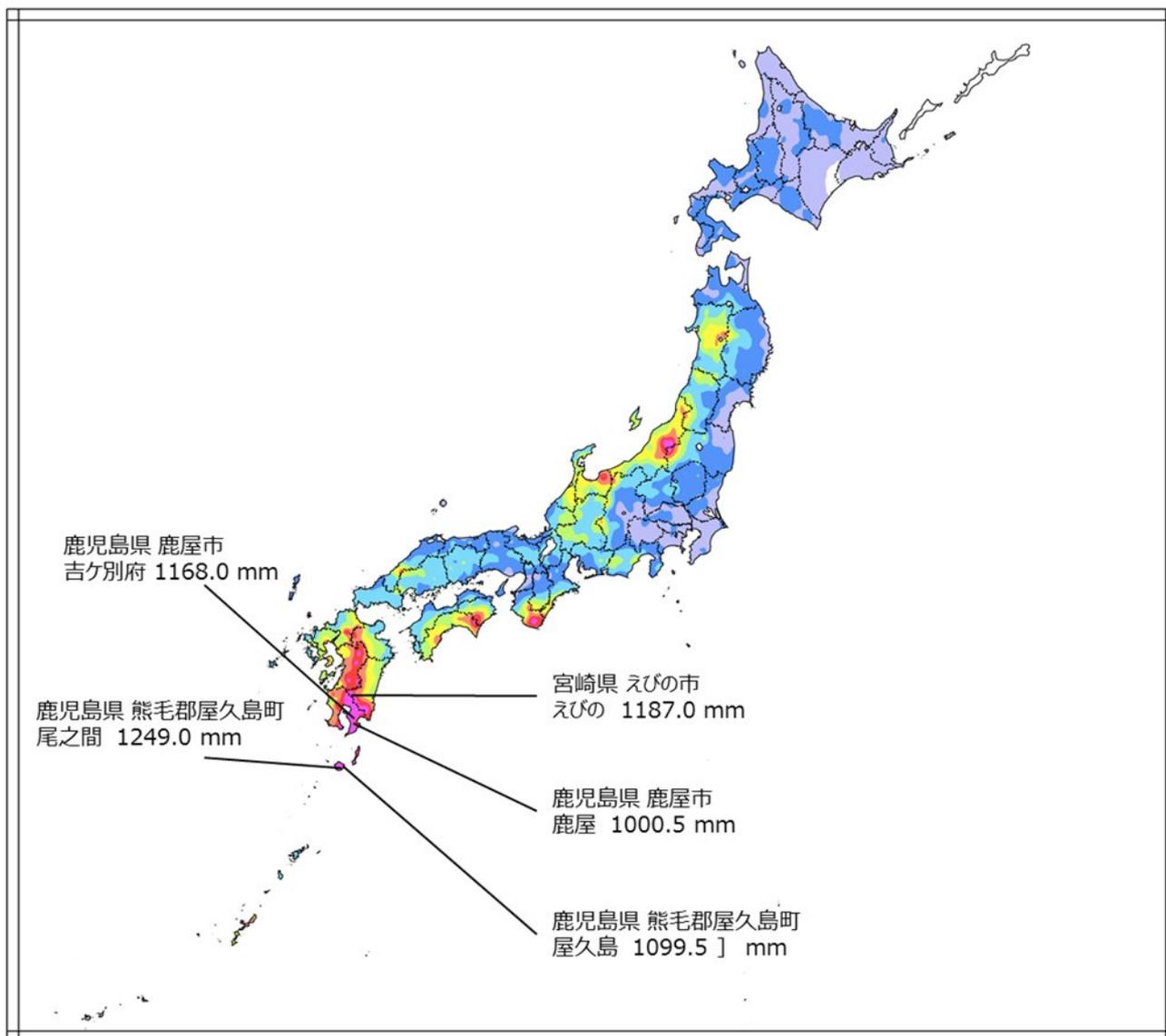


那須高原 ( 栃木県那須町 ) の降雪の状況



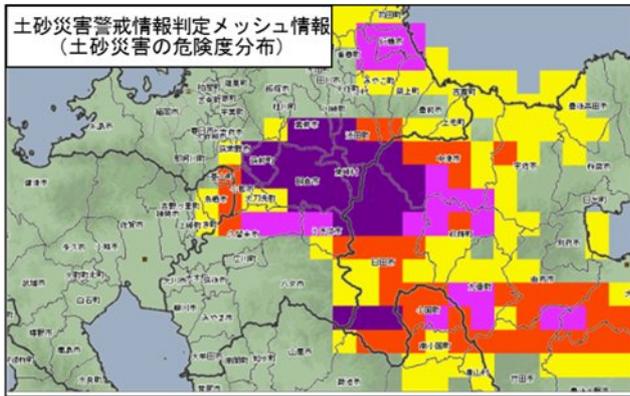
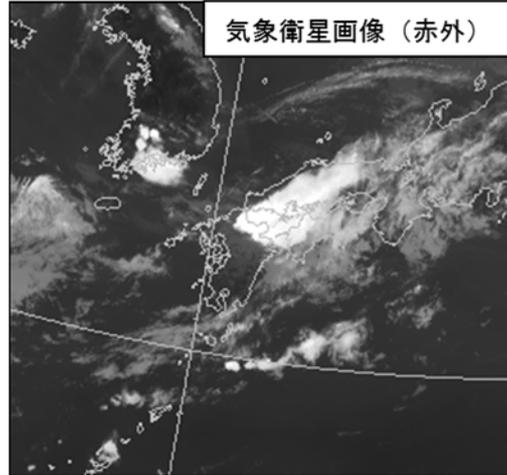
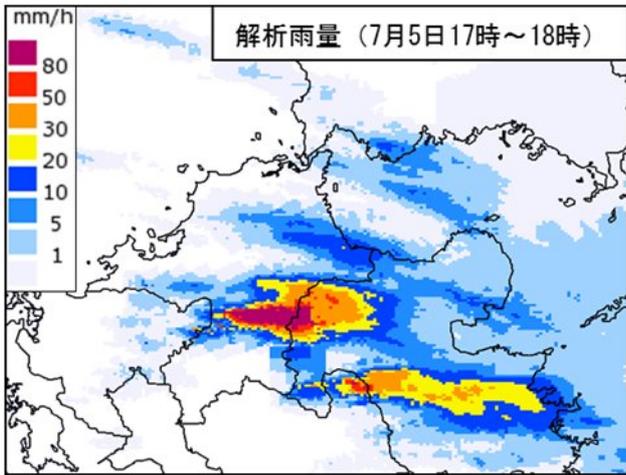
# 災害番号(7)

## 降水量分布図 [期間: 6月7日~7月27日]

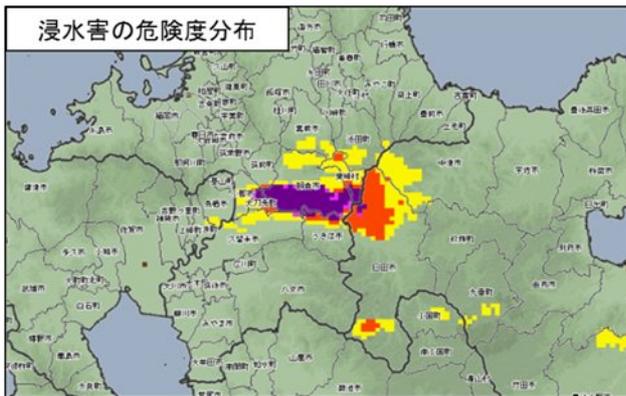


# 平成 29 年 7 月九州北部豪雨（7 月 5 日～6 日）

## 福岡県に大雨特別警報を公表した頃（7 月 5 日 18 時）の状況



土砂災害警戒判定メッシュ情報

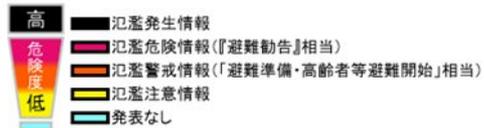


大雨警報(浸水害)の危険度分布

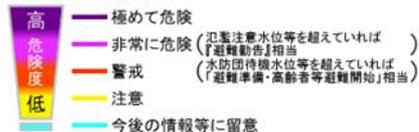


指定河川洪水予報

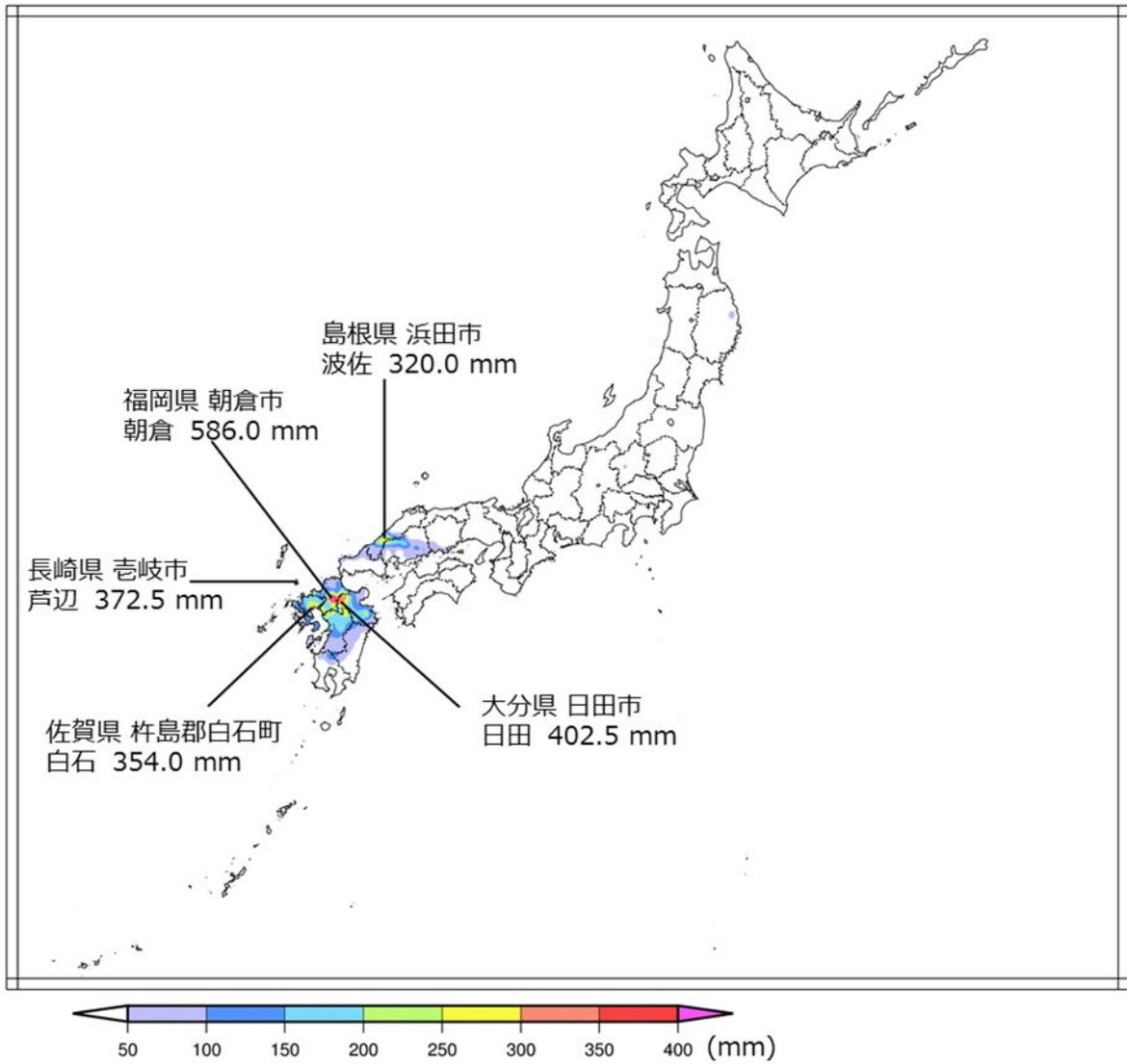
国や都道府県が管理する河川のうら、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



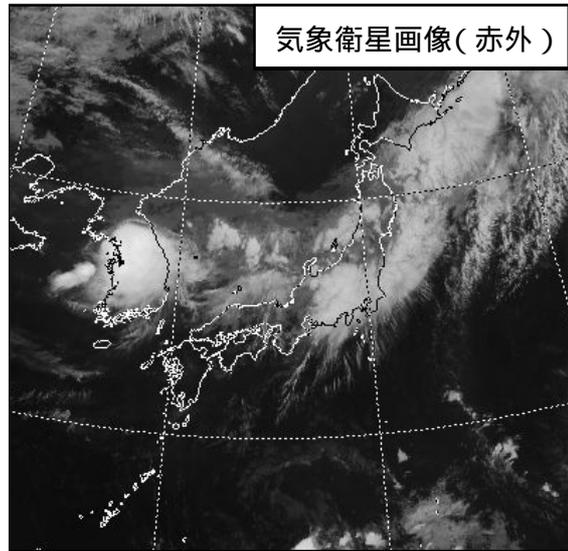
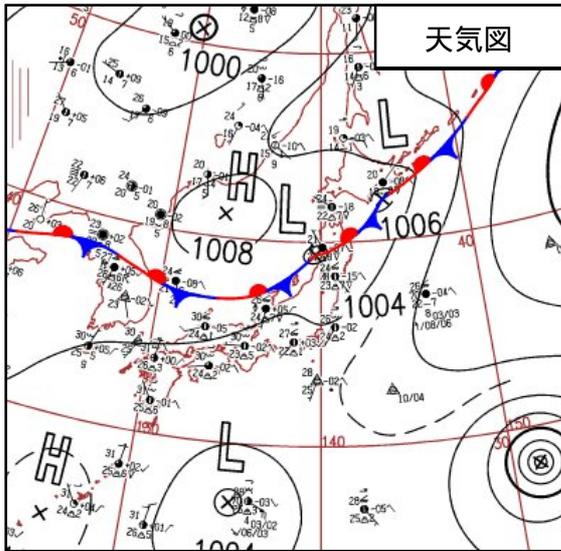
洪水警報の危険度分布



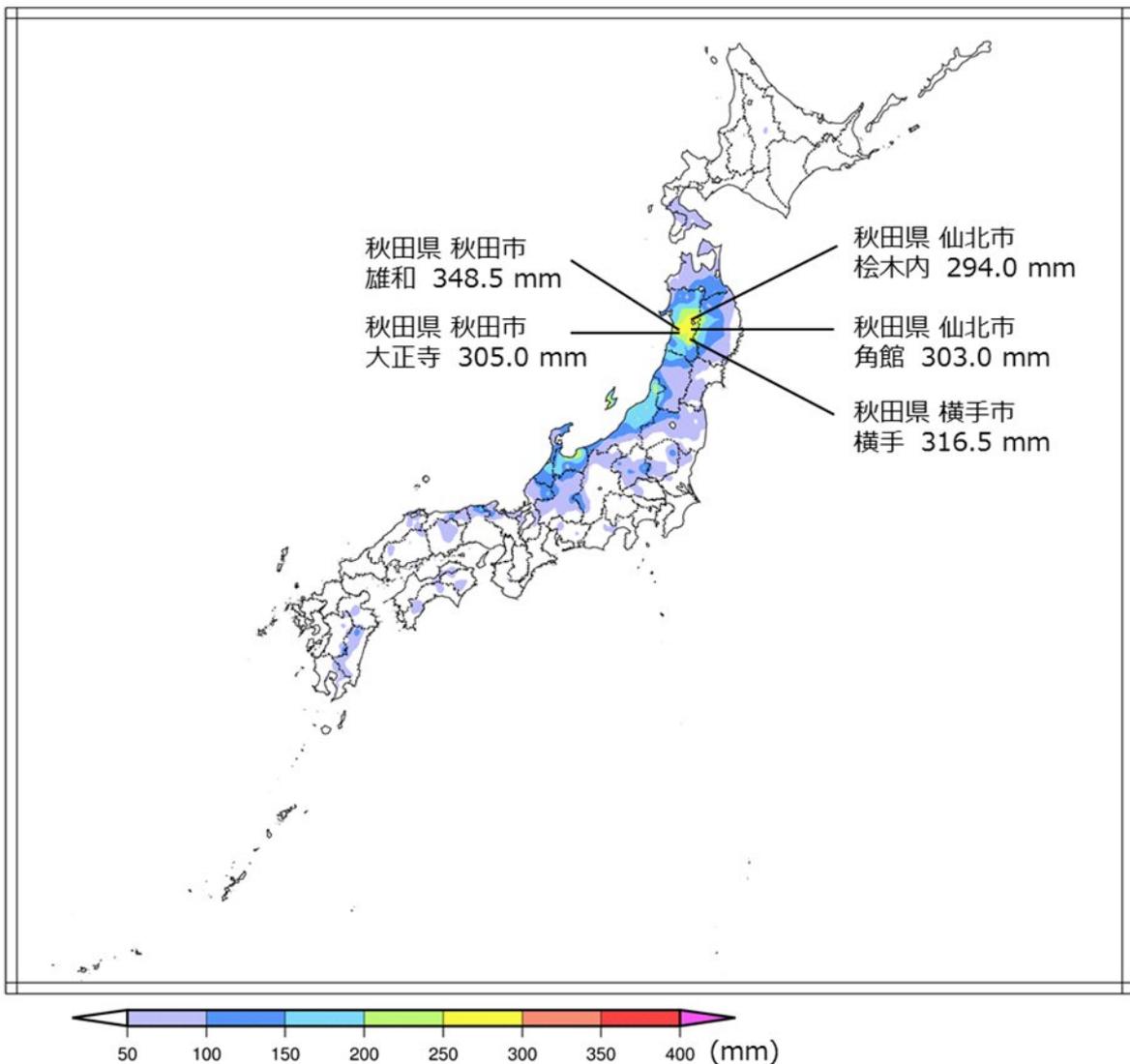
降水量分布図 [ 期間 : 7月5日~7月6日 ]



7月22日から26日にかけての東北地方を中心とする大雨  
 雄物川で氾濫が発生した頃（7月23日9時）の状況

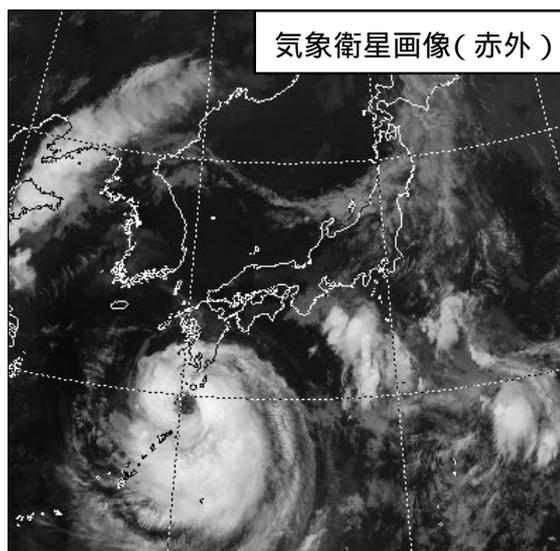
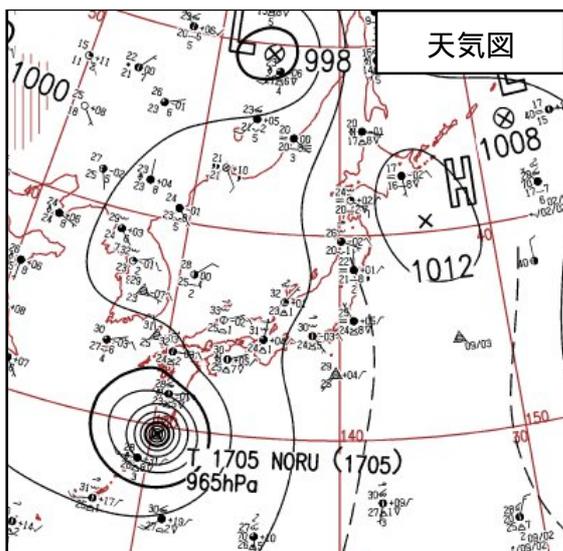


降水量分布図 [ 期間 : 7月22日 ~ 7月26日 ]

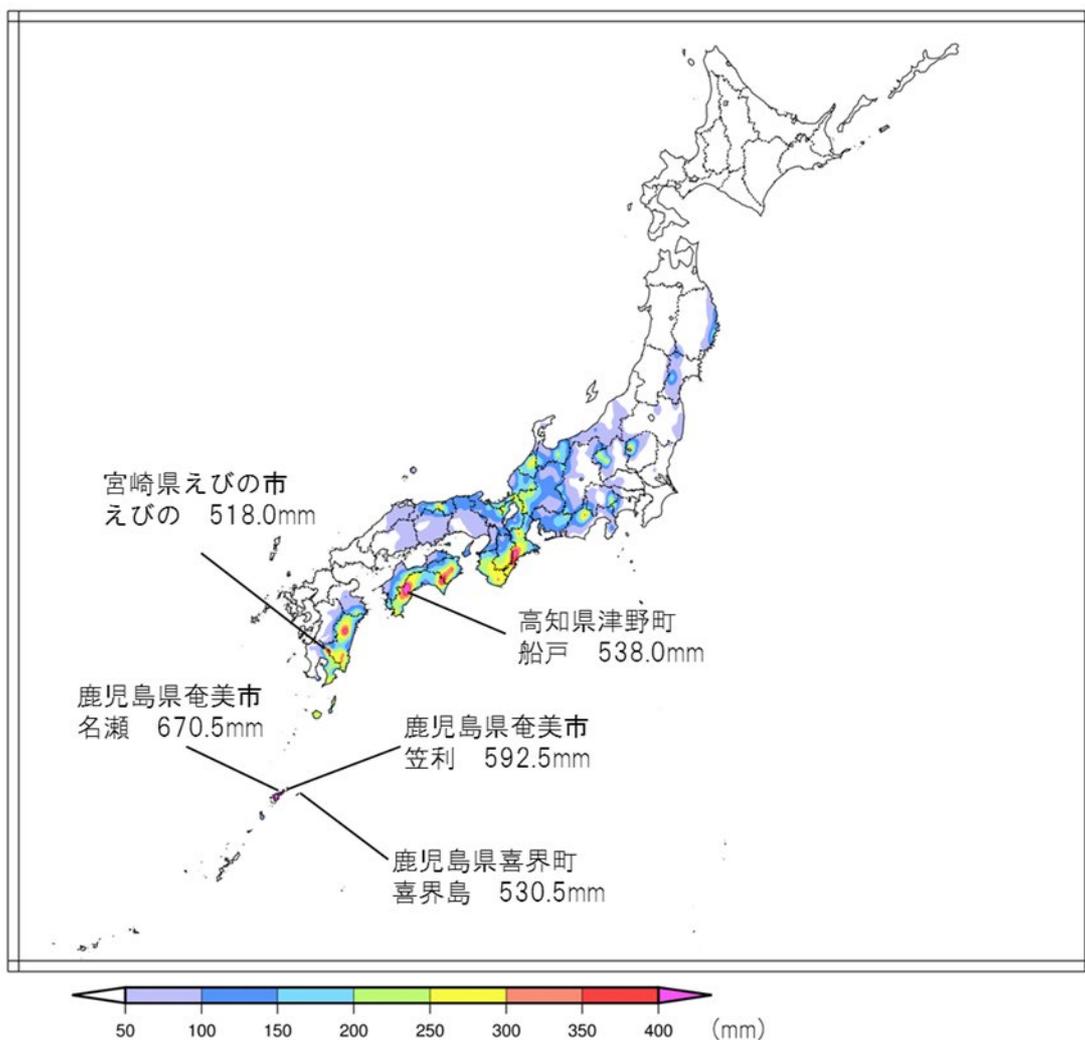


# 災害番号（ 9 ）

## 台風第5号が奄美地方に最接近した頃（8月5日9時）の状況

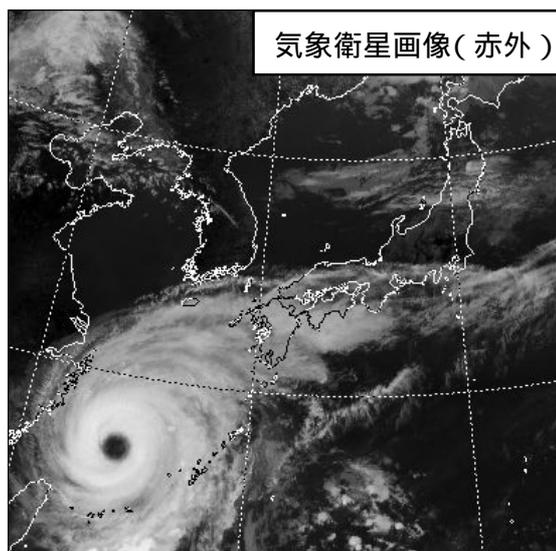
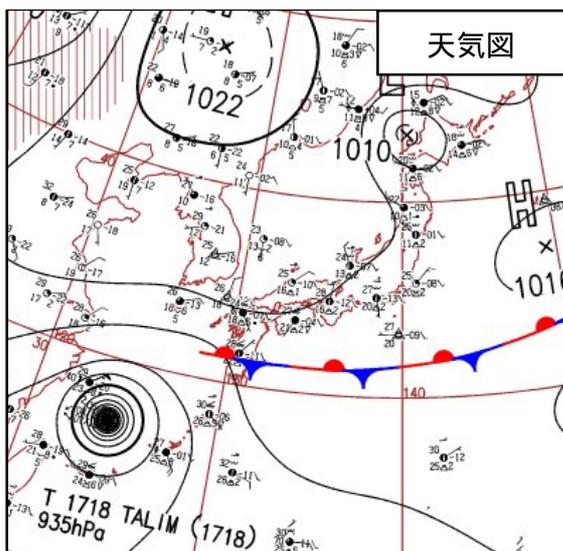


## 降水量分布図 [ 期間 : 8月3日 ~ 8月9日 ]

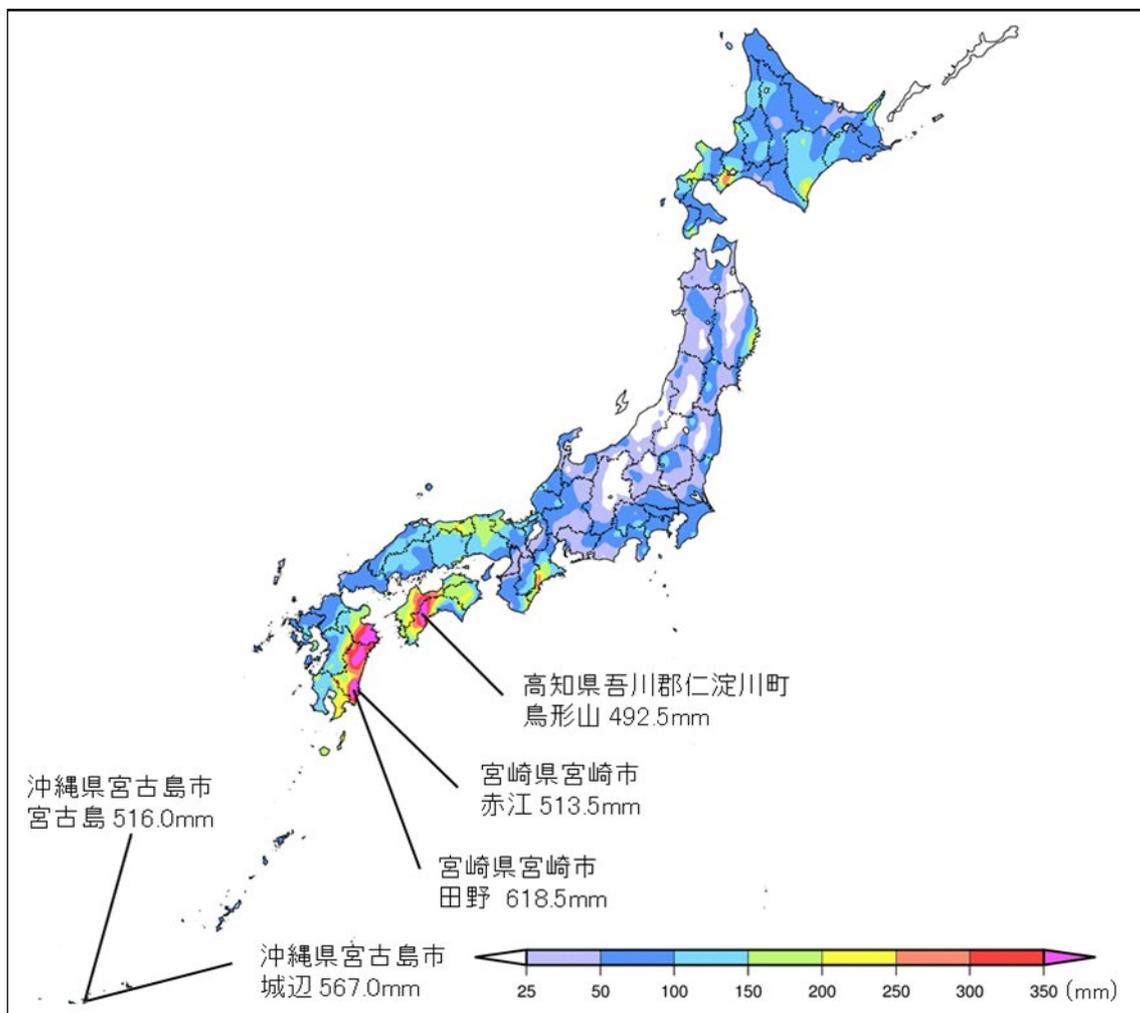


# 災害番号 ( 1 3 )

## 台風第 18 号が最も発達した頃 ( 9 月 14 日 15 時 ) の状況

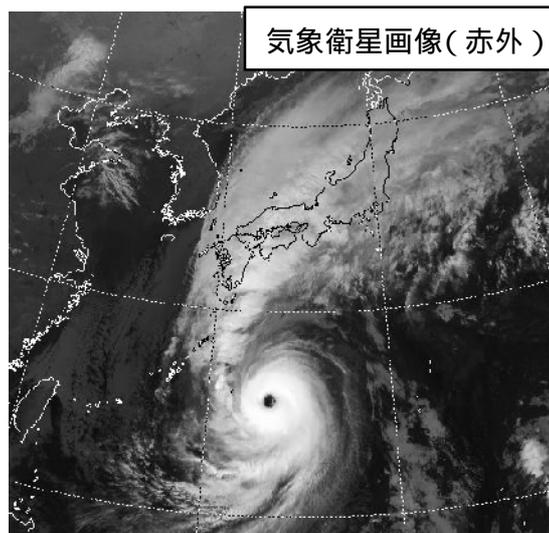
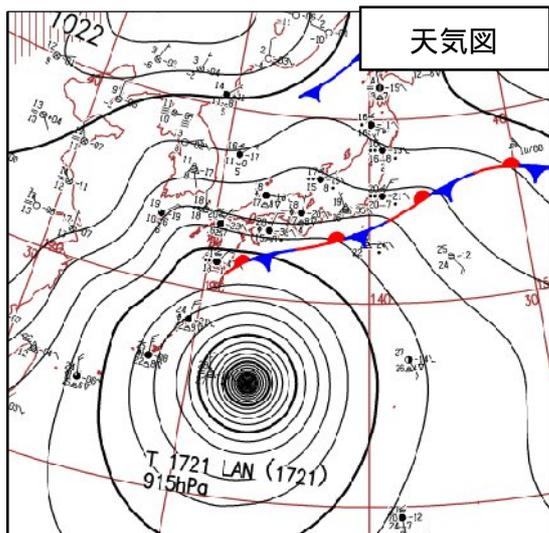


## 降水量分布図 [ 期間 : 9 月 13 日 ~ 9 月 19 日 ]

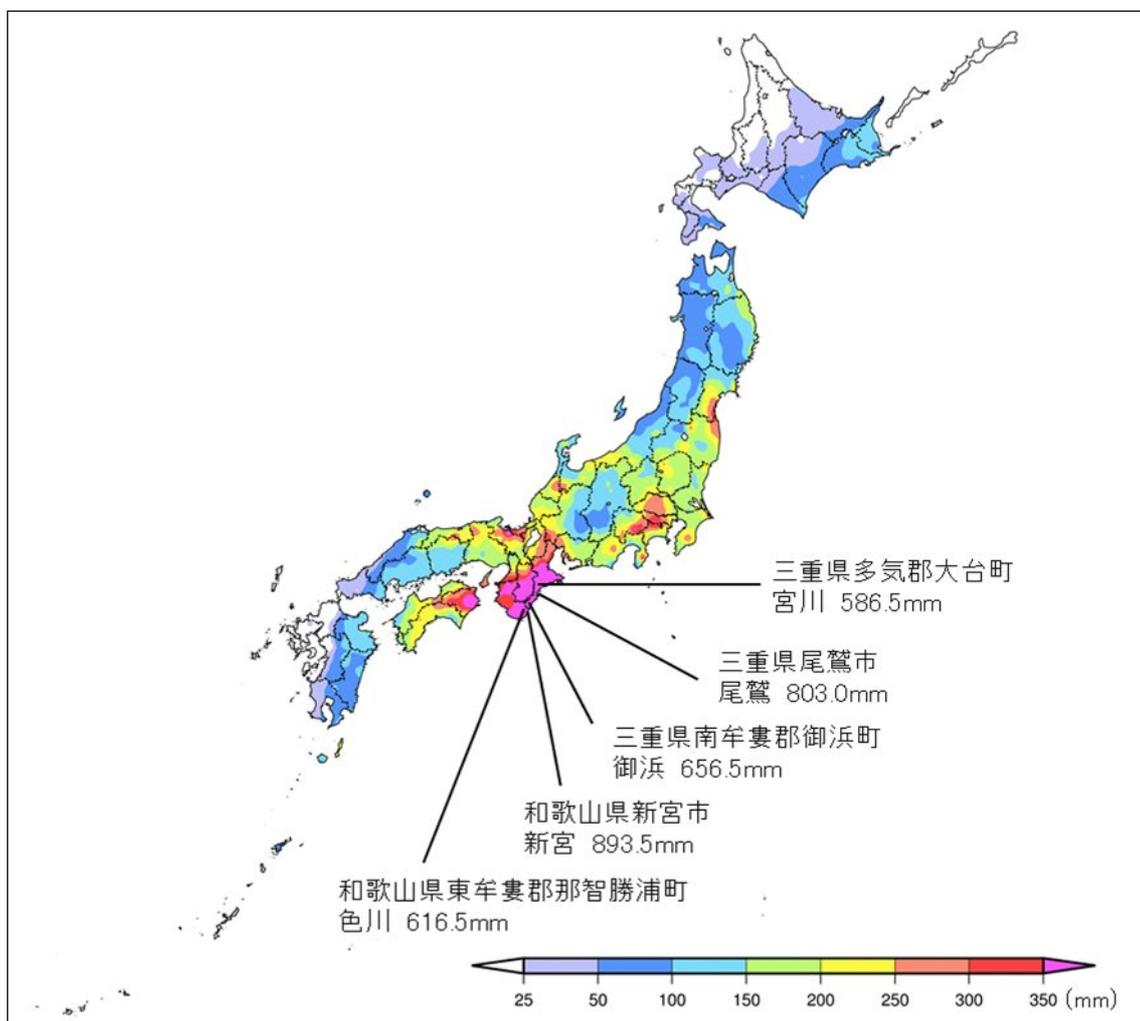


# 災害番号(16)

## 台風第21号が最も発達した頃(10月22日3時)の状況



## 降水量分布図 [ 期間 : 10月20日 ~ 10月23日 ]



資料1-2-2 平成29年に発生した主な竜巻等の突風

発生日時	現象区別	発生場所	主な被害状況	日本版改良藤田(JEF)スケール	気象状況
4月29日 14時40分頃	ガストフロント	三重県 津市	負傷者2名	不明	気圧の谷
4月29日 14時40分頃	不明	三重県 四日市市	負傷者1名	不明	気圧の谷
7月16日 18時30分頃	ガストフロント	埼玉県 上尾市、 桶川市	負傷者12名	不明	気圧の谷
8月7日 16時30分頃	竜巻	愛知県 豊橋市、 豊川市	負傷者3名、住家全 壊3棟、住家半壊6 棟	JFE2	台風
9月17日 06時15分頃	竜巻	宮崎県 日向市	負傷者1名	JEF1	台風
9月20日 15時20分頃	ダウンバースト	秋田県 横手市	住家半壊4棟	JEF2	日本海低気圧
9月23日 18時40分頃	不明	北海道 奥尻町	住家半壊1棟	JEF1	気圧の谷

被害(死者、負傷者、住家全壊、住家半壊)が発生したものを掲載しています。

詳しくは、気象庁ホームページに「竜巻等の突風データベース」を掲載していますのでご参照ください。

(<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/tornado/index.html>)

日本版改良藤田スケール(JEFスケール)

米国シカゴ大学の藤田哲也により1971年に考案された藤田スケールを、日本国内で発生する竜巻等突風の強さをよりの確に把握できるようにするため、米国の改良スケールを参考にしつつ、日本の建築物等の特徴を加味し、最新の風工学の知見を取り入れて策定した風速のスケールです。

階級	風速(m/s)の範囲	主な被害の状況(参考)
	(3秒値)	
JEF0	25-38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造の住宅において、目視でわかる程度の被害、飛散物による窓ガラスの損壊が発生する。比較的狭い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。</li> <li>・園芸施設において、被覆材(ビニルなど)がはく離する。パイプハウスの鋼管が変形したり、倒壊する。</li> <li>・物置が移動したり、横転する。</li> <li>・自動販売機が横転する。</li> <li>・コンクリートブロック塀(鉄筋なし)の一部が損壊したり、大部分が倒壊する。</li> <li>・樹木の枝(直径2cm~8cm)が折れたり、広葉樹(腐朽有り)の幹が折損する。</li> </ul>
JEF1	39-52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造の住宅において、比較的広い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。屋根の軒先又は野地板が破損したり、飛散する。</li> <li>・園芸施設において、多くの地域でプラスチックハウスの構造部材が変形したり、倒壊する。</li> <li>・軽自動車や普通自動車(コンパクトカー)が横転する。</li> <li>・通常走行中の鉄道車両が転覆する。</li> <li>・地上広告板の柱が傾斜したり、変形する。</li> <li>・道路交通標識の支柱が傾倒したり、倒壊する。</li> <li>・コンクリートブロック塀(鉄筋あり)が損壊したり、倒壊する。</li> <li>・樹木が根返りしたり、針葉樹の幹が折損する。</li> </ul>
JEF2	53-66	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造の住宅において、上部構造の変形に伴い壁が損傷(ゆがみ、ひび割れ等)する。また、小屋組の構成部材が損壊したり、飛散する。</li> <li>・鉄骨造倉庫において、屋根ふき材が浮き上がったり、飛散する。</li> <li>・普通自動車(ワンボックス)や大型自動車が横転する。</li> <li>・鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。</li> <li>・カーポートの骨組が傾斜したり、倒壊する。</li> <li>・コンクリートブロック塀(控壁のあるもの)の大部分が倒壊する。</li> <li>・広葉樹の幹が折損する。</li> <li>・墓石の棹石が転倒したり、ずれたりする。</li> </ul>
JEF3	67-80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造の住宅において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。</li> <li>・鉄骨系プレハブ住宅において、屋根の軒先又は野地板が破損したり飛散する、もしくは外壁材が変形したり、浮き上がる。</li> <li>・鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが比較的広い範囲で変形する。</li> <li>・工場や倉庫の大規模な庇において、比較的狭い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。</li> <li>・鉄骨造倉庫において、外壁材が浮き上がったり、飛散する。</li> <li>・アスファルトがはく離・飛散する。</li> </ul>
JEF4	81-94	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場や倉庫の大規模な庇において、比較的広い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。</li> </ul>
JEF5	95-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄骨系プレハブ住宅や鉄骨造の倉庫において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。</li> <li>・鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが著しく変形したり、脱落する。</li> </ul>

日本版改良藤田スケールに関するガイドライン

([http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/tornado/kentoukai/kaigi/2015/1221\\_kentoukai/guideline.pdf](http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/tornado/kentoukai/kaigi/2015/1221_kentoukai/guideline.pdf)) より

資料 1-2-3 平成 29 年（2017 年）激甚災害指定状況一覧表（地すべり、地震、火山を除く）

激甚災害(本激：地域を特定せず、災害そのものを指定)

< 内閣府作成資料等から引用 >

期間	災害原因	気象要因
6/7～7/27	豪雨、暴風雨	梅雨前線、台風第 3 号
9/15～9/19	暴風雨、豪雨	台風第 18 号等
10/21～10/23	暴風雨	台風第 21 号

局地激甚災害(局激：市町村単位で災害を指定)

期間	災害原因	気象要因	対象地区	
			都道府県	市町村
4/17～4/18	豪雨	低気圧、前線	高知県	梼原町
4/18	風浪	低気圧	北海道	奥尻町
6/7～7/27	豪雨、 暴風雨	梅雨前線、 台風第3号	広島県	北広島町
			福岡県	朝倉市、東峰村、添田町
			長崎県	壱岐市
			熊本県	南小国町、水上村
			大分県	日田市
8/4～8/8	暴風雨	台風第5号	山梨県	身延町
			兵庫県	香美町
			奈良県	野迫川村
			徳島県	神山町
			鹿児島県	大和村、宇検村、瀬戸内町、喜界町
8/11～8/19	豪雨	低気圧	長野県	小川町
			岐阜県	美濃市
			兵庫県	市川町
9/3～9/4	豪雨	大気不安定	鹿児島県	喜界町
9/15～9/19	暴風雨、 豪雨	台風第18号等	北海道	島牧村
			京都府	伊根町
			熊本県	山都町
			大分県	津久見市
			宮崎県	五ヶ瀬町
10/21～10/23	暴風雨	台風第21号	宮崎県	山元町
			長野県	売木村
			三重県	熊野市
			奈良県	五条市、山添村、下市町、黒滝村

(注)激甚災害および局地激甚災害は「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づき指定された政令により公布される。

## (参考) 激甚災害について

< 内閣府 H P、激甚災害制度の手引き(災害対策制度研究会/編著)から引用 >

### 1 激甚災害制度の概要

激甚災害制度は、「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づき、国民経済に著しい影響を及ぼす災害に対して、「地方財政の負担の緩和」、「被災者に対する特別の助成」を行うことが特に必要であると認められる場合に、その災害を激甚災害として政令で指定し、あわせてその災害に対して適用すべき特例措置を指定するものです。

その結果、一般の災害復旧事業補助・災害復旧貸付等の支援措置に加えて、激甚災害法に基づき、公共土木施設、公立学校、公営住宅、農地等の災害復旧事業等の財政援助等の様々な特例措置が適用されることとなります。

激甚災害法により、激甚災害を指定する政令の制定にあたっては、あらかじめ中央防災会議の意見を聴くこととされており、中央防災会議では、その指定基準として、現在、激甚災害指定基準(本激)と局地激甚災害指定基準(局激)の2つを決定しています。

### 2 局地激甚災害について

激甚災害指定基準(本激)では、全国を単位として積み上げられた被害額を基準としているため、激甚災害制度の創設(昭和37年)当初は、ある特定地域に激甚な被害を及ぼした災害であっても、全国レベルで見ればさほどの被害とはならず、指定基準を越えられない(激甚災害として指定されない)という状況が生じていました。

そこで、市町村単位の被害額を基準とする局地激甚災害指定基準を昭和43年に創設し、限られた地域内で多大な被害を被った地域に対して各種の特例措置が適用されることとしました。

### 3 本激と局激の違い

激甚災害指定基準による指定、いわゆる「本激」が地域を特定せず、災害そのものを指定するのに対し、局地激甚災害指定基準による指定、いわゆる「局激」は市町村単位で災害を指定します。

ただし、激甚災害に指定されても、被害を受けた地方公共団体等のすべてが特例措置を受けられるわけではなく、被害の大きさが一定規模以上の地方公共団体等に限って特例措置が適用されます。

## 2 平成 29 年(2017 年)台風の概要

### 2-1 平成 29 年(2017 年)に発生した台風

台風の発生数は平年並の 27 個(平年値 25.6 個)であった。日本への接近数は平年より少ない 8 個(平年値 11.4 個)であり、日本への上陸数は平年より多い 4 個(平年値 2.7 個)であった。

表 2.1 平成 29 年(2017 年)の台風発生数、日本への上陸数<sup>\*1</sup>、日本への接近数<sup>\*2</sup>と平年値及び平成 28 年(2016 年)との比較

項目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
		平年値	発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	
上陸数						0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
接近数					0.2	0.6	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.6	0.1	11.4
平成 28 年 (2016 年)	発生数							4	7	7	4	3	1	26
	上陸数								4	2				6
	接近数							1	5	4	1			11
平成 29 年 (2017 年)	発生数				1		1	8	5	4	3	3	2	27
	上陸数							1	1	1	1			4
	接近数							4	2	2	2			8

(注)・平年値は、昭和 56 年(1981 年)～平成 22 年(2010 年)の 30 年平均。

- ・日本への接近は 2 か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

上陸<sup>\*1</sup> 台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合をいう。小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は通過とする。

接近<sup>\*2</sup> 台風が中心が、国内のいずれかの気象官署等から 300km 以内に入った場合をいう。

資料2-1-1 台風発生数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	1	1	2	1	1	3	3	2	4	1	2	21 (-)
52 27	0	0	0	0	0	3	3	5	3	6	3	4	27 (0)
53 28	0	1	0	0	1	2	1	6	3	5	3	1	23 (-)
54 29	0	0	1	0	1	0	1	5	5	4	3	1	21 (-)
55 30	1	1	1	1	0	2	7	6	4	3	1	1	28 (0)
56 31	0	0	1	2	0	1	2	5	6	1	4	1	23 (-)
57 32	2	0	0	1	1	1	1	4	5	4	3	0	22 (-)
58 33	1	0	0	1	1	4	7	5	5	3	2	2	31 (+)
59 34	0	1	1	1	0	0	2	5	5	4	2	2	23 (-)
60 35	0	0	0	1	1	3	3	10	3	4	1	1	27 (0)
1961 36	1	0	1	0	2	3	4	6	6	4	1	1	29 (+)
62 37	0	1	0	1	2	0	5	8	4	5	3	1	30 (+)
63 38	0	0	0	1	0	4	4	3	5	4	0	3	24 (0)
64 39	0	0	0	0	2	2	7	5	6	5	6	1	34 (+)
65 40	2	1	1	1	2	3	5	5	8	2	2	0	32 (+)
66 41	0	0	0	1	2	1	4	10	9	4	3	1	35 (+)
67 42	0	1	2	1	1	1	7	9	9	4	3	1	39 (+)
68 43	0	0	0	1	1	1	3	8	3	5	5	0	27 (0)
69 44	1	0	1	1	0	0	3	4	3	3	2	1	19 (-)
70 45	0	1	0	0	0	2	3	6	5	5	4	0	26 (0)
1971 46	1	0	1	3	4	2	8	5	6	4	2	0	36 (+)
72 47	1	0	0	0	1	3	6	5	5	5	3	2	31 (+)
73 48	0	0	0	0	0	0	7	5	2	4	3	0	21 (-)
74 49	1	0	1	1	1	4	4	5	5	4	4	2	32 (+)
75 50	1	0	0	0	0	0	2	4	5	5	3	1	21 (-)
76 51	1	1	0	2	2	2	4	4	5	1	1	2	25 (0)
77 52	0	0	1	0	0	1	3	3	5	5	1	2	21 (-)
78 53	1	0	0	1	0	3	4	8	5	4	4	0	30 (+)
79 54	1	0	1	1	2	0	4	2	6	3	2	2	24 (0)
80 55	0	0	0	1	4	1	4	2	6	4	1	1	24 (0)
1981 56	0	0	1	2	0	3	4	8	4	2	3	2	29 (+)
82 57	0	0	3	0	1	3	3	5	5	3	1	1	25 (0)
83 58	0	0	0	0	0	1	3	5	2	5	5	2	23 (-)
84 59	0	0	0	0	0	2	5	5	4	7	3	1	27 (0)
85 60	2	0	0	0	1	3	1	8	5	4	1	2	27 (0)
86 61	0	1	0	1	2	2	3	5	3	5	4	3	29 (+)
87 62	1	0	0	1	0	2	4	4	6	2	2	1	23 (-)
88 63	1	0	0	0	1	3	2	8	8	5	2	1	31 (+)
89 H.1	1	0	0	1	2	2	7	5	6	4	3	1	32 (+)
90 2	1	0	0	1	1	3	4	6	4	4	4	1	29 (+)
1991 3	0	0	2	1	1	1	4	5	6	3	6	0	29 (+)
92 4	1	1	0	0	0	2	4	8	5	7	3	0	31 (+)
93 5	0	0	1	0	0	1	4	7	5	5	2	3	28 (0)
94 6	0	0	0	1	1	2	7	9	8	6	0	2	36 (+)
95 7	0	0	0	1	0	1	2	6	5	6	1	1	23 (-)
96 8	0	1	0	1	2	0	5	6	6	2	2	1	26 (0)
97 9	0	0	0	2	3	3	4	6	4	3	2	1	28 (0)
98 10	0	0	0	0	0	0	1	3	5	2	3	2	16 (-)
99 11	0	0	0	2	0	1	4	6	6	2	1	0	22 (-)
2000 12	0	0	0	0	2	0	5	6	5	2	2	1	23 (-)
01 13	0	0	0	0	1	2	5	6	5	3	1	3	26 (0)
02 14	1	1	0	0	1	3	5	6	4	2	2	1	26 (0)
03 15	1	0	0	1	2	2	2	5	3	3	2	0	21 (-)
04 16	0	0	0	1	2	5	2	8	3	3	3	2	29 (+)
05 17	1	0	1	1	1	0	5	5	5	2	2	0	23 (-)
06 18	0	0	0	0	1	1	3	7	3	4	2	2	23 (-)
07 19	0	0	0	1	1	0	3	4	5	6	4	0	24 (0)
08 20	0	0	0	1	4	1	2	4	4	2	3	1	22 (-)
09 21	0	0	0	0	2	2	2	5	7	3	1	0	22 (-)
2010 22	0	0	1	0	0	0	2	5	4	2	0	0	14 (-)
11 23	0	0	0	0	2	3	4	3	7	1	0	1	21 (-)
12 24	0	0	1	0	1	4	4	5	3	5	1	1	25 (0)
13 25	1	1	0	0	0	4	3	6	7	7	2	0	31 (+)
14 26	2	1	0	2	0	2	5	1	5	2	1	2	23 (-)
15 27	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27 (0)
16 28	0	0	0	0	0	0	4	7	7	4	3	1	26 (0)
17 29	0	0	0	1	0	1	8	5	4	3	3	2	27 (0)
平年値 1981-2010	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

台風の発生月：熱帯低気圧が台風(風速およそ17m/s以上)となった月とする。

合計の(-)は24個未満、(0)は24個以上29個未満、(+)は29個以上を示す。

資料2-1-2 日本への台風上陸数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
52 27	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
53 28	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
54 29	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5
55 30	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4
56 31	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
57 32	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
58 33	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
59 34	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
60 35	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
1961 36	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
62 37	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5
63 38	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
64 39	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
65 40	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	5
66 41	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5
67 42	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
68 43	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
69 44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
70 45	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
1971 46	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
72 47	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
73 48	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
74 49	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
75 50	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
76 51	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
77 52	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
78 53	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
79 54	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
80 55	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
1981 56	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
82 57	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
83 58	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
84 59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85 60	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
86 61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
87 62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
88 63	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	5
90 2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	6
1991 3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
92 4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
93 5	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	6
94 6	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
95 7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
96 8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
97 9	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	4
98 10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
99 11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
2000 12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
01 13	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
02 14	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
03 15	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
04 16	0	0	0	0	0	2	1	3	2	2	0	0	10
05 17	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
06 18	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
07 19	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
08 20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
09 21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
11 23	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
12 24	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
13 25	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
14 26	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	4
15 27	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
16 28	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	6
17 29	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
平年値	-	-	-	-	0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0	-	2.7
1981-2010													

日本への台風上陸：台風の中心が北海道・本州・四国・九州の海岸線に達した場合をいう。  
 小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は通過とする。

資料2-1-3 日本への台風接近数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	0	0	8
52 27	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2	3	0	12
53 28	0	0	0	0	0	1	2	4	1	3	0	0	10
54 29	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	1	0	10
55 30	0	0	0	1	0	0	7	3	1	4	0	1	16
56 31	0	0	0	1	0	0	1	3	6	0	0	0	10
57 32	0	0	0	0	0	1	0	3	3	2	2	0	10
58 33	0	0	0	0	0	4	5	2	3	0	1	0	15
59 34	0	0	0	1	0	0	1	3	3	3	2	0	13
60 35	0	0	0	0	0	3	2	11	1	2	0	1	19
1961 36	0	0	0	0	1	2	2	4	4	3	0	0	15
62 37	0	0	0	0	1	0	4	6	2	1	1	0	14
63 38	0	0	0	0	0	3	2	2	2	3	0	0	12
64 39	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	0	0	8
65 40	0	0	0	0	1	3	1	4	4	1	1	0	15
66 41	0	0	0	0	2	2	1	7	8	1	0	0	19
67 42	0	0	0	1	0	0	3	4	3	2	1	0	13
68 43	0	0	0	0	0	1	2	2	4	1	0	0	10
69 44	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	2	0	8
70 45	0	0	0	0	0	0	2	4	3	0	0	0	9
1971 46	0	0	0	1	1	0	2	3	5	1	1	0	13
72 47	0	0	0	0	0	0	3	3	2	3	0	0	11
73 48	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
74 49	0	0	0	0	0	1	3	4	3	0	0	0	10
75 50	0	0	0	0	0	0	1	4	1	2	2	0	9
76 51	0	0	0	1	2	2	5	2	1	0	2	0	13
77 52	0	0	0	0	0	0	1	4	2	0	0	0	6
78 53	0	0	0	0	0	2	3	6	3	1	1	0	14
79 54	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	0	0	7
80 55	0	0	0	0	1	0	0	2	3	2	1	0	9
1981 56	0	0	0	0	0	2	3	3	2	2	1	0	11
82 57	0	0	0	0	1	2	3	4	3	1	0	0	13
83 58	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	0	7
84 59	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	1	9
85 60	0	0	0	0	1	1	2	7	2	2	0	0	12
86 61	0	0	0	0	1	1	2	3	3	1	1	0	12
87 62	0	0	0	0	0	1	5	2	1	2	0	0	10
88 63	0	0	0	0	0	2	1	4	4	2	0	0	13
89 H.1	0	0	0	0	0	1	3	4	3	1	0	0	11
90 2	0	0	0	0	1	1	1	5	3	1	1	1	14
1991 3	0	0	0	0	1	0	1	4	5	2	1	0	14
92 4	0	0	0	0	0	1	1	5	3	2	3	0	14
93 5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	0	0	9
94 6	0	0	0	0	1	0	4	6	3	2	2	0	15
95 7	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
96 8	0	0	0	0	2	0	3	2	3	1	1	0	10
97 9	0	0	0	1	1	3	1	3	3	2	1	0	15
98 10	0	0	0	0	0	0	0	2	5	1	0	0	8
99 11	0	0	0	1	0	0	3	4	3	0	1	0	11
2000 12	0	0	0	0	2	0	4	4	3	1	1	0	15
01 13	0	0	0	0	1	0	2	2	4	2	0	0	11
02 14	0	0	0	0	0	1	6	2	3	1	1	0	13
03 15	0	0	0	1	1	2	0	2	3	1	1	1	12
04 16	0	0	0	1	1	3	3	6	3	3	0	1	19
05 17	0	0	0	1	0	1	2	3	4	2	0	0	12
06 18	0	0	0	0	0	0	3	4	2	1	0	0	10
07 19	0	0	0	0	1	0	1	4	3	3	0	0	12
08 20	0	0	0	0	3	1	2	1	2	1	0	0	9
09 21	0	0	0	0	1	0	0	3	3	2	0	0	8
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	7
11 23	0	0	0	0	2	1	1	2	4	0	0	0	9
12 24	0	0	0	0	1	3	3	6	3	4	0	0	17
13 25	0	0	0	0	0	2	1	2	4	6	0	0	14
14 26	0	0	0	0	0	2	3	2	3	2	1	0	12
15 27	0	0	0	0	2	0	3	4	4	0	1	0	14
16 28	0	0	0	0	0	0	1	5	4	1	0	0	11
17 29	0	0	0	0	0	0	4	2	2	2	0	0	8
平年値	-	-	-	0.2	0.6	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.6	0.1	11.4
1981-2010													

日本への台風接近：台風の中心が、国内のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合をいう。  
 接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-4 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	4
52 27	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	0	7
53 28	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
54 29	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	6
55 30	0	0	0	0	0	0	5	1	1	4	0	0	10
56 31	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	5
57 32	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	5
58 33	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	5
59 34	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	6
60 35	0	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	0	7
1961 36	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1	0	0	7
62 37	0	0	0	0	0	0	1	6	1	0	0	0	8
63 38	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	6
64 39	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
65 40	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0	1	0	9
66 41	0	0	0	0	1	2	0	2	4	1	0	0	9
67 42	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
68 43	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	5
69 44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
70 45	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5
1971 46	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	6
72 47	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	6
73 48	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
74 49	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	4
75 50	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
76 51	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4
77 52	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
78 53	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	7
79 54	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	5
80 55	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
1981 56	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	6
82 57	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	0	0	6
83 58	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
84 59	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
85 60	0	0	0	0	0	1	1	4	2	1	0	0	6
86 61	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
87 62	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	5
88 63	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	6
89 H.1	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	0	7
90 2	0	0	0	0	0	0	1	3	2	1	1	0	8
1991 3	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	0	9
92 4	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0	0	5
93 5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	0	0	8
94 6	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	6
95 7	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
96 8	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
97 9	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	6
98 10	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	6
99 11	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
2000 12	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	5
01 13	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4
02 14	0	0	0	0	0	1	4	2	0	1	0	0	8
03 15	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	6
04 16	0	0	0	0	1	2	1	4	2	3	0	0	12
05 17	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
06 18	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
07 19	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	5
08 20	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
09 21	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	4
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
11 23	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	5
12 24	0	0	0	0	0	1	0	3	2	1	0	0	6
13 25	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3	0	0	6
14 26	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	5
15 27	0	0	0	0	1	0	2	1	2	0	0	0	6
16 28	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	0	0	9
17 29	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	5
平年値	-	-	-	0.0	0.1	0.4	1.0	1.7	1.7	0.7	0.0	-	5.5
1981-2010													

北海道・本州・四国・九州への台風接近：台風の中心が、北海道・本州・四国・九州のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合をいう。接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-5 平成29年(2017年)に発生した台風の一覧表

台風番号	台風名	熱帯低気圧の発生			台風の発生			台風期間中の最低(大)値						熱帯低気圧または温帯低気圧となった日時と位置				消滅前の最後に確認された日時と位置、又は域外に出た最初の日時																
		月日時		北緯	東経	月日時		北緯	東経	海面気圧		風速		強風半径		月日時		北緯	東経	種類	月日時		北緯	東経										
		月	日	時			月	日	時			月	日	時	hPa	月	日	時	m/s	月	日	時	km	月	日	時				月	日	時		
1	MUIFA	4	23	03	8.6	143.9	4	26	03	13.1	136.0	4	27	09	1002	4	27	09	18	4	27	09	E:220 W:170	4	27	15	15.9	134.7	TD	4	29	15	22.7	141.8
2	MERBOK	6	10	09	13.0	119.0	6	11	09	16.0	116.8	6	12	21	985	6	12	21	30	6	13	03	E:190 W:150	6	13	09	24.0	115.0	TD	6	13	15	25.5	115.7
3	NANMADOL	7	1	15	15.0	132.2	7	2	09	20.7	127.1	7	4	08	985	7	4	08	30	7	5	03	S:220 N:110	7	5	09	36.1	146.0	L	7	8	21		域外
4	TALAS	7	14	09	16.0	114.1	7	15	15	16.9	111.7	7	17	03	985	7	17	03	25	7	16	21	N:390 S:330	7	17	21	19.2	100.9	TD	7	18	03	19.5	100.4
5	NORU	7	19	15	26.1	162.1	7	20	21	27.4	159.0	8	1	09	935	8	1	09	50	7	27	15	NE:390 SW:280	8	8	21	38.7	138.5	L	8	9	15	39.2	139.3
6	KULAP	7	20	09	23.0	178.1	7	21	15	26.4	177.3	7	25	21	1002	7	24	21	20	7	24	09	N:330 S:220	7	26	03	32.0	152.3	TD	7	28	09	27.1	149.2
7	ROKE	7	21	15	18.6	124.3	7	22	15	21.2	119.0	7	23	09	1002	7	23	09	18	7	23	03	90	7	23	15	22.8	113.2	TD	7	23	21	22.9	110.5
8	SONCA	7	21	09	17.5	114.7	7	23	09	17.6	111.6	7	25	15	994	7	25	15	18	7	25	15	60	7	25	21	16.8	106.5	TD	7	29	21	18.0	103.6
9	NESAT	7	25	15	12.8	129.2	7	26	03	14.5	128.3	7	29	21	960	7	29	21	40	7	29	21	SE:390 NW:280	7	30	21	25.6	117.0	TD	7	31	03	25.0	116.0
10	HAITANG	7	27	21	19.2	117.8	7	29	03	18.0	115.8	7	30	15	985	7	30	15	23	7	31	09	S:440 N:220	7	31	15	27.2	117.6	TD	8	3	03	34.1	116.2
11	NALGAE	7	31	15	26.3	158.3	8	2	09	25.6	165.4	8	5	21	990	8	5	21	23	8	5	21	NE:440 SW:280	8	6	03	38.1	160.2	L	8	9	15	45.2	151.3
12	BANYAN	8	11	03	16.0	170.9	8	11	21	17.3	168.0	8	13	21	955	8	13	21	40	8	17	09	SE:220 NW:170	8	17	15	43.0	176.0	L	8	18	09		域外
13	HATO	8	19	21	19.1	130.1	8	20	21	19.7	126.9	8	23	15	965	8	23	15	40	8	23	09	S:330 N:220	8	24	21	23.8	104.5	TD	8	25	09		域外
14	PAKHAR	8	24	09	14.9	128.9	8	25	03	15.1	124.9	8	27	09	985	8	27	09	30	8	26	21	560	8	28	03	24.7	108.8	TD	8	28	09	24.1	108.0
15	SANVU	8	27	03	17.8	147.0	8	28	15	19.7	147.3	9	1	21	955	9	1	21	40	9	3	15	750	9	3	21	45.2	154.6	L	9	6	21		域外
16	MAWAR	8	30	15	18.9	122.0	9	1	03	20.0	118.9	9	3	15	990	9	3	15	25	9	3	15	NE:220 SW:110	9	4	09	23.5	114.6	TD	9	4	15	23.5	113.2
17	GUHOL	9	3	21	16.1	131.8	9	6	03	20.3	121.1	9	6	15	1000	9	6	15	18	9	6	15	170	9	7	03	22.2	119.1	TD	9	7	21	24.7	119.4
18	TALIM	9	8	21	14.3	147.1	9	9	21	15.4	142.9	9	15	03	935	9	15	03	50	9	17	09	NE:560 SW:440	9	18	03	37.8	138.7	L	9	23	03	59.5	149.8
19	DOKSURI	9	10	09	14.3	130.0	9	12	21	14.3	119.5	9	15	15	955	9	15	15	40	9	14	15	N:500 S:330	9	16	09	18.6	101.0	TD	9	16	09	18.6	101.0
20	KHANUN	10	11	09	15.5	134.0	10	12	21	18.5	123.3	10	15	09	955	10	15	09	40	10	15	09	SW:500 NE:390	10	16	09	20.3	109.9	TD	10	16	15	20.5	109.3
21	LAN	10	15	15	8.8	137.3	10	16	03	9.7	136.2	10	22	15	915	10	22	15	50	10	23	06	850	10	23	09	37.2	141.5	L	10	24	03	44.4	155.4
22	SAOLA	10	22	15	9.1	148.3	10	24	21	14.5	139.3	10	29	18	975	10	29	18	30	10	29	09	N:560 S:390	10	29	21	34.8	141.1	L	10	29	21	34.8	141.1
23	DAMREY	10	31	09	11.0	126.8	11	2	09	12.5	117.7	11	4	09	970	11	4	09	35	11	4	03	440	11	5	03	13.2	105.6	TD	11	5	03	13.2	105.6
24	HAIKUI	11	7	21	10.1	134.2	11	10	09	15.0	119.2	11	11	21	998	11	11	21	20	11	11	21	NW:220 SE:110	11	12	15	17.5	112.3	TD	11	13	09	17.5	110.5
25	KIROGI	11	16	21	7.1	123.6	11	18	09	11.5	115.2	11	19	03	1000	11	19	03	18	11	19	03	110	11	19	09	10.9	110.6	TD	11	19	15	11.0	109.6
26	KAI-TAK	12	14	03	10.8	126.8	12	14	09	11.0	127.4	12	15	15	994	12	21	03	20	12	15	15	330	12	21	21	6.3	108.5	TD	12	24	03	2.7	104.8
27	TEMBIN	12	20	09	8.1	134.2	12	21	03	8.6	130.9	12	24	15	970	12	24	15	35	12	25	15	NW:500 SE:170	12	25	21	8.7	107.7	TD	12	26	15	8.6	103.6

表中の日時はすべて日本時(JST)。

「台風期間中の最低(大)値」の起時は、最低(大)となった最後の時刻である。

(但し、風速はノットで解析し、5m/s単位に換算、強風半径は海里で解析し、10km単位に換算しているため、必ずしもこれに当てはまらない事がある。)

強風域とは、台風の周辺で平均風速がおおむね15m/s以上の領域。

種類欄の「TD」は熱帯低気圧、「L」は温帯低気圧を表す。

域外とは、日付変更線(東経180°)より東側、東経100°より西側、又は北緯60°より北側の領域。

## 2-2 平成 29 年(2017 年)に日本に影響した主な台風

日本に影響\*した主な台風について以下に概要を示す。

\*ここでは、台風の中心が、国内のいずれかの気象官署等から500km以内に入った場合をいう。

### (1) 台風第3号 (1703 NANMADOL ナンマドル)

7月1日15時にフィリピンの東海上で発生した熱帯低気圧は北西へ進み、2日9時に沖縄の南で台風第3号となった。台風は、徐々に進路を北東に変え、3日15時に東シナ海で勢力が最大となった。台風は、4日8時頃、長崎県長崎市付近に上陸し、4日12時過ぎ、愛媛県宇和島市付近に再上陸した。4日17時前、和歌山県田辺市付近に再上陸した後、台風は5日9時に日本の東で温帯低気圧となり、北東へ進んだ後、8日21時に東経180度を越えた。

### (2) 台風第5号 (1705 NORU ノルー)

7月19日15時に南鳥島の東海上で発生した熱帯低気圧は西へ進み、20日21時に南鳥島の北東で台風第5号となった。台風は、反時計回りに進んだ後、進路を南西に変えた。その後、徐々に進路を北西に変えながら、31日9時に父島の南南西で勢力が最大となった。台風は、8月5日に屋久島の西海上でほとんど停滞した後、進路を北東に変え、6日2時過ぎに屋久島を通過し、同日9時半頃に種子島を通過した。台風は7日10時前に室戸岬を通過し、同日15時過ぎに和歌山県北部に上陸して、その後も北東に進み、8日には日本海に達した。台風は8日21時に日本海で温帯低気圧となり、その後、9日21時に消滅した。

### (3) 台風第9号 (1709 NESAT ネサット)

7月25日15時にフィリピンの東海上で発生した熱帯低気圧は北北西へ進み、26日3時に同海域で台風第9号となった。台風は、29日3時に台湾の南東で勢力が最大となり、同日に台湾に上陸して進路を西北西に変えた後、東シナ海を進んだ。台風は、30日9時に華南に上陸し、同日21時に熱帯低気圧となった後、31日9時に同地域で消滅した。

### (4) 台風第10号 (1710 HAITANG ハイタン)

7月27日21時に南シナ海で発生した熱帯低気圧は、29日3時に同海域で台風第10号となった。台風は、30日15時に台湾の南で勢力が最大となった後、台湾に上陸し、31日朝に華南に上陸した。台風は、31日15時に華南で熱帯低気圧となった後、8月1日15時に長江下流付近で温帯低気圧となって北へ進み、3日9時に黄河下流付近で消滅した。

### (5) 台風第13号 (1713 HATO ハト)

8月19日21時にフィリピンの東海上で発生した熱帯低気圧は西へ進み、20日21時に同海域で台風第13号となった。台風は、ルソン海峡を進んだ後、23日9時に南シナ海で勢力が最大となった。台風は、23日夕方に華南に上陸した後、急激に勢力を弱め、24日21時に熱帯低気圧となり、25日9時には東経100度を越えた。

(6) 台風第15号 (1715 SANJU サンジュ)

8月27日3時にマリアナ諸島の東海上で発生した熱帯低気圧は北へ進み、28日15時に同海域で台風第15号となった。台風は、徐々に進路を西へ変えた後、小笠原諸島の周辺で2回、反時計回りに進み、9月1日9時に同海域で勢力が最大となった。その後、台風は進路を北東に変え、3日21時に千島の東で温帯低気圧となり、アリューシャン近海を東へ進み、6日21時前に東経180度を越えた。

(7) 台風第17号 (1717 GUCHOL グチョル)

9月3日21時にフィリピンの東で発生した熱帯低気圧は西へ進み、進路を北西へ変えた後、6日3時にルソン海峡で台風第17号となり、勢力が最大となった。台風は進路を北北西に変え、7日3時に台湾海峡で熱帯低気圧となり、北へ進んだ後、8日3時に消滅した。

(8) 台風第18号 (1718 TALIM タリム)

9月8日21時にグアム島の北東海上で発生した熱帯低気圧は西北西に進み、9日21時にグアム島の北西で台風第18号となった。その後台風は北西に進み、14日9時に石垣島の北海上で勢力が最大となった。台風は、進路を北東に変え、17日11時半頃に鹿児島県薩摩半島を通過し、同日12時頃鹿児島県垂水市付近に上陸した後、同日16時半頃に高知県西部に再上陸し、更に同日22時頃に兵庫県明石市付近に再上陸した。台風はその後日本海に抜け、18日3時に佐渡島付近で温帯低気圧となり、速度を上げながら北北東に進み、23日9時にオホーツク海で消滅した。

(9) 台風第21号 (1721 LAN ラン)

10月15日15時にカロリン諸島近海で発生した熱帯低気圧は北西に進み、16日3時に同海域で台風第21号となり、進路を西南西に変えた。台風は進路を急激に北へ変えた後、18日には進路を北西に変えた。台風は、進路を北東に変えた後、徐々に加速しながら22日3時に南大東島の東で勢力が最大となった。台風は速度を速めながら北東に進み、23日3時頃に静岡県掛川市付近に上陸し、関東地方を北東へ進んだ後、23日9時に日本の東で温帯低気圧となり、24日9時に千島近海で消滅した。

(10) 台風第22号 (1722 SAOLA サオラー)

10月22日15時にトラック諸島の西海上で発生した熱帯低気圧は北西に進み、24日21時にマリアナ諸島の西海上で台風第22号となった。台風は引き続き北西に進み、進路を北に変えた後、28日3時に沖縄の南で勢力が最大となった。台風は、進路を北東に変え、28日14時前に沖縄県沖縄本島付近を通過した後、29日21時に千葉県南東沖で温帯低気圧となり、30日3時に消滅した。

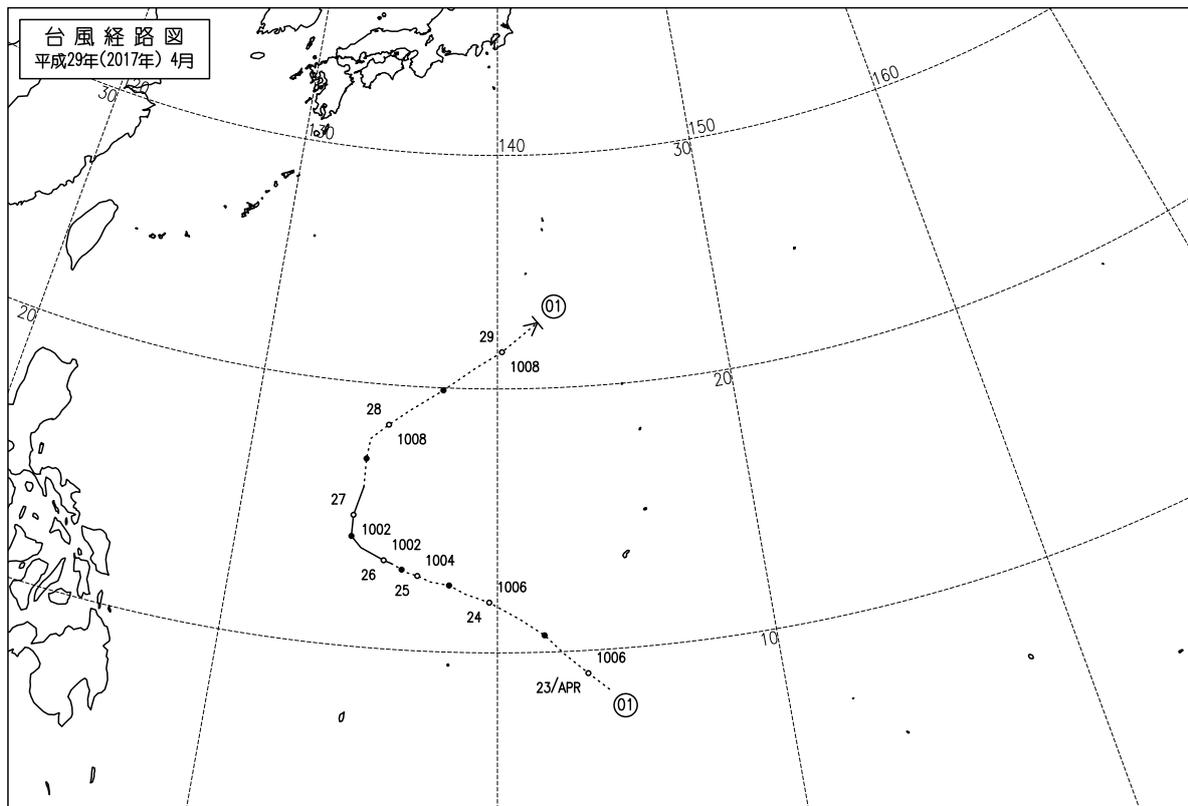
資料2-2-1 平成29年(2017年)に日本に影響した台風の概要表(熱帯低気圧、温帯低気圧の期間は除く)

台風 番号	日本への影響 (台風が中心が日本から概ね500km以内に入った場合)			日本への接近 (台風が中心が日本から概ね300km以内に入った場合)			上陸、通過
	月日		地 域	月日		地 域	
	始	終		始	終		
3	7/2	7/5	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	7/2	7/5	沖縄地方、西日本、東日本、東北地方	04日08時頃、長崎市付近に上陸した。 04日12時過ぎ、愛媛県宇和島市付近に再上陸した。 04日17時前、和歌山県田辺市付近に再上陸した。
5	7/28	8/8	沖縄・奄美、西日本、東日本、北日本	7/28	8/8	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	6日2時過ぎ、鹿児島県屋久島を通過した。 6日9時半頃、鹿児島県種子島を通過した。 7日10時前、高知県室戸岬を通過した。 7日15時過ぎ、和歌山県北部に上陸した。
9	7/28	7/30	沖縄地方	7/29	7/30	沖縄地方	上陸または通過せず。
10	7/30	7/31	沖縄地方	7/30	7/31	沖縄地方	上陸または通過せず。
13	8/21	8/22	沖縄地方				上陸または通過せず。
15	8/30	9/2	伊豆・小笠原諸島	8/30	9/2	伊豆・小笠原諸島	上陸または通過せず。
17	9/6	9/7	沖縄地方				上陸または通過せず。
18	9/12	9/18	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	9/12	9/18	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	17日11時半頃、鹿児島県薩摩半島を通過した。 17日12時頃、鹿児島県垂水市付近に上陸した。 17日16時半頃、高知県西部に再上陸した。 17日22時頃、兵庫県明石市付近に再上陸した。
21	10/21	10/23	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	10/21	10/23	沖縄地方、四国地方、近畿地方、東日本、東北地方	23日03時頃、静岡県掛川市付近に上陸した。
22	10/27	10/29	沖縄・奄美、西日本、東日本、東北地方	10/27	10/29	沖縄・奄美、九州南部、九州北部地方、四国地方、近畿地方、東海地方、伊豆・小笠原諸島、関東甲信地方	28日14時前、沖縄県沖縄本島付近を通過した。

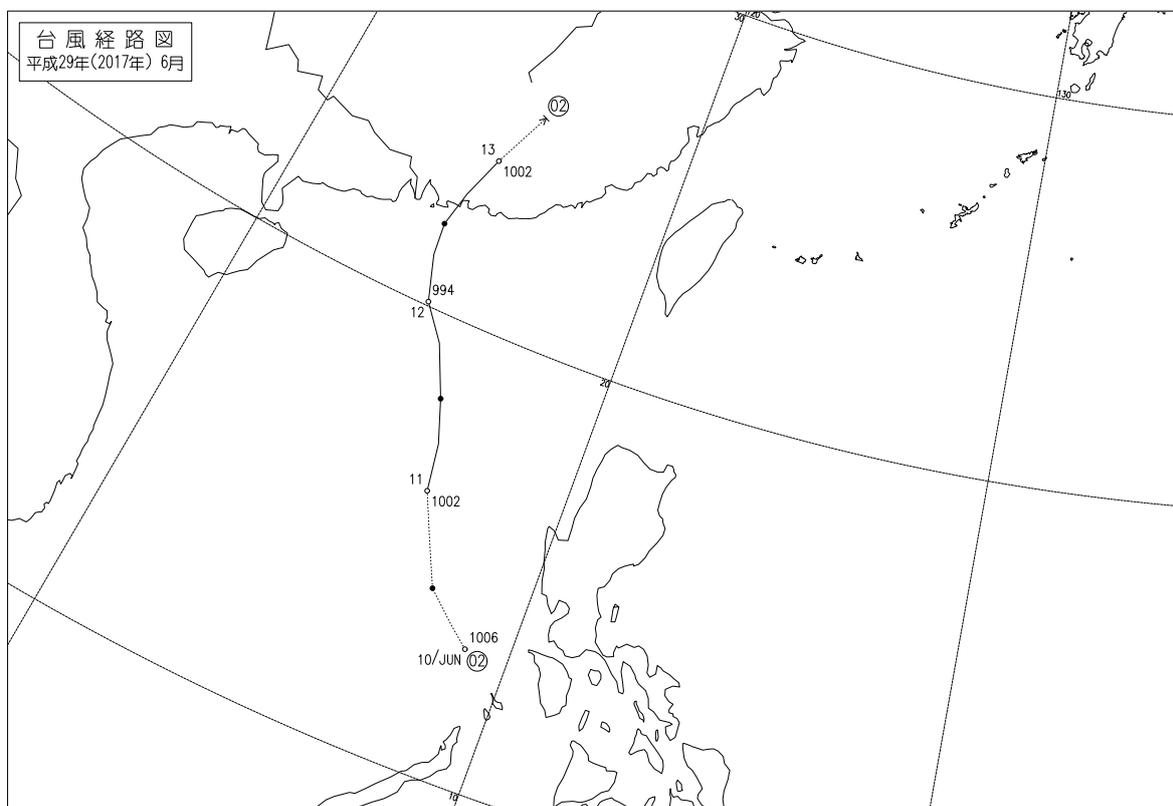
台風が中心がそれぞれの地域のいずれかの気象官署等から500km以内に入った場合を「日本に影響した台風」とした。

台風が中心がそれぞれの地域のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合を「日本に接近した台風」とした。

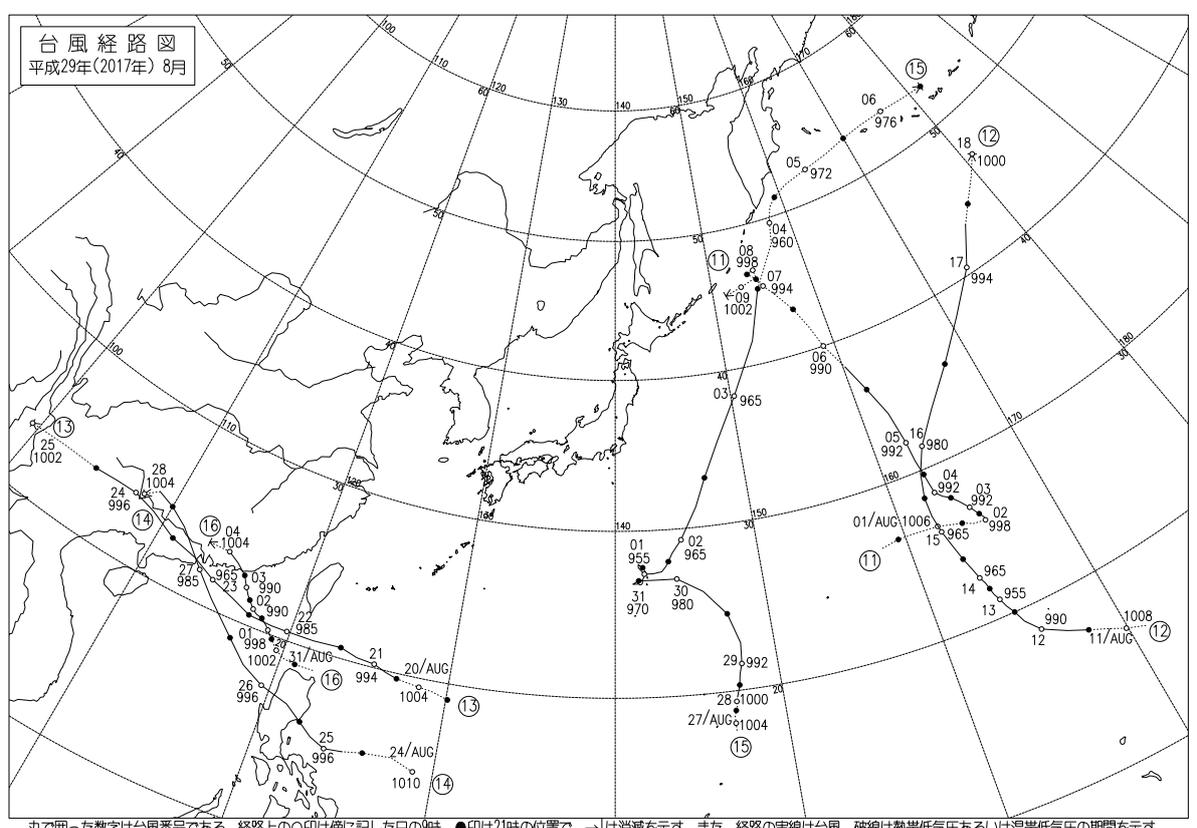
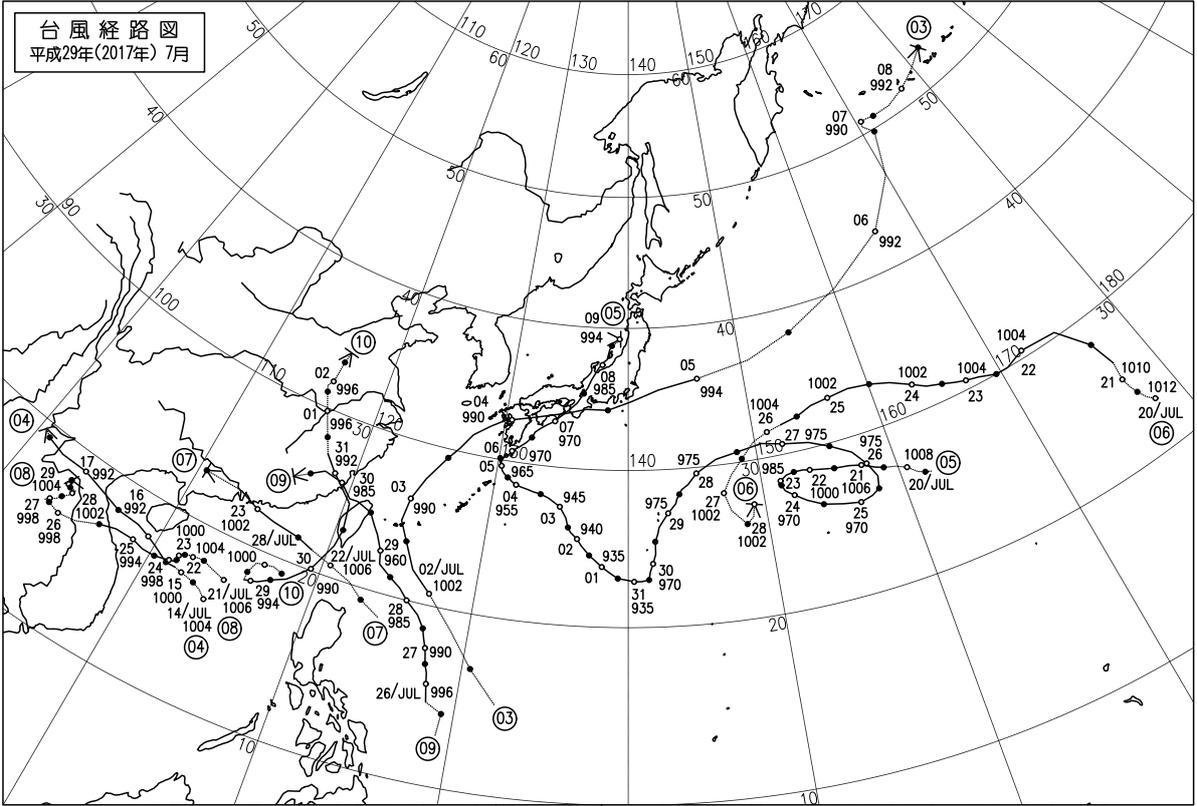
資料 2-2-2 平成 29 年 (2017 年) に発生した台風の経路図

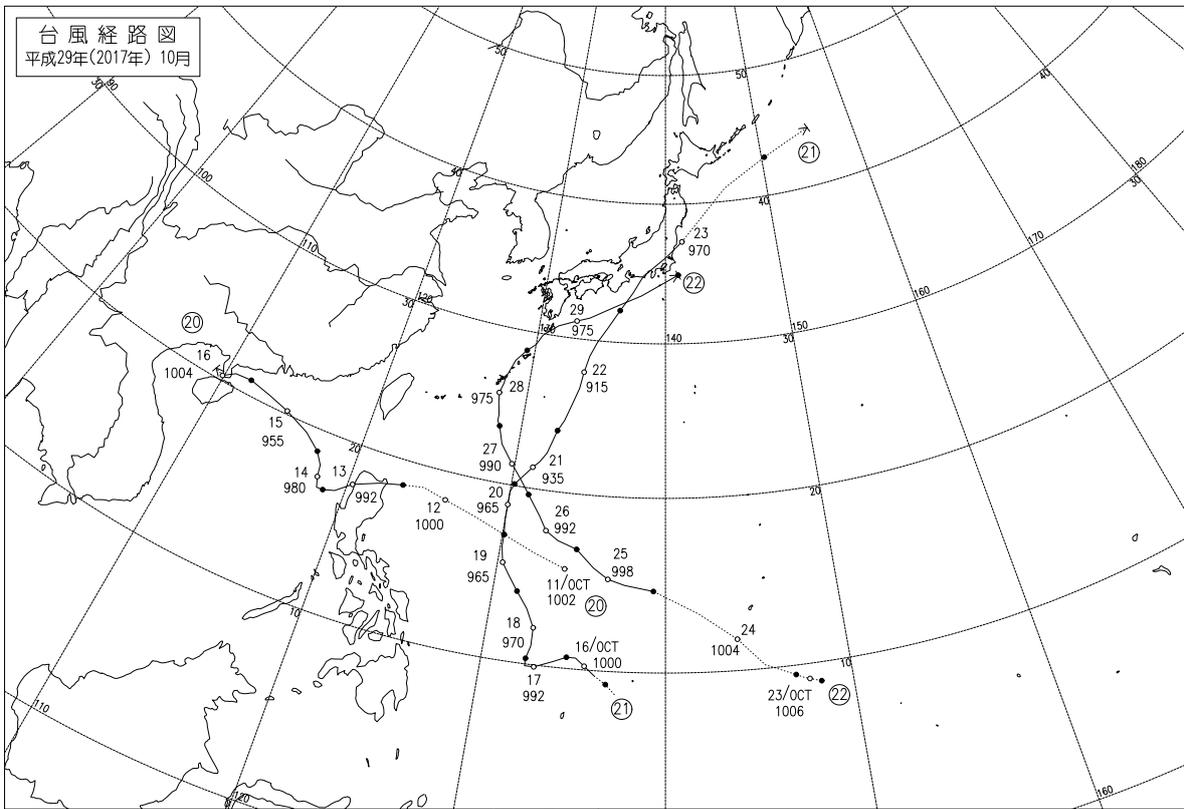
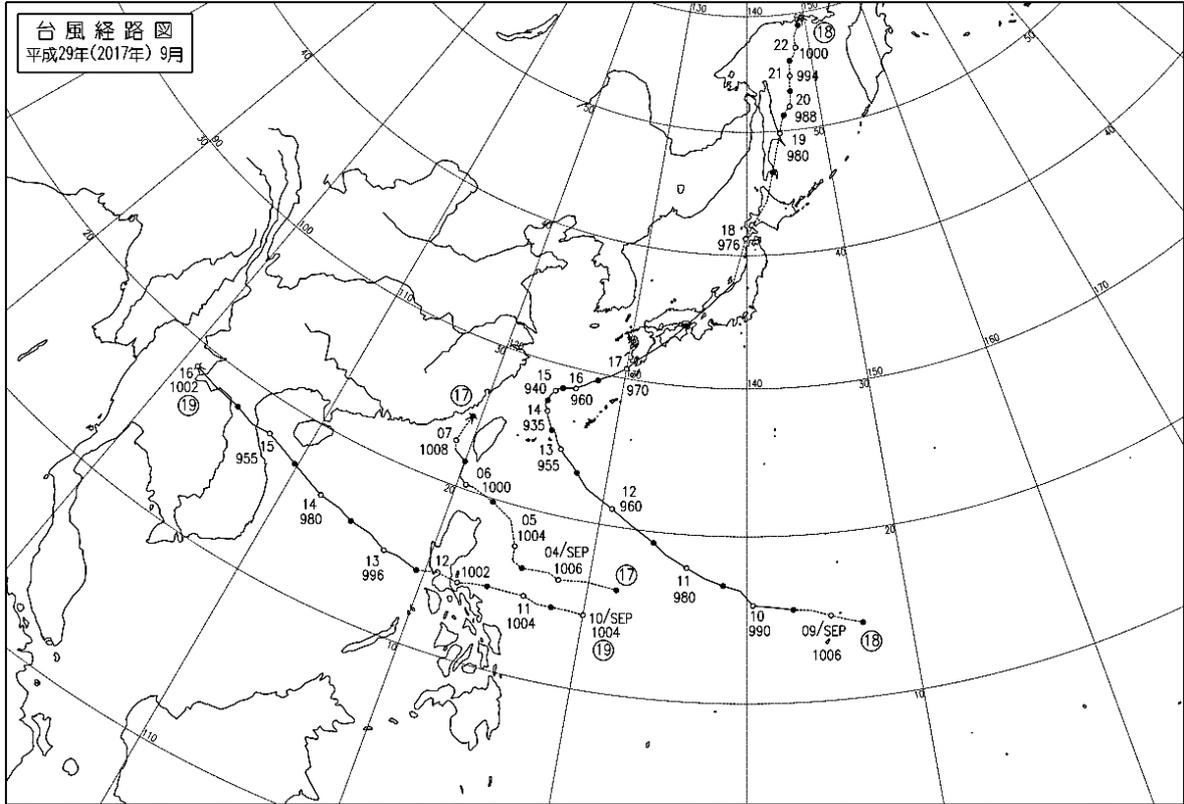


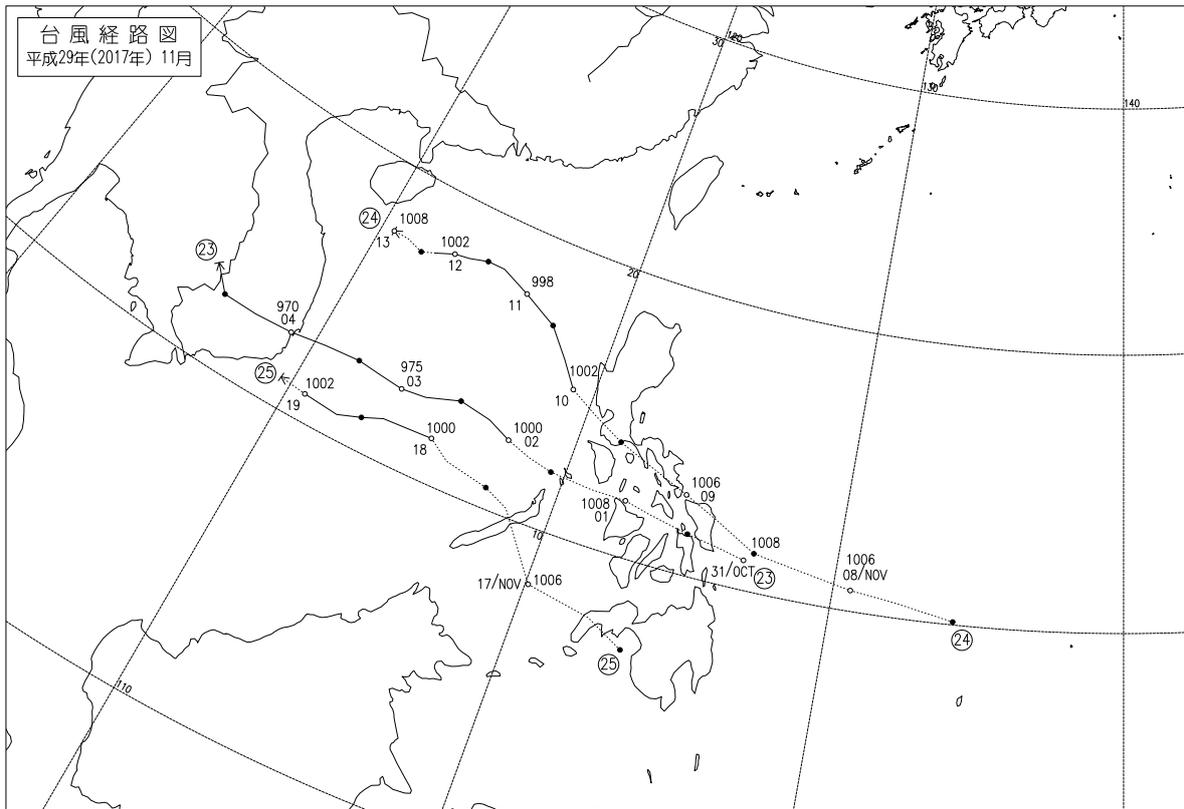
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



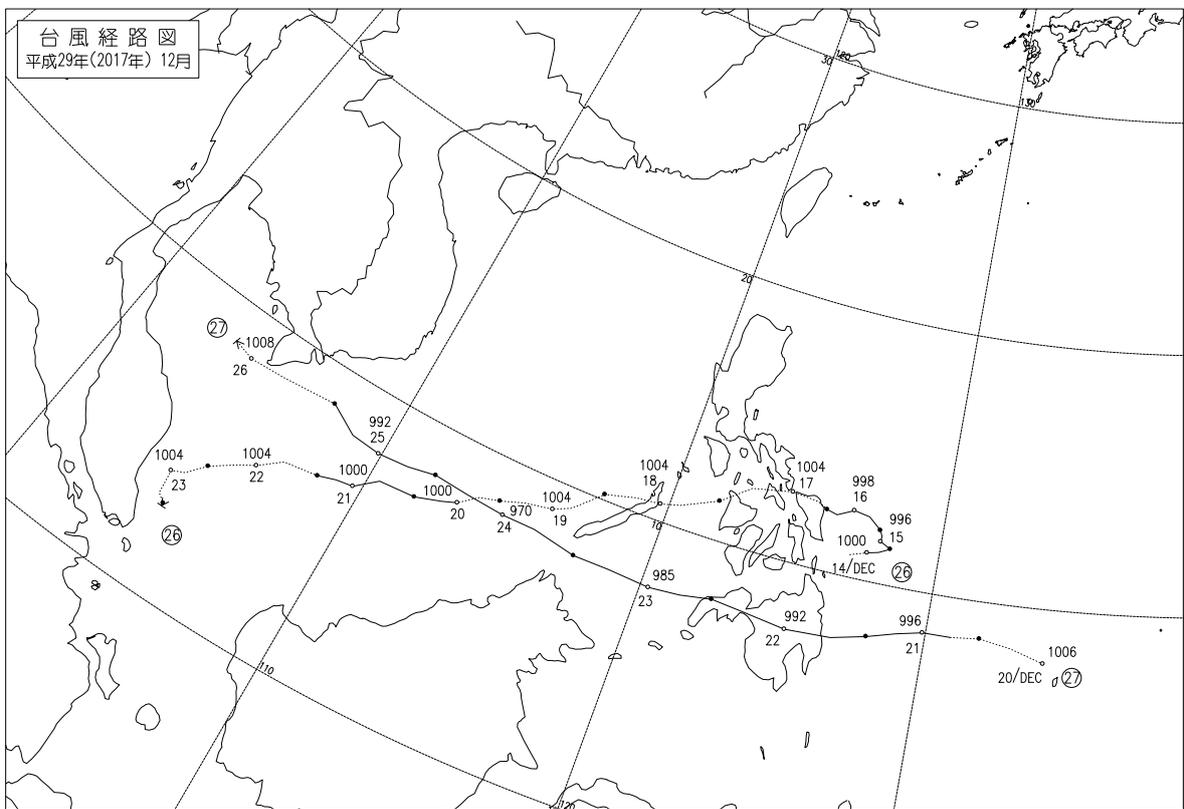
丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。







丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。



丸で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧あるいは温帯低気圧の期間を示す。

### 3 平成29年（2017年）の天気概況

#### 1月

##### **気圧の谷や低気圧、冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雨や雪（1日～5日）**

1日は、気圧の谷や寒気の影響で、東北地方の日本海側や北陸では雨が降ったほか、北海道では雪が降った。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。2日は、低気圧が日本海中部から三陸沖に進んだ。また、別の低気圧が北海道の北を通過した。これらの影響で、西日本から東日本にかけての日本海側や東北地方では雨が降り、北海道では雪が降った。その他の地域はおおむね晴れた。3日は、日本の東の低気圧が発達しながら北東に進み、日本付近は冬型の気圧配置（以下冬型と略す。）となった。この影響で、北陸地方や東北地方では雨が降り、北陸では一部で雷を伴ったほか、北海道では雪が降った。その他の地域はおおむね晴れた。4日は、気圧の谷が北日本を通過した。この影響で、北陸や北日本を中心に雪や雨が降った。東日本の太平洋側や西日本ではおおむね晴れた。5日は、日本付近は冬型となった。この影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨や雪が降り、関東の北部では大雪となった所があった。その他の地域はおおむね晴れた。

##### **前線や低気圧、その後の冬型の気圧配置の影響で全国的に雨や雪、奄美の一部や伊豆諸島の一部では大雨、関東甲信の一部では暴風（6日～9日）**

6日から7日にかけては、前線が南西諸島付近に停滞し、前線上の九州の南海上に低気圧が発生した。この影響で、沖縄・奄美や九州南部地方を中心に雨が降り、奄美では大雨となった所があった。また、寒気や気圧の谷の影響で、東北地方の日本海側や北陸では雨や雪が降った所があったほか、北海道では雪が降った。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。8日から9日にかけては、前線を伴う低気圧が本州南岸を東に進み、日本の東海上に達して、日本付近は冬型となった。この影響で、全国的に雨や雪が降り、伊豆諸島の一部では大雨となったほか、中国地方では雷を伴った所があった。また、九州や東海地方では強風となった所があったほか、関東甲信では暴風となった所があった。

##### **冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪や雨、東日本の一部や北日本の一部では大雪、伊豆諸島の一部では暴風（10日～17日）**

10日から12日にかけては、日本付近は冬型となった。この影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨や雪が降り、北陸や北日本では大雪となった所があったほか、北陸では雷を伴った所があった。また、北海道では強風となった所があったほか、伊豆諸島では暴風となった所があった。その他の地域は太平洋側を中心におおむね晴れた。13日は、日本付近は強い冬型となった。また、低気圧が北海道付近を南下した。これらの影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降り、や長野県では大雪となった所があったほか、北陸では雷を伴った。一方、前線が南西諸島付近に停滞した影響で、沖縄・奄美では雨が降った。14日から16日にかけては、日本付近は引き続き強い冬型となったほか、気圧の谷や低気圧が北日本を通過した。この影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降り、北陸の一部や長野県の一部では大雪となり、西日本から東海地方にかけての太平洋側でも雪が降った所があったほか、中国地方や北陸では雷を伴った所があった。また、西日本や北陸、北日本では強風となった所があった。17日は、日本付近は引き続き冬型となった。この影響で、中国地方から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降った。その他の地域は太平洋側を中心におおむね晴れた。

##### **前線や低気圧の影響で沖縄・奄美から西日本の太平洋側にかけては雨、東日本から北日本にかけての日本海側では雪や雨（18日～19日）**

18日から19日にかけては、前線が先島諸島付近から九州の南海上にかけて停滞し、前線上に複数の低気圧が発生してそれぞれ東に進んだ。この影響で、南西諸島や九州から近畿にかけての太平洋側を中心に雨が降った。また、別の低気圧が前線を伴って日本海西部から津軽海峡付近を通り、北海道の東海上に達した。この低気圧や前線、寒気の影響で、東日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪や雨が降った。

##### **低気圧や前線の影響で西日本から北日本にかけては雨や雪、西日本の一部や東日本の一部では暴風（20日～21日）**

20日は、低気圧が日本海西部から能登半島付近に進んで消滅した。また、別の低気圧が次々と本州南岸を東に進んだ。これらの影響で、西日本から北日本にかけては雨や雪が降り、中国地方や北陸では雷を伴った所があった。また、西日本では強風となった所があったほか、九州や四国では暴風となった所があった。21日は、低気圧が日本の東を北東に進み、日本付近は冬型となった。この影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雨や雪が降り、北陸では雷を伴った所があった。また、北陸では暴風となった所があった。

#### **低気圧や前線、その後の冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪、西日本の一部や東北地方の一部では大雪、北海道の一部では強風（22日～26日）**

22日は、前線を伴う低気圧が日本海を北東に進み、北海道付近に達した。この影響で、西日本や北陸地方、北日本を中心に雪が降ったほか、北陸や北海道では雷を伴った所があった。23日から24日にかけては、日本付近は冬型となった。この影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降り、中国地方や近畿、福島県では大雪となった所があったほか、中国地方では雷を伴った所があった。また、北海道では強風となった所があった。25日から26日にかけては、寒気の影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降った所があった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で日本海側及び伊豆諸島では雨、小笠原諸島では大雨、北日本では雪や雨、北海道の一部では暴風（27日～28日）**

27日から28日にかけては、低気圧が沿海州からオホーツク海に進み、伴う前線が西日本から北日本にかけて通過した。この影響で、西日本から東日本にかけての日本海側、伊豆諸島、小笠原諸島では雨が降り、小笠原諸島では大雨となったほか、北日本では雪や雨が降った。また、東日本から北日本にかけては強風となった所があったほか、北海道では暴風となった所があった。

#### **低気圧や前線の影響で全国的に雨や雪、西日本の一部や東日本の一部では強風、その後の冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雨や雪（29日～31日）**

29日から30日にかけては、前線を伴う低気圧が黄海から西日本付近を通過し、日本の東海上に達した。また、別の低気圧が日本海から三陸沖に進んだ。これらの影響で、沖縄・奄美から東日本を中心に雨が降り、北日本では雪が降ったほか、九州や北陸、関東では強風となった所があった。31日は、日本付近は冬型となった。この影響で、東日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降った。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

## **2月**

#### **低気圧や冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪や雨、北日本の一部では大雪、伊豆諸島の一部では暴風（1日～4日）**

1日から3日は、低気圧が発達しながら日本海中部から津軽海峡付近に進み、北海道の東海上に達して、日本付近は冬型の気圧配置（以下冬型と略す。）となった。この影響で、西日本から北日本の日本海側を中心に雪や雨が降り、福島県では大雪となった所があったほか、関東や北海道では強風となった所があり、伊豆諸島では暴風となった所があった。その他の地域は太平洋側を中心におおむね晴れた。4日は、寒気の影響で、北日本では雪が降ったが、その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で沖縄・奄美から東北地方では雨、その後の冬型の影響で日本海側を中心に雪や雨、北日本の一部では大雪、伊豆諸島の一部では暴風（5日～7日）**

5日は、前線を伴った低気圧が九州の西海上から山陰沖に、また別の低気圧が日本海を北東に進んだ。これら低気圧の影響で、沖縄・奄美から東北地方では雨が降り、九州では雷を伴った所があった。6日から7日は、低気圧が三陸沖を北東に進み、日本の東海上に達して、日本付近は冬型となった。この影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪や雨が降り、福島県では大雪となった所があったほか、中国地方や北陸では雷を伴った所があった。また、九州では強風となった所があり、伊豆諸島では暴風となった所があった。その他の地域は太平洋側を中心におおむね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で沖縄・奄美から西日本では雨、東日本や北日本では雨や雪、九州の一部では暴風（8日～9日）**

8日から9日は、前線を伴った低気圧が本州南岸を北東に進んだほか、別の低気圧が日本海を東に進んだ。

これらの影響で、沖縄・奄美から西日本では雨が降ったほか、強風となった所があり、九州では暴風となった所があった。また、東日本や北日本では雨や雪が降った。

#### **冬型の影響で日本海側を中心に雪、西日本の一部や東日本の一部では大雪、北陸の一部では暴風（10日～14日）**

10日から12日は、日本付近は冬型の影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降り、中国地方や近畿、北陸では大雪となった所があったほか、中国地方や北陸では雷を伴った所があった。また、九州や四国では強風となった所があったほか、北陸では暴風となった所があった。13日から14日は、日本付近は引き続き冬型となり、北日本の日本海側や北陸を中心に雪が降った。その他の地域は太平洋側を中心におおむね晴れた。

#### **寒気や気圧の谷の影響で北陸や北日本の日本海側を中心に雪や雨（15日～16日）**

15日から16日は、寒気や気圧の谷の影響で、北陸や北日本の日本海側を中心に雪や雨が降った所があった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

#### **低気圧や前線、冬型の影響で全国的に雨や雪、その後寒気の影響で北陸や北日本の日本海側を中心に雪（17日～19日）**

17日は、オホーツク海の発達する低気圧からのびる前線が日本列島を通過し、18日は冬型となった。この影響で、関東を除いて全国的に雨や雪が降ったほか、西日本から北日本では強風となった所があった。19日は、寒気の影響で、北陸や北日本の日本海側を中心に雪が降った。その他の地域は太平洋側を中心におおむね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で全国的に雨や雪、西日本から東日本にかけての一部では暴風、その後冬型の影響で日本海側を中心に雪、関東の一部や東北の一部では大雪（20日～21日）**

20日は、低気圧が日本海西部から三陸沖に進み、この低気圧からのびる前線が沖縄・奄美から東日本を通過した。この影響で、沖縄・奄美から東日本では雨が降り、北日本では雪が降った。また、北日本では強風となった所があったほか、西日本や東日本では暴風となった所があった。21日は、日本付近は冬型となったため、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪が降り、群馬県や福島県では大雪となった所があったほか、北陸や関東では強風となった所があった。その他の地域は太平洋側を中心におおむね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で全国的に雨や雪、西日本から東日本にかけての一部では大雨や暴風、その後冬型の影響で日本海側を中心に雪（22日～24日）**

22日から23日は、低気圧が黄海から日本海を北東に進んで北海道の東海上に達し、この低気圧からのびる前線が沖縄・奄美から東日本を通過した。この影響で、沖縄・奄美から東日本では雨が降り、近畿や東海地方では大雨となった所があったほか、北日本では雪が降った。また、西日本や東日本では暴風となった所があった。24日は、日本付近は冬型となったため、東日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪や雨が降ったほか、北日本では強風となった所があった。

#### **低気圧や前線、気圧の谷の影響で沖縄・奄美や小笠原諸島では雨、前線の影響で北日本では雪、その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れ（25日～28日）**

25日から26日は、南西諸島付近に停滞する前線上に低気圧が発生して東に進んだ。この低気圧や前線の影響で、沖縄・奄美では雨が降った。また、別の低気圧がサハリン付近を北東に進み、この低気圧からのびる前線が北日本を通過した。この影響で、北日本では雪が降った。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。27日は、前線を伴った低気圧が日本の南海上を東に進み、日本の東海上に達した。この影響で、小笠原諸島では雨が降った。また、寒気の影響で、北日本では雪が降った所があった。その他の地域はおおむね晴れた。28日は、気圧の谷の影響で、先島諸島では雨が降った。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

### **3月**

#### **前線や低気圧の影響で沖縄・奄美から東日本では雨、九州の一部では暴風、冬型の気圧配置の影響で、西日本から北日本では日本海側を中心に雪や雨（1日～3日）**

1日は、沖縄の南海上から本州南岸にのびた前線の影響で、沖縄・奄美から東日本では太平洋側を中心に

雨となり、九州では雷を伴った所があった。北日本では高気圧に覆われおおむね晴れた。2日は、低気圧が本州南岸から三陸沖に進んだ。また、別の低気圧が山陰沖を東に進んだ。これらの影響で、沖縄から東日本では雨が降り、九州では暴風となった所があったほか、九州、中国地方、近畿、東海地方では雷を伴った所があった。3日は、日本付近は冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)の影響で、西日本から北日本では日本海側を中心に雪や雨となった。北日本では強風となった所があった。

#### **寒気の影響で北日本の日本海側では雨や雪、前線や低気圧の影響で沖縄・奄美から東日本では太平洋側を中心に雨(4日~6日)**

4日は、オホーツク海にある寒気を伴った低気圧の影響で、北日本の日本海側を中心に雪となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。5日から6日は、華南から東シナ海に前線がのび、前線上に発生した低気圧が関東の東海上に進んだ。また、別の低気圧が日本海中部から三陸沖に進んだ。これらの影響で、沖縄・奄美から東日本では太平洋側を中心に雨となり、沖縄では強風となった所があった。また、山陰から北日本では雨や雪となった。

#### **冬型の影響で西日本から北日本では日本海側を中心に雪や雨、東北地方の一部では大雪、前線の影響で沖縄の一部で大雨、その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れ(7日~12日)**

7日から9日は、日本付近は冬型の影響で、西日本から北日本では日本海側を中心に雪や雨となり、福島県では大雪となった所があった。また、北陸では雷を伴った所があった。10日は、冬型が続き、西日本から北日本では日本海側で雪や雨となった。また、華南から東シナ海にのびる前線の影響で、沖縄で大雨となった所があった。11日から12日は、華南から東シナ海にのびる前線の影響で、沖縄・奄美では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で沖縄・奄美から関東では雨、沖縄・奄美の一部では大雨、冬型の影響で西日本から北日本では日本海側を中心に雪や雨、関東の一部では暴風(13日~16日)**

13日から14日は、前線を伴った低気圧が東シナ海から日本の東海上に進んだ。また、日本海中部に発生した低気圧がゆっくり南下した。これらの影響で、沖縄・奄美から関東では雨となり、沖縄・奄美では大雨となった所があった。また、北陸から北日本では日本海側で雨や雪となった。15日から16日は、関東の東海上の低気圧が東へ進み、日本付近は冬型となった。この影響で、西日本から北日本では日本海側を中心に雨や雪となり、関東や東北地方では太平洋側で雨となった。また、関東では暴風となった所があった。

#### **冬型の影響で北日本は雨や雪、低気圧の影響で沖縄から九州では雨、その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れ(17日~19日)**

17日は、北日本は冬型が続き、雨や雪となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。18日から19日は、低気圧が九州の南海上から日本の南海上に進んだ影響で、沖縄から九州では雨となった所があった。また、寒気の影響で北陸や北日本の日本海側では雨や雪となり、北陸では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で全国的に雨、沖縄・奄美の一部では大雨、その後、冬型の影響で北陸や北日本では雨や雪、低気圧の影響で沖縄から四国では太平洋側を中心に雨(20日~24日)**

20日から21日は、前線を伴った低気圧が、九州の西海上から関東の東海上へ進んだ。この影響で全国的に雨となり、沖縄・奄美では大雨となった所があったほか、九州では強風となった所があった。22日は、日本海北部の低気圧や冬型の影響で、北陸や北日本で雪となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。23日から24日は、低気圧が九州の南海上から日本の南海上へ進んだ影響で、沖縄から四国の太平洋側では雨となった。また、北日本は冬型影響で北日本の日本海側を中心に雪や雨となった。その他の地域は高気圧に覆われおおむね晴れた。

#### **低気圧や寒気の影響で沖縄から東日本では雨、関東や東北地方では山沿いを中心に雨や雪、関東の一部では暴風(25日~27日)**

25日から26日は、低気圧が日本の南海上から関東の東海上へ進んだ。この影響で、沖縄から東日本では雨となり、九州では雷を伴った所があった。北日本では高気圧に覆われおおむね晴れた。27日は、東海道沖に発生した寒気を伴った低気圧が関東の東海上へ進んだ。この影響で、関東や東北地方では山沿いを中心に雨や

雪となり、関東では暴風となった所があったほか、九州や中国地方、東海地方では雷を伴った所があった。

### **低気圧や寒気の影響で西日本から北日本では雨や雪、前線や低気圧の影響で沖縄・奄美から東日本では雨（28日～31日）**

28日は、上空の寒気の影響で、西日本から北日本では雨や雪となった所があり、北陸では雷を伴った所があった。29日から30日は、低気圧が九州の西海上から関東の東海上に進んだ。また、別の低気圧が日本海中部から三陸沖に進んだ。これらの影響で、西日本や北日本で雨や雪となった所があり、北日本では雷を伴った所があった。31日は、前線を伴った低気圧が九州の西海上から本州南岸に進んだ。この影響で、沖縄・奄美から東日本では雨となった。

## **4月**

### **寒気や気圧の谷の影響で全国的に雨、北日本では雨や雪、のち全国的に概ね晴れ（1日～5日）**

1日は、関東の東海上の低気圧から沖縄の南海上にのびる前線の影響で、沖縄・奄美から東北地方太平洋側を中心に雨となった。2日は、気圧の谷の影響で、東北地方で雨となった。また、寒気の影響で西日本では雨となった所があり、九州では強風となった所や、中国地方では雷を伴った所があった。3日は、寒気の影響で東日本や北日本で雨や雪となり、北陸や関東では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。4日から5日は、高気圧に覆われて全国的に概ね晴れた。

### **前線や低気圧の影響で西日本から北日本で雨、西日本や東海地方では一部で大雨（6日～9日）**

6日から7日は、華中から四国へのびる前線が東へ進み、前線上に低気圧が発生した。また、沿海州の低気圧が千島近海へ進んだ。これらの影響で西日本から北日本では雨となり、西日本や東海地方では大雨となった所があった。8日から9日は、九州の西海上の低気圧が東へ進み、また、三陸沖で前線上に発生した低気圧が日本の東海上へ進んだ。これらの影響で、西日本から東北地方では雨となった。

### **発達した低気圧や前線の影響で全国的に雨、九州や東日本では一部で大雨、その後、冬型の気圧配置の影響で山陰から北海道では雨や雪、東北地方では一部で暴風（10日～13日）**

10日は、華南から日本の東海上へのびる前線上の東シナ海で低気圧が発生した。この影響で、沖縄・奄美から西日本太平洋側では雨となり、九州では大雨となった所があった。一方、北日本は高気圧に覆われて概ね晴れた。11日は、前線を伴った低気圧が関東の東海上へ進んだ。また、沿海州の低気圧からのびる前線が北日本に接近した。これらの影響で全国的に雨となり、東海地方や伊豆諸島では大雨となった所があった。12日から13日は、三陸沖の低気圧が発達しながら千島近海へ進み、日本付近は冬型の気圧配置となった。この影響で、山陰から北海道では雨や雪となり、北海道では強風となった所があったほか、東北地方では暴風となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

### **寒気や湿った空気の影響で沖縄・奄美から東北地方で雨、東北地方では一部で暴風（14日～16日）**

14日は、高気圧に覆われて全国的に概ね晴れたが、北日本では強風となった所があった。15日は、寒気や湿った空気の影響で、先島諸島や九州から東北地方日本海側では雨となり、西日本や東海地方では雷を伴った所があった。16日は、サハリン付近の低気圧からのびる前線が北日本を通過した影響で、東北地方では暴風となった所があった。また、湿った空気の影響で、奄美から九州南部地方では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

### **発達した低気圧や前線の影響で全国的に雨、西日本から北日本では一部で大雨、北日本では一部で暴風（17日～19日）**

17日は、前線を伴った低気圧が日本海西部へ進んだ影響で、沖縄・奄美から東北地方では雨となり、西日本や東海地方では大雨となった所があった。また、九州や北陸では強風となった所があったほか、九州では雷を伴った所があった。18日は、日本海西部の低気圧が発達しながら北東へ進み、この低気圧からのびる前線が南西諸島及び西日本から東日本を通過した。この影響で全国的に雨となり、東海地方や伊豆諸島、北海道では大雨となった所があった。また、東海地方や北陸、東北地方で強風となった所があったほか、北海道では一部で暴風となり、東海地方や北海道では雷を伴った所があった。19日は、寒気を伴った低気圧が日本海中部から三陸沖へ進んだ。この影響で、西日本から北日本では日本海側を中心に雨となり、中国地方や関東では強風となった所があったほか、東北地方では暴風となった所があった。また、中国地方や北陸、関東の一部で雷を伴

った。

### **前線や低気圧の影響で沖縄・奄美から四国では雨、寒気の影響で北陸から北海道で雨や雪、のち全国的に概ね晴れ（20日～24日）**

20日は、華中から九州の南海上にのびる前線の影響で、沖縄・奄美から四国では雨となった所があった。また、北日本では気圧の谷の影響で雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。21日は、四国沖を東に進んだ低気圧と、日本海中部の低気圧の影響で、沖縄・奄美から西日本太平洋側で雨となり、北日本でも雨となった所があった。また、沖縄・奄美では強風となった所や、雷を伴った所があった。22日は、関東の東海上の低気圧や、日本の南海上の低気圧から東シナ海へのびる前線の影響で、沖縄・奄美や関東では雨となり、沖縄・奄美では雷を伴った所があった。また、寒気を伴った低気圧が津軽海峡付近から三陸沖へ進んだ。この影響で、北陸から北海道では雨や雪となった。西日本では高気圧に覆われて概ね晴れた。23日から24日は、高気圧に覆われて全国的に晴れたが、湿った空気の影響で沖縄・奄美や四国では雨となった所があったほか、寒気の影響で北日本では雪や雨となった所があった。

### **低気圧や前線の影響で全国的に雨、沖縄・奄美や九州では一部で大雨（25日～27日）**

25日は、湿った空気の影響で、沖縄・奄美から西日本では雨となった所があった。北日本では気圧の谷の影響で雨となり、東北地方では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。26日は、前線を伴った低気圧が東シナ海から本州南岸を進んだ。また、サハリン付近の低気圧からのびる前線が西日本から北日本を通過した。これらの影響で、関東を除いて全国的に雨となり、沖縄・奄美や九州では大雨となった所があったほか、沖縄・奄美や東北地方では雷を伴った所があった。27日は、気圧の谷や湿った空気の影響で、沖縄・奄美及び近畿から北日本では雨となった。

### **寒気や湿った空気の影響で沖縄・奄美や近畿から北日本で雨（28日～30日）**

28日は、湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨となった。また、気圧の谷の影響で東日本や北日本では雨となった所があり、関東では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。29日は、寒気の影響で近畿から北日本では雨となった所があり、近畿や関東、東北地方では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。30日は、日本海北部を東に進んだ低気圧の影響で、北海道では雨となった所があり、一部では強風となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

## **5月**

### **低気圧や気圧の谷の影響で北日本や東日本で雨、のち沖縄・奄美から西日本は湿った空気の影響で雨、その他の地域は概ね晴れ（1日～5日）**

1日は、オホーツク海南部にある低気圧や気圧の谷の影響で、北日本や東日本では雨となり、中国地方や東日本では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。2日は、湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨となった。その他の地域は日本海中部の高気圧に覆われて概ね晴れた。3日から5日は、湿った空気や気圧の谷の影響で、沖縄・奄美から西日本太平洋側を中心に雨となり、九州では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

### **前線や低気圧の影響で全国的に雨、のち北海道を除いて全国的に晴れたが、東北地方の一部では暴風（6日～8日）**

6日は、日本海北部から対馬海峡にのびる前線が日本付近を通過したため、西日本から北日本日本海側を中心に雨となった。また、東シナ海から日本の南海上にのびる前線の影響で、沖縄・奄美でも雨となった。7日は、沿海州付近の低気圧や、千島近海から南西諸島にのびる前線の影響で、沖縄・奄美や関東、北海道では雨となった所があった。また、北日本では強風となった所があり、関東では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。8日は、サハリン付近の低気圧が東へ進んだため、北海道では雷雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れたが、東北地方では暴風となった所があった。

### **前線や低気圧、気圧の谷の影響で全国的に雨、九州では一部で大雨（9日～11日）**

9日は、華南から東シナ海にのびる前線が本州南岸へ進んだため、沖縄・奄美から東日本では雨となり、九州では大雨や強風となった所があった。10日は、本州南岸の低気圧が前線を伴って三陸沖へ進んだ。また、別の低気圧が日本海を北東に進んだ。これらの影響で全国的に雨となった。11日は、北海道付近の低気圧や気圧

の谷の影響で、山陰から北日本を中心に雨となり、関東では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で全国的に雨、沖縄・奄美から東日本では一部で大雨（12日～15日）**

12日は、華中から東シナ海にのびる前線が東へ進み、九州の西海上で前線上に低気圧が発生した。この影響で、全国的に雨となり、九州では大雨となった所があった。四国では一部で強風となり、九州や関東では雷を伴った所があった。13日は、本州南岸を前線を伴った低気圧が東へ進んだため、北海道を除いて全国的に雨となり、沖縄・奄美や近畿、関東では大雨となった所があった。また、沖縄・奄美では雷を伴った所があった。14日から15日は、東シナ海から日本の東海上にのびる前線の影響で、沖縄・奄美では大雨となり、雷を伴った所があった。また、日本海中部を低気圧が東へ進んだため東日本から北日本では雨となり、東北地方では雷を伴った所があった。

#### **前線の影響で沖縄・奄美の一部で大雨、のち全国的に晴れ（16日～21日）**

16日は、華南から南西諸島付近にのびる前線の影響で、沖縄・奄美では大雨となり、雷を伴った所があった。また、日本海北部を低気圧が東へ進んだため、関東や北日本では雨となった所があった。17日は、沖縄の南海上から日本の東海上にのびる前線の影響で沖縄・奄美では雨となった。また、寒気や気圧の谷の影響で、中国地方や関東甲信では雨となった。一方、九州や北日本では高気圧に覆われて概ね晴れた。18日は、寒気の影響で関東甲信では雷雨となったが、その他の地域は高気圧に覆われて晴れた。19日から21日は、高気圧に覆われて全国的に晴れたが、沖縄では湿った空気の影響で雨となった。

#### **気圧の谷や湿った空気の影響で沖縄・奄美、北海道では雨、小笠原諸島は低気圧の影響で大雨、のち前線や低気圧の影響で全国的に雨（22日～27日）**

22日は、湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨となった。また、日本海中部から北海道付近にかけて前線が停滞し、北海道では雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。23日は、湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨となった。また、日本海中部から北海道付近にかけて前線が停滞したため、北日本では雨となった所があった。一方、日本の南海上を東へ進んだ低気圧の影響で、小笠原諸島では大雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。24日から25日は、日本海中部から千島の東海上にのびる前線が東へ進んだ。また、華南から南西諸島付近にのびる前線上に低気圧が発生し、四国沖へ進んだ。これらの影響で全国的に雨となり、沖縄・奄美では雷を伴った所があった。26日は、前線を伴った低気圧が本州南岸から関東の東海上へ進んだ。また、別の低気圧が日本海西部を東へ進んだ。これらの影響で、近畿の太平洋側から東北地方では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。27日は、関東の東海上に発生した低気圧及び日本海中部の低気圧がともに北東へ進んだ。この影響で関東から北海道では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で沖縄・奄美や北日本で雨、高気圧に覆われた西日本から東日本は晴れ、のち気圧の谷の影響で西日本から東北地方で雨（28日～31日）**

28日は、沖縄の南海上から日本の東海上に前線が停滞し、沖縄・奄美では雨となった。また、日本海北部の低気圧が網走沖へ進んだため、北日本では雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。29日から30日は、沖縄の南海上から日本の東海上に前線が停滞し、沖縄・奄美では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。31日は、南西諸島付近に前線が北上し、沖縄・奄美では雨となった。また、寒気の影響で、西日本から東北地方では雨となった所があり、中国地方や近畿、北陸では雷を伴った所があった。

### **6月**

#### **前線や低気圧の影響で沖縄・奄美や四国から北日本では雨、のち高気圧に覆われて西日本から東日本では晴れ（1日～5日）**

1日から2日は、南西諸島から日本の東海上にかけて前線が停滞した。また、日本海中部の低気圧が東へ進み、別の低気圧が関東の東海上を北東に進んだ。これらの影響で沖縄・奄美や四国から北日本では雷雨となり、北海道では強風となった所があった。3日から4日は、先島諸島付近に前線が停滞した。また、津軽海峡付近を低気圧が東へ進み、別の低気圧が北海道の東海上を北東へ進んだ。これらの影響で、沖縄・奄美や北陸、北日本で雨となり、北海道では強風となった所があったが、その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。5日

は、高気圧に覆われて全国的に晴れたが、沖縄と北日本では、前線や気圧の谷の影響で雨となった所があり、関東では湿った空気の影響で、一部で雷雨となった。

#### **前線や低気圧の影響で全国的に雨、九州の一部では大雨、のち高気圧に覆われて全国的に晴れ（6日～10日）**

6日は、華南から日本の南海上にのびる前線の影響で、沖縄・奄美や九州で雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。7日は、東シナ海から本州南岸にのびる前線と日本海西部を北東へ進んだ低気圧の影響で、全国的に雨となり、九州では大雨となった所があった。8日は、先島諸島付近から日本の南海上にのびる前線と、日本海北部を北東に進んだ低気圧の影響で、沖縄・奄美や四国から北日本では雨となった。9日は、サハリン付近の低気圧から関東の東海上にのびる前線と、中国東北区から日本海北部へ進んだ低気圧の影響で、関東甲信や北日本では雨となった所があり、関東では一部で雷を伴った。その他の地域では高気圧に覆われて概ね晴れた。10日は、華中から九州の南海上にのびる前線上を低気圧が東へ進んだ。また、日本海北部を低気圧が東へ進んだ。これらの影響で沖縄・奄美から九州にかけて、また、北陸から北日本では雨となり、北日本では雷を伴った所があった。西日本から東日本の太平洋側では高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線の影響で沖縄・奄美や九州では一部で大雨、低気圧の影響で関東甲信や北日本で雨（11日～15日）**

11日は、東シナ海から日本の南海上にのびる前線上を低気圧が東へ進んだ。また、日高沖の低気圧が北海道の東海上に進んだ。これらの影響で、沖縄・奄美から中国地方、関東甲信や北日本では雨となり、九州では大雨となった所があった。12日は、奄美地方付近に前線が停滞した影響で、沖縄・奄美では雨となった。また、気圧の谷の影響で東日本から北日本では雨となった所があった。13日は、奄美地方付近に前線が停滞した影響で、沖縄・奄美から九州南部では雨となり、沖縄・奄美では大雨となった所や雷を伴った所があった。また、東海沖で発生した低気圧が関東の東海上に進んだ影響で、関東甲信では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。14日から15日は、東シナ海の低気圧が前線上を東へ進み、前線は先島諸島付近まで南下した。この影響で、沖縄・奄美では大雨となった所があった。また、関東の東海上の低気圧と、日本海北部の低気圧の影響で、関東から北日本では雨となり、東北地方では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で沖縄・奄美や関東から北日本で雨、のち高気圧に覆われて全国的に晴れ（16日～18日）**

16日は、前線が先島諸島付近に停滞したため、沖縄・奄美では雨となった。また、寒気を伴った気圧の谷の影響で、関東から北日本では雷雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。17日は、前線が先島諸島付近に停滞し、前線上を低気圧が北東に進んだ影響で、沖縄・奄美では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。18日は、前線は先島諸島付近に停滞した。また、日本の南海上の低気圧が北東へ進み、関東の東海上に達した。これらの影響で沖縄・奄美や関東の太平洋側で雨となり、伊豆諸島では強風となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で全国的に雨、沖縄・奄美から関東甲信では一部で大雨（19日～22日）**

19日は、前線が奄美地方付近まで北上した。また、関東の東海上の低気圧が三陸沖に進んだ。これらの影響で、沖縄・奄美では大雨となった所があり、関東でも雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。20日は、前線が九州南部付近まで北上し、九州付近で前線上に低気圧が発生した。この影響で沖縄・奄美から近畿では雨となり、沖縄・奄美から四国では大雨となった所があった。また、九州では強風となった所があった。東日本から北日本では高気圧に覆われて概ね晴れた。21日は、四国付近の低気圧が前線を伴って北東へ進み、三陸沖に達した。また、山陰沖に低気圧が発生し、秋田沖に進んだ。これらの影響で全国的に雨となり、四国から関東甲信では大雨となった所があった。また、近畿から関東では強風となった所があった。22日は、前線が九州南部付近に停滞したため、九州から四国の太平洋側を中心に雨となり、九州では大雨となった所があった。また、三陸沖の低気圧が千島近海に進んだ影響で、北日本でも雨となった。

#### **前線や低気圧の影響で全国的に雨、西日本や伊豆諸島では一部で大雨（23日～25日）**

23日は、前線が九州南部付近に停滞した影響で、九州では大雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。24日は、九州南部付近から東海沖にのびる前線の影響で、九州から近畿では雨となり、九州では大雨となった所や雷を伴った所があった。また、北海道付近に低気圧が発生したため、北海道で

は雨となった所があった。25日は、前線が九州から関東の東海上に停滞し、九州付近及び関東付近で発生した低気圧が前線上を北東へ進んだ。また、北海道付近の低気圧が北東へ進んだ。これらの影響で全国的に雨となり、九州、四国、近畿、伊豆諸島では大雨となった所があった。

#### **前線の影響で沖縄・奄美から関東甲信では雨、九州では一部で大雨（26日～28日）**

26日は、東シナ海から関東の東海上に前線が停滞した影響で、沖縄・奄美から関東甲信では太平洋側を中心に雨となった所があり、沖縄・奄美では一部で雷を伴った。北日本では気圧の谷の影響で雨となった所があった。27日から28日は、九州南部付近から関東の東海上に前線が停滞した影響で、沖縄・奄美から関東甲信では雨となり、九州では大雨となった所があったほか、沖縄・奄美では雷を伴った所があった。

#### **前線の影響で沖縄・奄美から東北地方では雨、九州や中国地方では一部で大雨（29日～30日）**

29日は、九州北部付近から関東の東海上にのびる前線と、沖縄本島付近を北へ進んだ熱帯低気圧の影響で、沖縄・奄美から東日本では雨となり、九州では大雨となった所があった。また、九州や中国地方では雷を伴った所があった。30日は、対馬海峡付近から関東付近にかけて北上した前線と、南西諸島付近を北東へ進んだ熱帯低気圧の影響で、沖縄・奄美から東北地方では雨となり、九州や中国地方では大雨となった所があった。また、九州から北陸では雷を伴った所があった。

### **7月**

#### **前線や低気圧の影響で、四国や北陸で大雨、のち台風第3号の影響で全国的に雨、西日本から東日本では一部で大雨、西日本では一部で暴風（1日～4日）**

1日は、朝鮮半島から北陸にかけて前線が停滞した。また、四国沖を低気圧が東に進んだ。これらの影響で、西日本から北日本にかけて雨や雷雨となり、四国や北陸、甲信地方では大雨となった所があった。2日は、朝鮮半島から東北地方にかけて前線が停滞し、宗谷海峡付近の低気圧が南東へ進んだため、西日本から北日本では雨となった。また、近畿や東海地方では雷を伴った所があった。3日は、朝鮮半島から東北地方にかけて前線が停滞したため、北陸から東北地方では大雨となった所があり、北陸では雷を伴った所があった。また、台風第3号が東シナ海を北上した影響で、沖縄・奄美では雨となり、暴風となった所があった。4日は、前線は引き続き朝鮮半島から東北地方に停滞した。また、台風第3号が8時頃、長崎市付近に上陸し、愛媛県宇和島市付近及び和歌山県田辺市付近に再上陸し、その後、東海沖を東に進んだ。これらの影響で全国的に雨となり、西日本から東日本では大雨となった所があった。また、九州や四国、近畿では暴風となった所があり、九州や近畿、関東では一部で雷を伴った。

#### **前線の影響で西日本を中心に雨、九州や中国地方では一部で大雨（5日～7日）**

5日は、台風第3号が関東の東海上を東に進み、日本の東海上で温帯低気圧となった。また、前線が南下し、対馬海峡から本州南岸に停滞した。これらの影響で、西日本から東北地方では雨となり、九州や中国地方では大雨となった所があった。また、西日本では一部で雷を伴った。6日は、朝鮮半島から本州南岸にのびた前線や、東シナ海を北上した熱帯低気圧の影響で、沖縄・奄美から九州では雨となり、九州では大雨となった所や雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れたが、湿った空気の影響で東日本では雨となった所があった。7日は、朝鮮半島から日本の南海上にのびた前線の影響で、西日本では雨とり、九州では大雨となった所や雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線や湿った空気の影響で西日本で雨、九州では一部で大雨（8日～10日）**

8日から9日は、朝鮮半島から西日本にのびた前線の影響で、西日本では雷雨となり、九州では大雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。10日は、朝鮮半島から日本海にのびた前線や湿った空気の影響で、西日本から東海地方、及び北海道は雨となった所があり、近畿や東海地方では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線の影響で全国的に雨、東海地方では一部で大雨（11日～14日）**

11日は、対馬海峡から北海道にのびた前線の影響で、西日本の日本海側や北陸、北海道では雨となった所があった。また、沖縄・奄美や九州、東日本では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。12日は、九州北部から北海道にのびた前線の影響で、西日本から北海道にかけては雨となり、西日本から東日本では雷を伴った所があった。

13日は、北陸から東北地方に停滞した前線の影響で、近畿から東北地方にかけて雨となり、東海地方では大雨となった所があった。また、東日本では雷を伴った所があった。14日は、湿った空気の影響で近畿や東海地方、甲信地方を中心に雷雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

### **高気圧に覆われて全国的に概ね晴れ、のち前線や低気圧の影響で西日本から北日本で雨、北陸や東北地方では一部で大雨（15日～18日）**

15日は、高気圧に覆われて全国的に概ね晴れたが、湿った空気の影響で東北地方では雷雨となった所があった。16日は、朝鮮半島から東北地方にのびた前線と、北海道付近の低気圧の影響で、近畿の日本海側から北海道にかけて雨となり、東北地方では大雨となった所があった。また、関東や北海道では雷を伴った所があった。17日は、朝鮮半島から関東の東にのびた前線の影響で、近畿から北日本では雨となり、近畿や関東では雷を伴った所があった。18日は、朝鮮半島から西日本にのびた前線と、東北地方を東に進んだ低気圧の影響で、西日本や関東から北日本にかけて雨となり、雷を伴った所があった。また、北陸や東北地方で大雨となった所があった。

### **湿った空気の影響で全国的に所々で雨、のち前線の影響で北海道で雨（19日～21日）**

19日は、九州の南海上に発生した低気圧の影響で、九州南部では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れたが、湿った空気の影響で、全国的に所々で雨となった。20日から21日は、サハリン付近の低気圧からのびた前線の影響で、北海道では雨となった所があった。また、四国沖の低気圧の影響で、九州から近畿の太平洋側を中心に雨となった所があり、九州では雷を伴った所があった。

### **前線の影響で北陸から北日本で大雨、のち西日本から東日本で雨、西日本や東海地方では一部で大雨（22日～27日）**

22日は、東北地方付近まで南下した前線の影響で、北日本では雷雨となり、東北地方では大雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れたが、湿った空気の影響で内陸を中心に所々で雨となり、九州や関東では雷を伴った所があった。23日から24日は、北陸から東北地方にかけて停滞した前線や湿った空気の影響で、西日本から北日本では雨となり、北陸や東北地方で大雨となった所があり、西日本や北陸では雷を伴った所があった。25日は、対馬海峡から東北南部にのびた前線の影響で、西日本から東北南部では雨となり、西日本や東日本では大雨となった所や雷を伴った所があった。また、湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨となった。26日は、九州北部から関東にかけてのびた前線の影響で、九州から関東では雨となった。また、四国から関東では雷を伴った所があった。27日は、湿った空気の影響で、西日本から関東では雨となり、東海地方では大雨となった所があった。

### **湿った空気の影響で西日本から北日本で雨、台風第9号、台風第10号の影響で沖縄・奄美では雨、一部では暴風、台風第5号の影響で小笠原諸島では大雨（28日～31日）**

28日から29日は、湿った空気の影響で、西日本から北日本では雨となり、中国地方や近畿では雷を伴った所があった。また、台風第9号が沖縄の南海上を北西に進んだため、沖縄・奄美は雨となり、暴風となった所があった。また、小笠原近海を台風第5号が南に進んだため、小笠原諸島では大雨となった。30日は、湿った空気の影響で近畿から東日本で雨となり、近畿では雷を伴った所があった。また、台風第10号が南シナ海を北に進んだため、沖縄・奄美で雨となった所があった。31日は、三陸沖の低気圧の影響で、北日本では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れたが、湿った空気の影響で内陸を中心に所々で雨となり、西日本では雷を伴った所があった。

## **8月**

### **低気圧や気圧の谷の影響で東日本から北日本で雨、関東では大雨、その後高気圧に覆われて全国的に概ね晴れたが、湿った空気の影響で西日本や東日本では所々で雨（1日～3日）**

1日は、湿った空気の影響で西日本では太平洋側を中心に雨となった所があった。また、三陸沖の低気圧や気圧の谷の影響で東日本から北日本では雨となり、関東では大雨となった所があったほか、東海地方や関東では雷を伴った所があった。2日は、湿った空気の影響で西日本から東日本にかけての太平洋側では所々で雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。3日は、日本の南海上にある台風第5号からの湿った空気の影響で、西日本の太平洋側や東日本で雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

### **台風第5号の影響で全国的に雨、北海道を除く広い範囲で大雨、西日本では一部で暴風（4日～8日）**

4日は、九州の南海上を北西に進んだ台風第5号や台風からの湿った空気の影響で、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側で雨となった。沖縄・奄美では大雨となった所があり、九州では暴風となった所があった。5日は、屋久島の西海上でほとんど停滞した台風第5号や台風からの湿った空気の影響で、沖縄・奄美や西日本の太平洋側を中心に雨となり、沖縄・奄美や九州では大雨となった所があった。また、九州では暴風となった所があったほか、沖縄・奄美や近畿では一部で雷を伴った。北日本では、気圧の谷の影響で雨となった所があった。6日は、台風第5号が九州南部に接近し、その後北東に進んで四国沖に達した。この影響で西日本の太平洋側では雨となり、東日本でも内陸を中心に雨となった所があった。九州や四国では大雨や暴風となった所があり、沖縄・奄美や関東甲信では一部で雷を伴った。7日は、台風第5号が四国付近を北東に進み、15時過ぎに和歌山県北部に上陸した。この影響で沖縄・奄美から東北地方では雨となり、西日本から東日本の広い範囲で大雨となったほか、四国では暴風となった所があり、近畿では強風となった所があった。また、沖縄・奄美では一部で雷を伴った。8日は、台風第5号が近畿から北陸地方を通過し、日本海に達し、21時に山形県付近の日本海で温帯低気圧となった。この影響で、中国地方から東北地方で雨となり、東日本や東北地方で大雨となった所があった。また、東海地方では強風となった所があった。

### **低気圧や気圧の谷の影響で沖縄・奄美を除いて全国的に雨（9日～13日）**

9日は、台風第5号から変わった温帯低気圧や、関東の東海上に発生した低気圧の影響で、北陸から北日本では雨となった。また、黄海の低気圧が前線を伴って東に進んだため、九州から中国地方では雨となり、九州では雷を伴った所があった。10日は、朝鮮半島及び三陸沖の低気圧が東に進み、湿った空気が流入したため、西日本から北日本で雨となった所があり、九州や東海地方では雷を伴った所があった。11日から12日は、気圧の谷や、秋田沖や近畿付近に発生した低気圧の影響で、西日本から北日本で雨となり、東海地方では雷を伴った所があった。13日は、気圧の谷の影響で、東日本から北日本で雨となった。

### **前線の影響で西日本から東北地方の太平洋側で雨、九州や中国地方では一部で大雨（14日～16日）**

14日は、華中から対馬海峡付近にのびる前線の影響で、西日本の日本海側で雨となり、九州では大雨や雷を伴った所があった。また、気圧の谷の影響で東日本から北日本では雨となった。15日は、華中から関東の東海上にのびる前線の影響で、九州から東日本や、東北地方の太平洋側で雨となり、九州や中国地方で大雨となった所があったほか、九州では一部で雷を伴った。16日は、朝鮮半島付近及び東海沖の低気圧の影響で、西日本から東北地方では雨となり、九州では雷を伴い大雨となった所があった。

### **低気圧や湿った空気の影響で全国的に雨、北陸や東海地方では一部で大雨（17日～19日）**

17日から18日は、関東の東海上及び日本海中部の低気圧の影響で、全国的に雨となった所が多く、北陸や東海地方では大雨となった所があった。また、西日本から東北地方では雷を伴った所があった。19日は、関東付近に発生した低気圧や湿った空気の影響で、東日本から東北地方では雷雨となった。

### **気圧の谷の影響で東日本から北日本で雨、東北地方では一部で大雨、台風第13号や湿った空気の影響で沖縄・奄美から西日本では雨、九州では一部で大雨（20日～22日）**

20日から21日は、気圧の谷や湿った空気の影響で東日本から東北地方の太平洋側を中心に雨となり、東日本では雷を伴った所があった。また、沖縄の南海上にある台風第13号や湿った空気の影響で、沖縄・奄美から四国では雷雨となり、九州では大雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。22日は、気圧の谷や湿った空気の影響で、西日本や東日本では所々で雨、北日本では雨となり、東北地方では大雨となった所があった。また、沖縄の南海上を西に進んだ台風第13号の影響で沖縄・奄美では雨となり、全国的に雷を伴った所があった。

### **前線が徐々に南下した影響で全国的に雨、東北地方や九州では一部で大雨（23日～27日）**

23日は、気圧の谷の影響で近畿から東北地方にかけて日本海側を中心に雨となり、近畿や東海地方で雷を伴った所があった。また、南シナ海に進んだ台風第13号から流入する湿った空気の影響で、沖縄・奄美では雨となった。24日は、前線を伴う低気圧が日本海中部から日本海北部に進んだ影響で、北陸から北海道では雨となり、東北地方では大雨や雷を伴った所があった。25日は、宗谷海峡付近を北東に進んだ低気圧や、この低気圧からのびる前線が西日本から東日本に停滞した影響で、九州から北海道にかけての日本海側を中心に雨と

なり、北陸では雷を伴った所があった。26日は、九州の西海上から関東の東海上にのびる前線の影響で西日本から東北地方で雨となり、九州では大雨となった所があったほか、西日本では雷を伴った所があった。また、気圧の谷の影響で北海道では雨となった所があった。27日は、高気圧に覆われて全国的に概ね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で西日本から北日本で雨、小笠原諸島では台風第15号の影響で大雨や暴風（28日～31日）**

28日は、華北から日本海西部にのびる前線や、前線を伴った低気圧が沿海州付近を東へ進んだため、近畿より東では曇りとなった所が多かった。29日は、対馬海峡付近から三陸沖にのびる前線や、サハリン付近の低気圧から日本海西部にのびる前線の影響で、山陰から北海道で雨となった。30日から31日は、四国から三陸沖にのびる前線が東へ進んだ後、関東の東海上に停滞した影響で、中国地方から北日本では雨となった。また、台風第15号が小笠原諸島に接近した影響で、小笠原諸島では大雨や暴風となった。

### **9月**

#### **台風第15号や前線の影響で東海地方から北日本で雨、小笠原諸島では大雨や暴風、その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れ（1日～4日）**

1日は、関東の東海上から三陸沖に停滞した前線や小笠原諸島に接近した台風第15号の影響で、東海地方から関東では雨となり、小笠原諸島では大雨や暴風となった。また、伊豆諸島では強風となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。2日は、関東の東海上を北上した台風第15号や三陸沖の前線の影響で、東海地方から東北地方の太平洋側で雨となった。また、湿った空気の影響で先島諸島では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。3日は、上空の寒気の影響で山陰から東北地方の日本海側では所々で雨となった。また、沖縄・奄美では湿った空気の影響で雷雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。4日は、湿った空気の影響で沖縄・奄美から九州では雨となり、奄美地方では大雨となった所があった。また、気圧の谷の影響で関東や北日本の日本海側では雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で全国的に雨、九州や四国では一部で大雨（5日～10日）**

5日は、朝鮮半島から本州南岸にのびた前線や九州の西海上に発生した低気圧の影響で、沖縄・奄美から東日本では雨となり、九州や四国では大雨となった所があった。6日から7日は、九州から関東の東海上にのびた前線の影響で、北海道を除いて全国的に雨となり、沖縄・奄美から東海地方では雷を伴った所があった。8日は、三陸沖から北海道の東海上に進んだ低気圧や、この低気圧から奄美地方付近にのびた前線の影響で、全国的に雨となり、沖縄・奄美では雷を伴った所があった。9日から10日は、沿海州の低気圧からのびる前線や北海道付近に発生した低気圧の影響で、北日本では雷雨となった所があった。また、湿った空気の影響で、沖縄・奄美では雷雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で西日本から北日本で雨、西日本や東北地方では一部で大雨、台風第18号の影響で沖縄で雨（11日～12日）**

11日は、黄海の低気圧が前線を伴って東へ進み、日本海西部に達した。この影響で、西日本から北日本では雨となり、九州では雷を伴った所があった。12日は、前線を伴った低気圧が日本海中部を北東に進んだ。一方、台風第18号が沖縄の南を北西に進んだ。これらの影響で全国的に雨となり、西日本や東北地方では大雨となった所があった。また、西日本から東日本では雷を伴った所があった。

#### **台風第18号や前線の影響で、全国的に大雨・暴風（13日～19日）**

13日は、先島諸島付近を北上した台風第18号や四国沖に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美では大雨や暴風となった所や、雷を伴った所があった。また、北海道付近に発生した低気圧や上空の寒気の影響で北陸から北海道では雨となった。14日から15日は、東シナ海を北上した台風第18号や四国沖に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美から四国を中心に雷雨となり、沖縄・奄美で暴風となった所や、九州で大雨となった所があった。また、北海道付近の低気圧や上空の寒気の影響で北陸から北海道で雨となり、東北地方で雷を伴った所があった。16日は、東シナ海を東へ進んだ台風第18号や九州南部から本州南岸に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美から東日本では雨となり、西日本から東海地方では大雨となった所があった。また、九州では暴風となった所があり、沖縄・奄美や近畿では強風となった所があった。17日は、台風第18号が12時頃に鹿児島県に上陸し、その後北東へ進み、高知県や兵庫県に再上陸した。この影響で西日本から北日本では雨となり、西日本から東日本

は大雨、西日本から東海地方では暴風となった所があった。また、九州では雷を伴った所があった。18日は、台風第18号が3時に温帯低気圧に変わり、前線を伴ってサハリン付近に北上した。この影響で、西日本から北海道では雨となり、北日本では大雨となった所があった。また、東日本から北日本では暴風となった所があった。19日は、サハリン付近の低気圧や上空の寒気の影響で北日本では雨となり、北海道では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **低気圧の影響で日本海側を中心に雨、その後、前線の影響で沖縄・奄美から東日本で雨、九州や伊豆諸島では一部で大雨（20日～23日）**

20日は、沿海州から津軽海峡付近に進んだ低気圧や上空の寒気の影響で、西日本から北日本にかけて日本海側を中心に雨となり、北陸から北海道では雷を伴った所があった。また、湿った空気の影響で沖縄では雨となった。21日は、東シナ海から日本の南にかけて停滞した前線の影響で、沖縄・奄美から九州では雨となり、沖縄・奄美では雷を伴った所があった。また、気圧の谷の影響で、北陸から北海道では雨となったが、その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。22日は、九州付近で前線上に発生した低気圧が東へ進んだ影響で、沖縄・奄美から東日本で雨となり、九州や伊豆諸島では大雨となった所があった。23日は、東海沖から関東の東海上へ進んだ低気圧や気圧の谷の影響で、近畿から北日本では雨となり、北海道では雷を伴った所があった。

#### **前線や低気圧の影響で沖縄・奄美から四国、関東や北海道では所々で雨、その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れ（24日～26日）**

24日は、東シナ海から日本の南海上に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美から九州南部で雨となった。また、気圧の谷の影響で北海道では雨となったが、その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。25日は、九州南部から日本の東海上にのびた前線や、前線上に発生した低気圧の影響で、沖縄・奄美や関東で雨となった所があり、関東では一部で雷を伴った。また、サハリン付近の低気圧の影響で北海道では雷雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。26日は、九州南部に停滞した前線の影響で、奄美地方から四国では所々で雨となったが、その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線や低気圧の影響で全国的に雨、九州や東日本では一部で大雨、関東では一部で強風、その後、気圧の谷の影響で北陸から北海道で雨（27日～30日）**

27日から28日は、黄海の低気圧が前線を伴って西日本を東に進んだ。一方、沿海州の低気圧からのびる前線が北日本を通過した。これらの影響で全国的に雨となり、九州や東日本では大雨となった所や関東では強風となった所があった。29日から30日は、気圧の谷の影響で、北陸から北海道では雨となり、東北地方では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた

### **10月**

#### **前線や低気圧の影響で西日本から北日本で雨、九州では一部で大雨、その後寒気の影響で北陸から北日本で雨（1日～4日）**

1日は、華中から東シナ海にのびる前線や、沿海州の前線を伴った低気圧の影響で、九州や北日本では雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われたが、西日本から次第に曇りとなった。2日から3日は、西日本から関東の東海上にのびる前線やオホーツク海の低気圧から北日本にのびる前線の影響で、西日本から北日本で雨となり、九州では大雨となった所があった。4日は、寒気の影響で北陸から北日本では雨となった。また、湿った空気の影響で沖縄・奄美や東日本の太平洋側では所々で雨となった。一方、西日本は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **気圧の谷や低気圧の影響で、西日本から北日本で雨、西日本の一部や伊豆諸島では大雨、その後高気圧に覆われて全国的に概ね晴れ（5日～8日）**

5日は、気圧の谷や湿った空気の影響で西日本では雨となった。また、寒気の影響で北日本では雨となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。6日は、東シナ海の低気圧や、四国沖の低気圧や前線の影響で、西日本から東北部では雨となり、西日本では大雨となった所があった。7日は、気圧の谷や東海道沖の低気圧が関東の東海上に進んだ影響で、西日本から北日本で雨となり、伊豆諸島では大雨となった。8日は、高気圧に覆われて全国的に概ね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で、北陸から北日本では雨、その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れ（9日～11**

日)

9日は、前線を伴った低気圧が北海道を東に進み、北陸から北日本では雨となった所があった。また、沖縄・奄美や東海地方では湿った空気の影響で所々で雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。10日は、千島の東海上にある低気圧からのびる前線が北日本に停滞したため、北陸から北日本では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。11日は、日本海を東に進んだ低気圧や前線の影響で、山陰や北陸の一部及び北日本では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **前線の影響で全国的に雨、伊豆諸島では大雨や強風、台風第20号の影響で沖縄・奄美では雨(12日～19日)**

12日は、北海道の東海上の低気圧から西日本にのびる前線の影響で、西日本から北日本にかけて日本海側を中心に雨となった。また、フィリピンの東にある台風第20号の影響で、沖縄・奄美では雨となった。13日は、本州南岸に停滞した前線や寒気の影響で、西日本から北日本で雨となった。また、南シナ海にある台風第20号の影響で沖縄・奄美では雨となった。14日から16日は、東シナ海から本州南岸に停滞した前線や湿った空気の影響で沖縄・奄美から東日本では雨となり、伊豆諸島では大雨となった。また、沖縄・奄美では雷を伴った所があったほか、北海道ではオホーツク海の低気圧や寒気の影響で雨となった。17日から18日は、東シナ海から日本の南海上にのびる前線の影響で、沖縄・奄美から東日本で雨となり、伊豆諸島では強風となった。また、千島近海の低気圧からのびる前線が北日本を通過したため、北日本では雷雨となった所があった。19日は、本州南岸に停滞した前線の影響で、沖縄・奄美から東北南部では雨となり、伊豆諸島では大雨や強風となった。

#### **前線や台風第21号の影響で、全国的に大雨・暴風、寒気の影響で北海道では一部で雪(20日～23日)**

20日は、本州南岸に停滞した前線や日本の南海上を北上した台風第21号の影響で、全国的に雨となった。21日は、本州南岸に停滞した前線や日本の南海上を北上した台風第21号の影響で、全国的に雨となり、沖縄・奄美から東海地方では大雨となった所があった。また、沖縄・奄美では強風となった所があった。22日は、四国沖を北東に進んだ台風第21号や前線、オホーツク海の低気圧からのびる前線が北海道を通過した影響で、全国的に雨となり、九州から東北地方では大雨となった。また、沖縄・奄美から東日本では暴風となった所があった。23日は、台風第21号が3時頃に静岡県掛川市付近に上陸し、その後も北東に進み、9時に関東の東海上で温帯低気圧となった。この影響で、九州から北日本では雨で、東日本から東北地方では大雨となった所があり、九州から北海道では暴風となった所があった。また、寒気の影響で北海道では雪が降った所があった。

#### **気圧の谷の影響で近畿から東日本では雨、その後高気圧に覆われて全国的に晴れ(24日～26日)**

24日から25日は、気圧の谷や湿った空気の影響で、近畿から北日本では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた26日は、高気圧に覆われて全国的に晴れとなった。

#### **前線や台風第22号、その後の冬型の気圧配置の影響で、沖縄・奄美から東日本で大雨、全国的に暴風(27日～31日)**

27日は、日本の南海上の前線や沖縄の南海上を北上した台風第22号の影響で、沖縄・奄美から九州では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。28日は、台風第22号は南西諸島付近を北東に進み、14時前に沖縄県沖縄本島付近を通過した。また、本州南岸に前線が停滞した。これらの影響で、沖縄・奄美から東北南部では雨となり、沖縄・奄美及び九州では大雨や暴風となった所があった。29日は、本州沿岸を北東へ進んだ台風第22号は21時に関東の東海上で温帯低気圧となり、前線を伴って三陸沖を北東へ進んだ。この影響で全国的に雨となり、九州から東日本で大雨や暴風となった所があった。また、関東では雷を伴った所があった。30日は、台風から変わった温帯低気圧が発達しながら千島近海を北上したため、日本付近は冬型の気圧配置となり、西日本から北日本の日本海側を中心に雨となり、北海道では雪が降った所があった。また、東日本から北日本では暴風となった所があった。31日は、高気圧に覆われて全国的に晴れたが、寒気の影響で北陸から北日本では雨となった。

11月

#### **前線や気圧の谷の影響で西日本から北日本の日本海側で雨、太平洋側を中心に高気圧に覆われて晴れ(1日～5日)**

1日は、沿海州に発生した低気圧が前線を伴って東へ進んだため、北日本の日本海側を中心に雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。2日は、気圧の谷や湿った空気の影響で、沖縄・奄美から九州

南部、関東の太平洋側、北日本の日本海側で雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。3日は、千島近海の低気圧から朝鮮半島付近にのびる前線の影響で、沖縄・奄美から九州南部、山陰や北日本の日本海側で雨となった。また、関東の東海上の低気圧の影響で関東の太平洋側で雨となった。4日は、千島近海の低気圧からのびる前線が日本付近を通過した影響で、西日本から北日本の日本海側を中心に雨となった。また、北海道では雪となった所があり、北陸から東北地方では雷を伴った所があった。5日は、気圧の谷や寒気の影響で北陸から北日本の日本海側で雨となり、北海道では雪となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **高気圧に覆われて全国的に概ね晴れ、その後、前線や低気圧の影響で全国的に雨（6日～9日）**

6日は、気圧の谷の影響で、北海道の一部や東北北部で雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。7日は、気圧の谷や湿った空気の影響で、九州や東北北部を中心に雨となった。8日は、サハリン付近の低気圧からのびる寒冷前線が日本付近を通過した影響や、日本の南海上を東に進んだ前線の影響で、東日本の内陸部を除き、全国的に雨となった。また、中国地方や北陸から北日本では雷を伴った所があった。9日は、寒気の影響で北陸から北日本で雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **発達した低気圧や前線の影響で全国的に雨、北日本では一部で暴風、東海地方や伊豆諸島では一部で強風（10日～12日）**

10日は、日本海中部を前線を伴って東へ進んだ低気圧の影響で、九州から中国地方、北海道で雨となった。また、九州では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。11日は、日本海北部の低気圧が発達しながら北東へ進み、この低気圧からのびる前線が日本付近を通過した。この影響で、九州北部や関東を除いて全国的に雨となった。一方、北日本では暴風となった所があり、東海地方や伊豆諸島では強風となった所があった。また、西日本や北陸では雷を伴った所があった。12日は、寒気の影響で山陰から北日本の日本海側で雨となった所があった。また、湿った空気の影響で先島諸島で雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で全国的に雨、その後、寒気の影響で北日本では一部で雪、湿った空気の影響で先島諸島では大雨（13日～16日）**

13日は、湿った空気の影響で沖縄・奄美から四国及び東海地方から関東で、太平洋側を中心に雨となった。また、沿海州の低気圧からのびる前線の影響で、北海道の日本海側で雨となった。14日は、沿海州の低気圧からのびる前線や日本の南海上の前線にある影響で全国的に雨となり、東北地方では雷を伴った所があった。15日は、寒気や気圧の谷の影響で山陰から北日本を中心に雨となり、北海道では雪となった所があった。また、西日本から北陸では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。16日は、湿った空気の影響で先島諸島で大雨となった。また、寒気の影響で近畿から北日本にかけての日本海側で雨や雪となり、北陸では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で全国的に雨、沖縄・奄美から九州、伊豆諸島では一部で大雨、北海道では一部で暴風、その後の冬型の気圧配置の影響で、西日本から北日本では日本海側で雪や雨（17日～21日）**

17日は、華中から南西諸島にのびる前線の影響で、沖縄・奄美から四国で雨となった。また、寒気の影響で北陸から北日本の日本海側で雨や雪となった。18日は、日本海北部からオホーツク海へ進んだ低気圧や南西諸島付近から関東の東海上へ進んだ低気圧の影響で、東日本の内陸から東北地方太平洋側を除いて全国的に雨となり、沖縄・奄美から九州、伊豆諸島では大雨となった所があった。また、北海道では雪となり、暴風や雷を伴った所があった。北陸では強風となった所があった。19日は、三陸沖の低気圧が発達しながら北へ進み、冬型の気圧配置（以下、冬型）となった影響で、西日本の日本海側では雨となり、北陸から北日本では雪や雨となった。また、北海道では強風となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。20日から21日は、寒気や気圧の谷の影響で、西日本では雨となった所があり、北陸から北日本では雪や雨となった。これらの地域では雷を伴った所があり、北陸では強風となった所があった。また、湿った空気の影響で、沖縄・奄美では雨となった。

#### **前線や発達した低気圧の影響で、全国的に雨、関東では一部で大雨、伊豆諸島では暴風、その後、寒気の影響で西日本から北日本では日本海側で雪や雨（22日～25日）**

22日は、東シナ海から九州の南海上に進んだ低気圧や沿海州の低気圧からのびる前線の影響で全国的に

雨となった。23日は、オホーツク海の低気圧からのびる前線や、本州南岸を発達しながら北東に進んだ低気圧の影響で、西日本から北日本では雨や雪となり、関東では大雨となった所があった。また、伊豆諸島では暴風となり、九州では強風となった所があった。24日は、日本付近は冬型となり、西日本から北日本の日本海側を中心に雪や雨となり、雷を伴った所があった。また、北陸では暴風となった所があり、北海道では強風となった所があった。25日は、寒気の影響で、北陸から北日本では、日本海側で雪や雨となった。北海道では強風となった所があり、北陸では雷を伴った所があった。また、湿った空気の影響で、先島諸島では雨となった。

#### **前線や低気圧の影響で、山陰から北日本では雨や雪、湿った空気の影響で沖縄・奄美では一部で大雨(26日~27日)**

26日は、日本海北部からオホーツク海へ進んだ低気圧からのびる前線や湿った空気の影響で、沖縄・奄美から近畿の太平洋側で雨となり、山陰から北日本で雨や雪となった。また、沖縄・奄美では大雨となった所があり、北日本では強風や雷を伴った所があった。27日は、寒気の影響で北陸から北日本で雨や雪となった。また、湿った空気の影響で沖縄・奄美では雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **発達した低気圧や前線の影響で、西日本から北日本で雨や雪(28日~30日)**

28日は、湿った空気の影響で先島諸島や四国では雨となった。また、寒気の影響で北海道では雨や雪となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。29日は、サハリン付近を発達しながら東へ進んだ低気圧からのびる前線や東シナ海から東海沖にのびる前線の影響で、西日本及び北陸から北日本の日本海側で雨となった。また、北海道では強風となった所があった。30日は、本州南岸を東へ進んだ前線の影響で西日本の太平洋側や関東で雨となった。また、寒気の影響で山陰から北陸で雨となり、北日本では雪となった。

### **12月**

#### **寒気や気圧の谷の影響で、山陰から北日本の日本海側を中心に雨や雪、湿った空気の影響で沖縄・奄美で雨(1日~3日)**

1日から2日は、寒気や気圧の谷の影響で山陰から北日本の日本海側を中心に雨や雪となった。また、湿った空気の影響で沖縄・奄美で雨となった。3日は、日本海中部から千島近海へ進んだ低気圧の影響で、北陸から北日本の日本海側で雪や雨となった。また、湿った空気の影響で沖縄・奄美で雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で全国的に雨、その後、寒気の影響で山陰から北日本にかけての日本海側を中心に雪や雨(4日~7日)**

4日は、日本の南海上の前線や日本海中部及び関東の東海上の低気圧の影響で、全国的に雨となり、北日本では雪となった所があった。また、中国地方や北陸では雷を伴った所があった。5日は、三陸沖から北海道の東海上に進んだ低気圧や寒気の影響で、西日本は雨で、山陰から北日本にかけての日本海側を中心に雪や雨となった所があった。北陸では強風となった所があり、近畿や北陸では雷を伴った所があった。6日は、オホーツク海の低気圧や寒気の影響で、西日本から北日本にかけての日本海側で雪や雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。7日は、日本海中部の低気圧や寒気の影響で、西日本から東日本にかけて日本海側を中心に雨となり、北日本では雪となった。また、北陸から東北地方では雷を伴った所があった。沖縄・奄美から九州南部では、東シナ海の低気圧の影響で雨となった。

#### **低気圧や寒気の影響で全国的に雨、その後、冬型の気圧配置となり、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪や雨(8日~9日)**

8日は、日本の南海上や千島近海の低気圧及び寒気の影響で全国的に雨となった。西日本から北日本にかけての日本海側では雪となり、雷を伴った所があった。また、沖縄・奄美から九州では強風となった所があった。9日は、冬型の気圧配置(以下、冬型)の影響で、西日本から北日本にかけての日本海側を中心に雪や雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

#### **低気圧や前線の影響で西日本を中心に雨、北陸では暴風、その後、冬型の気圧配置となり、山陰から北日本にかけて雪、東北地方では大雪(10日~15日)**

10日は、日本海中部の低気圧からのびる前線の影響で、西日本では雨となり、東日本から北日本にかけての日本海側では雪や雨となった。11日は、日本海北部の低気圧からのびる前線の影響で、西日本から東海地方

では雨となり、山陰から北日本にかけて雪や雨となった。北陸では暴風となった所や雷を伴った所があり、四国では強風となった所があった。12日から14日は、北海道の東海上の低気圧が発達しながら北上し、日本付近は冬型となった。この影響で、山陰から北日本にかけて雪や雨となり、東北地方では大雪となった所があった。また、北陸から北日本では強風となった所があり、北陸では雷を伴った所があった。15日は、寒気や気圧の谷の影響で北陸から北日本の日本海側で雨や雪となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

**低気圧や前線の影響で、沖縄・奄美から西日本にかけて雨、その後、冬型の気圧配置となり、山陰から北陸及び北日本を中心に雪、北陸や甲信地方では大雪（16日～18日）**

16日は、日本海北部から千島近海に進んだ低気圧や関東の東海上を北東に進んだ低気圧の影響で、沖縄・奄美から西日本にかけて雨となった所があり、山陰から北陸及び北日本で雪や雨となった。また、沖縄・奄美や北陸で強風となった所があり、北陸では雷を伴った所があった。17日は、前線を伴った低気圧が三陸沖を北東へ進み、日本付近は冬型となったため、山陰から北陸及び北日本を中心に雪や雨となり、北陸や甲信地方では大雪となった所があった。また、北陸では雷を伴った所があり、沖縄・奄美から九州では強風となった所があった。18日は、寒気の影響で北陸から北日本の日本海側を中心に雪や雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

**寒気や気圧の谷の影響で、山陰から北陸及び北日本で雪や雨、その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れ（19日～23日）**

19日は、日本海中部から北海道の東海上へ進んだ低気圧や寒気の影響で、山陰から北陸及び北日本で雪や雨となり、北陸では雷を伴った所があった。また、伊豆諸島では強風となった所があった。沖縄・奄美では、湿った空気の影響で雨となった。20日から21日は、寒気の影響で近畿から北日本にかけての日本海側で雪や雨となり、北海道では強風となった所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。22日から23日は、気圧の谷の影響で、北陸から北日本で雨や雪となった所があった。また、北陸では雷を伴った所があった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。

**発達した低気圧の影響で、沖縄・奄美から東日本で雨、西日本から北日本にかけて広い範囲で暴風、その後、強い冬型の気圧配置となり、山陰から北日本で雪や暴風（24日～31日）**

24日は、黄海から日本海中部へ進んだ低気圧や東シナ海から四国沖へ進んだ低気圧の影響で、沖縄・奄美から東日本で雨となり、北日本では雪となった所があった。また、九州では暴風となった所があった。25日は、日本海北部と東海沖の低気圧が発達しながら北東へ進み、日本付近は強い冬型となった。この影響で、西日本から東日本で雨となり、北陸から北日本では雪となった。西日本から北日本にかけて広い範囲で暴風となった所があったほか、中国地方では雷を伴った所があった。26日から27日は、日本付近は強い冬型が続いたため、山陰から北日本にかけての日本海側を中心に雪となり、暴風となった所があった。また、伊豆諸島では強風となった。28日から29日は、日本付近は冬型が続いたため、山陰から北日本の日本海側で雪や雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。30日は、寒気の影響で北陸から北日本の日本海側で雪や雨となった。その他の地域は高気圧に覆われて概ね晴れた。31日は、日本海西部及び本州南岸を東へ進んだ低気圧やこれらの低気圧からのびる前線の影響で、沖縄・奄美から東北地方にかけて雨となった所があり、北日本では雪となった所があった。また、九州では強風となった所があった。